

令ヲ以テ定ムル金額以上ニ達シ且地租、營業収益稅及所得稅ノ附加稅ノ賦課ガ明治四十一年法律第三十七號第一條乃至第三條ノ制限ニ達シタル府縣ハ毎年度其ノ前前年度ニ於テ基金ヨリ生ジタル收入ヨリ其ノ年度ノ救助費、管理費、補助費及基金運用上ノ損失ヲ控除シタル額ノ二分ノ一以内ノ金額ヲ限り該勅令所定金額ヲ下ルニ至ラザル範圍内ニ於テ之ヲ救護法施行ニ要スル經費ニ充ツルコトヲ得

第十九條第一項第三號中「大藏省預金」ヲ「大藏省預金部」ニ改ム

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ第十條ノ二及左ノ各項ノ規定ハ昭和七年度ヨリ之ヲ適用ス
當分ノ内罹災救助基金ノ貯蓄ガ第十五條ノ二ノ規定ニ依ル勅令所定金額以上ニ達シ日地租、營業収益稅及所得稅ノ附加稅課課ガ明治四十一年法律第三十七號第一條乃至第三條ノ制限ニ達シタル府縣ハ特別ノ事情アル場合ニ於テハ内務大臣及大藏大臣ノ認可ヲ受ケ第十五條ノ二ニ規定乃至第三條ノ制限ニ達シタル府縣ハ特别ノ事情アル場合ニ於テハ内務大臣及大藏大臣ノ認可ヲ受ケ第十五條ノ二ニ規定乃至第三條ノ制限ニ達シタル府縣ハ

(小字ハ貴族院修正)

罹災救助基金法中改正法律案中左ノ通修正ス

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ第十條ノ二及左ノ各項ノ規定ハ昭和七年度ヨリ之ヲ適用ス
當分ノ内罹災救助基金ノ貯蓄ガ第十五條

ノ二ノ規定ニ依ル勅令所定金額以上ニ達シ且地租、營業収益稅及所得稅ノ附加稅ノ賦課ガ明治四十一年法律第三十七號第一條乃至第三條ノ制限ニ達シタル府縣ハ特別ノ事情アル場合ニ於テハ内務大臣及大藏大臣ノ認可ヲ受ケ第十五條ノ二ニ規定スル殘額ヨリ同條ノ規定ニ依リ支出シタル費用ヲ控除シタル金額ヲ限り該勅令所定金額ヲ下ルニ至ラザル範圍内ニ於テ之ヲ必要ナル經費ニ充ツルコトヲ得
昭和七年度乃至昭和九年度ニ限り第十九條ノ二及前項ノ規定ニ關シテハ罹災救助基金ノ貯蓄額ハ第三條ノ制限額ニ依ルモノトス

(國務大臣男爵山本達雄君登壇)

(守屋榮夫君登壇)

○國務大臣 男爵山本達雄君 只今議題ニ

上リマシタ罹災救助基金ノ法律ハ、施行以來既ニ三十有餘年ヲ經過シ、各道府縣ニ於ケル基金ノ額ハ比年增加致シマシテ、本年四月現在ニ於テハ總額九千百六十六万八千圓餘ニ達シテ居ルノデアリマス、隨テ基金ヨリ生ジマス收入モ、毎年度約四百万圓餘ニ上ダテ居ル狀況デアリマス、他面救助費其

○守屋榮夫君

君登壇)

其第一點ハ、本法改正ノ骨子タル罹災救助基金ノ利子ヲ以テ、救護法施行ノ經費ニ

○守屋榮夫君登壇)

随テ救護費ト云フモノヲ計上シマシテモ、殆ド之ヲ執行スルコトガ出來ナイ状態ニ居ルノデアリマス、ト同時ニ地方ニ於ケル財政モ枯渇致シテ居リマスガ、地方費トシテ救護費が計上サレテ居ルニモ拘ラズ、ソレガ實施ヲ見ルコトノ出來ナイ状態ニ在ル、故ニ國ノ方ニ於テ豫算ニ二百八十餘万圓ト云フ多額ノ救護ノ補助費ヲ計上シテ居リマスガ、町村ノ實際ノ救護施設が活躍シテ居ナニ關係カラ致シマシテ、恐らく今日ノ

状态ト云フモノヲ繼續致シマスレバ、本年度ニ於テモ是等ノ國庫ノ救護補助費ト云フモノハ、之ヲ全部使用シ切レナクシテ、翌年

度ニ繰越サナケレバナラヌト云フ實情ニナ

ルダラウト考ヘマス、實際今日ノ社會狀態カラ考ヘマスト、不景氣ノ深刻ナルニ件ヒ

マシテ、救護法ノ目標タル所ノ可憐ナル窮民ト云フモノハ、非常ナル勢ヲ以テ増加シテ居リマスシ、又救濟ヲ要望スルノ聲ハ巷ニ満チテ居ルノデアル、救護法ト云フモノハソ

レ等ノ人々ヲ救護スル目的ヲ以テ、制定サレタニモ拘ラズ、政府ガ市町村竝ニ地方ノ

財政狀態ト云フモノニ對シテ、考慮ヲ拂フ

ト云フヤウナ點ニ付テ缺ケテ居ル關係カラ致シマシテ、救護法ト云フモノガ、今日ノ

ヤウナ不徹底ノ極ニ達シテ居ルノデアリマス、斯ニ今回政府ガ罹災救助基金法ノ改正ヲ企

テラレマシテ、其利子ノ一部ヲ府縣ノ救護費ニ使用スルト云フコトニナサレタト云フ

コトハ、洵ニ其點カラ考ヘマスト、救護法實

施ニ關スル府縣ノ救護費ト云フモノヲ補充スル意味ニ於キマシテ、結構ナ改正デアル

ト考ヘマスガ、假ニ本案ガ通過致シマシタ

所ガ、其救濟ハ府縣ノ救護費ノ救濟ニ止マ

ルノミデアッテ、一番大切ナル町村ノ救護費ヲ如何ニシテ支辨スルカト云フ途ニハ、何等觸レテ居ラヌノデアリマス、ソレガ解決

ト云フモノハ活動スルコトガ出來ナイト云フ

ト云フモノハ活動スルコトガ出來ナイト云

モアリマスノデ、是等ノ點ニ關シマシテモ、此機會ニ於テ、併セテ改正ヲスルヲ適當ト認メマシテ、本改正法律案ヲ提出致シマシタル次第デアリマス、

尙ホ改正案ニ付キマシテハ、貴族院ニ於テ附則第二項中ニ「必要ナル經費」トアリマシタモノヲ、「社會事業ノ助成其ノ他必要ナル經費」ト云フ字句ニ修正ヲサレタノデアリマス、右ハ本改正法律案ノ趣旨ト格別異タル所ナク、畢竟之ヲ明瞭ナラシムモノ

タモノヲ、「社會事業ノ助成其ノ他必要ナル經費」ト云フ字句ニ修正ヲサレタノデアリマス、右ハ本改正法律案ノ趣旨ト格別異タル所ナク、畢竟之ヲ明瞭ナラシムモノ

タモノヲ、「社會事業ノ助成其ノ他必要ナル經費」ト云フ字句ニ修正ヲサレタノデアリマス、右ハ本改正法律案ノ趣旨ト格別異タル所ナク、畢竟之ヲ明瞭ナラシムモノ

ハ如何ニシテ窮乏ノ極ニアル市町村ノ財政
状態ヲ改善シテ、市町村ノ救護費ガ實際ニ
於テ使用シ得ル狀態ニ立到ルカト云フコト
ヲ考ヘル點ニアルノデアリマス、此點ニ付
テ内務大臣ハ果シテドウ云フ考ヲ持テ居
ラレルノデアルカ、唯僅ニ府縣ノ救護費ノ
缺乏ヲ補フガ爲ニ本法ノ改正ヲ企テラマ
シテモ、實際ノ救護ノ責任者デアル所ノ市
町村ノ財政状態ト云フモノニ對シテ、何等
カノ施設ヲ講ゼラレマシテ、市町村ガ救護
費ト云フモノヲ使用シ得ル狀態ヲ速ニ實現
サレナケレバ、殆ド本法改正ノ效果ハナイモ
ト云、テ宜シイ、又此點ニ付テハ内務大臣
ニ於テ御考ガアラセラレルコトデアラウト
考ヘル、即チ本法ノ改正ダケワ爲サレテモ、
窮乏シテ居ル所ノ市町村ノ救護費ヲ如何ニ
シテ支辨スルカト云フ途ヲ講ジマセヌケレ
バ、本法ハ佛ヲ作フテ魂ヲ入レナイモノニ
ナフテ來ルノデアル、此點ニ付テ内務大臣
ハドウ云フ御考ヲ持テ居ラレルカ、現ニ窮
乏ニ瀕シテ居ル所ノ市町村ノ救護費ヲ、如
何ニシテ支辨サレル御考デアリマスカ、其
邊ヲハキリ御答ヲ願、テ置キタイト思フノ
デアリマス

併ナガラ斯ウ云フヤウナ社會事業ノ發展ヲ
生ジマシタニ付テモ、吾々ハ茲ニ至ル迄ノ
間ニ於テ、私設社會事業家ガ、斯ノ如キ氣
運ヲ醸成スルガ爲ニ、獻身的ノ努力ヲシタ
其效果ヲ沒却スルコトガ出來ナイト考ヘル、
ソレバカリデハアリマセヌ、社會事業ノ
公營化ハ今日ノ如ク發展ヲシタノデアリマ
スルガ、尙ホ私設社會事業ノ活動ノ範圍ハ
十分ニ殘サレテ居ルノデアリマス、公營化
サレタ所ノ社會事業デハ其目的ヲ達スルコ
トガ到底出來ナイ分野ガ廣ク殘ニテ居ルノ
デアリマス、例ヘテ申シマスナラバ、不
良兒ノ感化事業デアルトカ、乳幼兒其他保
護ヲ要スル所ノ兒童ノ保護事業デアルトカ、
或ハ婦女子ノ保護事業デアルトカ、老衰竝
不具廢疾者ノ保護事業デアルトカ、或ハ施
療ノ事業デアルトカ、隣保事業デアルトカ、
融和事業デアルトカ、斯ウ云フヤウナ私設
社會事業ノ方面ト申シマスルモノハ、何ト
シテモ人人類愛ニ燃エ、人道主義ニ立脚シテ
獻身的ノ努力ヲ拂ツテ、晝夜ヲ分タズ奮闘
スル精神ヲ以テ居ル社會事業家ノ活
動ニ俟タナケレバナラヌモノデアリマス、
規則ヅクメノ冷ヤカナル態度ヲ以テ臨ンデ
大切ナコトデアリマス、カルガ故ニ今日デ
ハ、到底所期ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイ、
血アリ、涙アリ、痒イ所ニ手ノ届ク親切ヲ
當ノ數ニ上^テ居リ、社會ノ爲ニ多大ノ貢
獻ヲ致シテ居ルノデアリマス、昭和四年ノ
社會事業ノ年鑑ヲ見テモソレガ分ルカト思
モ此種ノ私設社會事業家ト云フモノハ、相
ヒマス、公營ノ一千四百四十五ニ對シテ、
私設社會事業ト云フモノハ一千四百五十一、
其經費ニ付テ考へマシテモ、公營ガ八百
七十万圓デアリマスルガ、私營ガ三千三
百五十六万圓、斯ウ云フヤウナ多額ナル經
費ヲ支拂ハレテ居ルノデアリマス、然ルニ
大正九年以後ニ於ケル經濟界ノ不景氣ト云
フモノハ、斯ウシタ社會事業團體ノ收入ニ

ガ爲ニ是等ノ社會事業團體ハ現ニ非常ナル窮境ニ立テ居ルノデアリマス、ソレナラ仕事ヲ廢止シタラバト云フヤウナコトモアルカモ知レマセヌガ、是等ノ社會事業團體ハ仕事ヲ廢止シヨウツシテモ廢スルコトノ出來ナイ、切ナル事情ニ立テ居ルモノガ多イノデアル、何故デアルカト申シマスト、一度仕事ヲ廢止致シマスナラバ、其温キ懷ニ抱カレテ居ル可憐ナル幼兒、老衰者、失業者、不具癆疾者ト云フモノハ、其日力ラ路頭ニ迷ハナケレバナラヌト云フコトニナルカラデアリマス、茲ニ社會事業關係者ガ其仕事ヲ廢止シヨウツシテモ廢止スルコトノ出來ナイ、人道的ノ立場ガアリ、是が爲ニ物質上、精神上非常ナル苦腦ヲ續ケテ居ルト云フコトハ、想像ニ餘リアルコトデアリマス、併シ其中ニハ切羽詰リマシテ、數十年名譽アル歴史ヲ持テ居リマシタ所ノ社會事業デ、仕事ヲ止メタモノモゴザイマス、又現ニ斯ウ云フ窮迫ナル事情ニ立テ居ル者モゴザイマス、恩賜財團デアル所ノ濟生會ノヤウナ、資金ノ豊富ト言ハレテ居ル社會事業團體デサヘモ、今日ハ其窮狀ヲ訴ヘテ居ルノデアリマスカラ、其他ノ私設社會事業ト云フモノガ、如何ニ窮迫ノ狀態ニ在ルカハ、明白ナル事實デアリマス、此不景氣ノ深刻ナルガ爲ニ生ジテ來テ居ル所ノ窮民ノ救濟ニ付テ、痛切ニ其活躍ヲ望ナレテ居り、自分等モ十分ニ活動ヲシタイト考ヘテ居リマスルガ、其手ガ及ベナイト云フヤウナ事情ニアルコトハ、是ハ誰人モ想像ノ出來ルコトデアリマス、茲ニ洵ニ重大ナル社會問題ガアリ、恐るベキ社會不安ノ原動力ガ存在シテ居ルト思フノデアリマス、最近諸君モ御承知ノ通リニ、頗々シテ痛マシキ親子心中ト云フモノガ新聞記事ヲ賑ハシテ居ルノデアリマス、即チ昭和五年七月カラ七年六月マデノ二箇年ノ計數ヲ調べタノヲ見マスルト、親子心中ノ件

數ハ四百九十三件ニ上リ、是ガ爲ニ犠牲ニナリマシタ人ノ數ハ一千四百十九人ニ達シテ居ルノデアリマス、サウ云フ痛マシキ犠牲者ガ生ズルニ至リマシタ事情ヲ考ヘルニ付キマシテモ、何トカシテ斯ラ云フ方面ニ活躍シヨウトシテ居ル社會事業、殊ニ私設社會事業ノ財政的基礎ヲ確立致シマシテ、其十分ナル活動ヲ促進スルト云フコトガ、目下喫緊ノ要務デアルト信ズル次第デアリマス、内務大臣ガ茲ニ見ル所ガアリ、罹災救助基金ノ利子ヲ使フニ當リマシテ、其一部ヲ必要ナル經費トシテ、社會事業ノ助成ニモ御使ヒニナルヤウセラレタコトハ、洵ニ結構デアリマスルシ、貴族院ノ修正ニ同意ヲサレタト云フコトモ、洵ニ結構デアルト考ヘマスガ、併シ之ヲ爲サル前ニ、内務大臣ハモット自分ノ所管ノ事項ニ付テ親シク御考ニナラレル必要ハナカラノデアルカ、即チ本案ノ改正ニ依テ生ズル社會事業ノ助成ハ、地方費ノ助成デアリマス、現ニ國費ニ於テ内務大臣ハ助成スペキ費用ヲ持テ居ラレルノデアル、社會事業調査獎勵費ト云フノガソレデアル、數年前ニハ多額ノ經費ヲ之ニ投ジテ、社會事業助成ノ爲ニ御骨折ニナッテ居ラレタノデアリマスガ、最近ニ於テハ其額ガ非常ニ減少シテ居ル、サウシテ助成團體ノ數カラ申シマスト、二千數百ノ團體ノ中デ此恩典ニ浴スルモノ僅ニ三百、其平均ノ補助金額カラ申シマスト、僅ニ百三十圓ニ過ギナイ、總額カラ申シマスト僅ニ三万九千圓ニ過ギナイト云フ状況デアリマス、斯ノ如キコトデハ内務大臣ト致シマシテ、社會事業ヲ助成スルト云フ精神ヲ徹底スル上ニ於テ遺憾ナ點ガ少クナイト考ヘルノデアリマス、地方費ノ補助ヲオヤリニナルト云フ御考ヲ決定スル前ニ、自分ノ所管ノ國費ニ付テ、從來通り若クハ從來以上ニ社會事業團體ニ對スル助成費ヲ考慮シテ、之ヲ増額スルト云フコトヲ決定サレルコトハ、範ヲ地方ニ示スト云フ上カラ

申シマシテモ、先づ最先ニ御考慮ニナラナケレバナラヌト考ヘマスガ、其點ニ付キマシテ内務大臣ノ御考ハドウデアルカ、其點ヲ承^クテ置キタインデアリマス第三點ト致シマシテ、政府ハ此際社會事業團體法ヲ制定シテ、社會事業ノ統制ヲ圖ル御考ハナイカ、能ク私設社會事業團體ニ對シテハ兎角ノ評ガアリマシテ、羊頭ヲ懸ゲテ狗肉ヲ賣ルモノデアル、慈善ニ藉ロシテ私益ヲ貪ルト云フ非難ヲ聞クノデアリマス、多數ノ社會事業團體ノ中ニ若干サウ云フモノガアルコトハ、之ヲ否定スルコトガ出来ナイト考ヘマス、併シ少數ノサウ云フ者ガアル爲ニ、多數ノ社會事業團體ガ迷惑ヲシテ居ルコトハ疑ノナイ事實デアリマスカラ、此際助成ノ策ヲ取ラレマス際ニ、玉石混淆ヲ止メテ、善キ者ハ之ヲ助ケ、悪キ者ハ之ヲ斥ケルト云フ考ヲ以テ、統制ヲ御加ヘニナルコトガ必要デアル、サウ云フ意味カラ考ヘマシテ、社會事業團體法ヲ制定サレル御考ガナイカト云フコトヲ承^クテ置キタイノデアリマス

第四點ト致シマシテ、本法ノ附則ニ、社會事業ノ助成ト云フモノハ「當分ノ内」ト制限ガ付イテ居リマスカラ、此時期ヲ經過サレマシタ後ハ、必ズ其趣旨ニ基カレマシテ、私設社會事業助成ノコトニ付テ、適當ナ處置ヲ御採リニナル御考デアルト推察致シマス、其點ニ付テハ、キリ此處デ言明シテ戴キタイト考ヘマスガ、如何ゴザイマスカ

救護法ノ制定ハ一般國民ノ熱望シタ問題デアル、其實績ヲ擧ゲルト否トハ大衆ノ死活ニ關スル問題デアリマス、又社會ノ第一線ニ立^ツテ活動致シテ居リマス所ノ私設社會事業團體ガ窮乏ノ狀況ニ在ルニ鑑ミマシテ、其財政の基礎ヲ確定致シマスト共ニ、彼等ノ獻身的活動ヲ促進スルコトハ、今日切迫セル大衆生活ヲ救濟シ、且ツ恐ルベキ社會不安ヲ一掃スル所以デアルト考ヘマス、

隨テ此點ニ對スル内務大臣ノ御態度ハ、其影響スル所決シテ鮮少デハナイト考ヘマスガ故ニ、是等ノ諸點ニ關シマシテ、ドウカ明確ニ御答辯アランコトヲ望ミマス(拍手)
〔國務大臣男爵山本達雄君登壇〕

四百万ノ收入ノ内三百万ハ他ニ使ヒ得ルモノガアリマシタカラ、之ヲ彼此レ財源ヲ探コトヲ感ジマシテ、敢敢ズ罹災基金ノ剩餘ノ見込ノアルモノヲ以テ、サウ云フ社會状態ヲ考ヘ延シテ居ルヨリモ、今日ノ社會状態ヲ考ヘルトドウモ空シクシテ居レヌト云フヤウナ業ノ方ニ振向ケテ、約三年間ノ期限ヲ以テ之ヲ利用スルコトニ致シマシテ、其中御質問ノ如キ團體ノ方モ亦、其資金ヲドノ點カラカ調達シテ、其方ニ向ケルコトニ折角盡力致シタイト思フノデゴザイマス、唯今日ノ如キ急場トシテハ捨テ置ケヌ故ニ、其剩餘ヲ以テ其方ニ支給致シマシテ、其間ニ財源ニ付テモ大ニ研究ラシ、又法ノ制定ニ付テモ研究シタイト云フ積リデゴザイマス、右御答ヲ致シマス

ハ國庫カラ補助スルト云フコトニナシテ居ルノデアリマス、市町村ガ先づ百五十万圓ノ救護費ト云フモノヲ使用スルト云フ事實ガ起ラタノデナケレバ、折角本法ノ改正ニ依リマシテ、地方ニ與ヘマス所ノ救護費モ、補助費トシテ御使ニナルコトハ出來ヌ、現ニ豫算ニ計上シテアリマス所ノ國庫ノ補助費二百八十二万圓モ、ソレヲ補助スルコトガ出來ナイコトニナルノデアリマスカ、其點ヲドウ御考ニナリマスカ、即チ救護法發動ニ根本タル市町村ノ救護費ト云フモノヲ、如何ニシテ捻出サレル御考デアリマスカ、其點ヲハギリ承テ置キタイ、此事ガ非常ニ重要デアリマス、ソレヲ御決メニナラズニ、本法ヲ改正スルト云フコトハ、羊頭ヲ懸ゲテ狗肉ヲ賣ルト云フヤウナモノデアル、殆んど實行ガ出來ナイモノヲ、此處ニ御出シニナタト言ハレテモ、辯護ノ餘地ガナナイデアラウト思フガ、其責任者タケレ底サルベキデアルト思フガ、其責任者タケル市町村ノ財政ガ窮乏シ、救護費ヲ賄フテヤルト、斯ウ言ダ所ガ、ソレハ結局實效ノナナイコトガ出來ナイ現状ニアルノデアルガラ、ソレニ對スル救濟ノ方法ヲ立てズニ、其上ニ在ル所ノ府縣ノ救護費ヲ賄フ所ニ配給スペキ義務ヲ負フ市町村ガ、其配給ノ施設ヲスル資力ガナイノガ現状デアルカラシテ、折角ノ水源池ノ貯水モ之ヲ利用スルコトガ出來ナイ状態ニアルノデアル、即チ救護法不徹底ノ根本原因ハ、市町村ノ救護費ガ賄ヒ切レナイト云フ點ニアルノデアリマス、其點ヲドウ御考ニナルカ、是非何等カノ方法ヲ以テ是ガ解決ヲ爲スト云フ決心ガ付カナケレバ、此案ハ審議シテモ無駄デアルト考ヘル、其點ニ付テモット明確ナル御答辯ヲ煩シテ置キタイト考ヘルノデ

アリマス、其他ノ諸點ニ付テハ御答辯ガゴザイマシタ、金ガナイカラ出セナイノデアルト、斯ウ仰セラレルコトハ、從來ノ政府ノ當局者ガ議會ニ答辯サレル慣用語デアリマス、私設社會事業團體ト云フモノガ、ドウシテモ助成サレナクテハナラヌ、今日ノ時局ヲ匡救スル上ニ於テ助ケテヤラナクテハナラヌト云フ誠意誠心ガゴザイマスナラバ、私ハサウ云フヤウナ辯解ヲナサル必要ハナイト思フ、公債デ支辨スルト云フヤウナ、現内閣ノ常套手段デ以テ、急場ニ瀕シテ居ル所ノ社會事業團體ニ對シテ、三年間ヲ限テ國庫ガ補助シテヤルト云フヤウナ方策デアル苦デアル、デアルカラシテ、財政ガドウダト云フヤウナコトヲ建前ト致シマシテ、私共ノ眞面目ナル要求ヲ拒否サレヨウト云フコトハ、頗ル不親切デアル、ソレデハ私設社會事業團體ト云フモノガ、アナタノ下ニ立テ、獻身的ノ努力ヲスルト云フ意氣ガ缺ケルデアラウコトヲ私ハ憂ヘザルヲ得ナイノデアリマス、ドウカ第一點ノ質問ニ對シテハ、更ニ明確ナル御答辯アランコトヲ切望致シマス

○國務大臣(男爵山本達雄君) 御答ヲ致シマス、只今御質問ノ地方團體、町村ニ付テノ資金ノコトニ付テハ、私ハ實際承知致シマセヌノデゴザイマス、今政府委員ノ社會局長官ニ承リマシタレバ、是ハ只今考究中デアルト云フコトデゴザイマス、而シテ其モノハ此種災基金ノ中カラ廻シ得ルト云フコトデゴザイマスガ、ソレヲ以テ御答ト致シマス、尙ホ御不審ガアリマスナラバ、政府委員ヨリ御答申上ゲタ方ガ、尙ホ詳シクテ御満足ト思ヒマス

○議長(秋田清君) 質疑ハ終局致シマシタ、日程第一、右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○上田孝吉君 本案ハ議長指名十八名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 上田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第三、製絲業法案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、平君委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長生田和平君

第三 製絲業法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

一 製絲業法案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和七年八月三十一日

委員長 生田 和平

衆議院議長秋田清殿
〔別紙〕
製絲業法案中左ノ通修正ス

第四條第一項及第二項中「一年」ヲ「年」ニ改ム

附則第二項中「十年間」及但書ヲ削ル

附帶決議

一 政府ハ時代ノ趨勢ニ鑑ミ原蠶種國家統制、生絲販賣統制其ノ他共同施設助成

ニ關スル法律案ヲ次期議會ニ提出シ以テ蠶絲業根本政策ヲ確立シ併セテ本法

(生田和平君登壇) ナシテ更ニ一段ノ效果アラシムベシ

○生田和平君 只今議題ニナテ居リマス

タル所ノ、製絲業法案ノ委員會ノ經過結果

テ之ニ免許制度ヲ行ハウトスル案デアリマス、政府ノ説明ヲ聽キマスト云フト、本邦ノ

製絲業ハ大小ノ企業ガ溢立致シマシテ、一常ナル暴落ヲシテ、製絲業者ガ機ニ臨ミテ

頓経價ガ非常ナル變動ニ遭ヒマスト云フ

ト、忽チ休業又ハ閉業ヲシナケレバナラヌコトニナルノデアリマス、爲ニ斯業ノ安定ヲ妨ゲマスノミナラズ、延イテハ養蠶家ニ

ニ、本法ノ免許制度ニセントスルト云フコトガ、說明ノ要點デアリマス

コトニナルノデアリマス、爲ニ斯業ノ安定スルカト云フコトヲ間ウタノデアリマスガ、政府ノ答辯ハ、此場合ニハ第三條ノ規定ニ依リマシテ、監督取締ノ發動ヲ爲ス考

スアル、更ニ又本法ハ非常時ニ處スルコトヲ得ルモノデアルトノ答辯ナツタノデアリマス

委員會ニ於ケル質問應答ノ主要ナル點ヲ申上げマスレバ、青木委員ヨリ、政府ノ提案セル本法ハ蠶絲業ノ全體ニ付テ脈絡アルニ對スル政府ノ統制政策ノ一つノ現ハレデアルカ、又武田委員ヨリハ、政府ノ蠶絲業ニ對スル指導原理ハ統制政策デアラネバナラヌ、然ルニ政府ハ販賣統制並ニ原蠶種國營等ニ對シテハ、何等ノ抱負經綸ヲ示サナ

イノハ、如何ナル理由ニ依ルノデアルカ、ト云フ質問ガアタノデアリマスガ、農林大臣ハ全般的統制政策ヲ行フコトハ同感デアル、併シ他ノ法案ハ今尙ホ研究中ニ屬シテ居ル、殊ニ販賣統制ニ付テハ外國ノコトモ考ヘナケレバナラヌカラ、此際ハ製絲業法ノ提案ニ止メタイト云フノデアリマシタ、青木、横川、武田、近藤君等ノ各委員ヨリ五十釜、組合製絲ハ百釜以上ニ規定セル所ハ、釜數制限ノ基準ニ付テ、營業製絲ハ百五十釜、組合製絲ハ百釜以上ニ規定セル所ノ立案ノ根本理由ニ付テ、質問應答ガ重不レタノデアリマス、本法ハ大資本家ヲ擁護シ、小資本家ヲ壓迫シ、遂ニ絶滅ニ到ラシメ、養蠶家ニ不利ヲ來サシムル點ニ付キマシテ、論戰大ニ努メタノデアリマスガ、政府ノ答辯ハ、我國蠶絲業ノ現狀ニ照シマシテ、以上ノ規定ヲ以テ適當ナリト主張スルノデアリマシテ、此點ニ於キマシハ各委員ノ満足ヲ得ルコトハ出來ナカタノデアリマス、横川、武田委員等ヨリハ、本シマシテ、以上ノ規定ヲ以テ適當ナリト主張スルノデアリマシテ、此點ニ於キマシハコトヲ豫想セバナラヌ、又將來絲價ガ非正竝ニ附帶決議ノ動議ガ提出セラレマシタ、其修正案ハ第四條第一項中「一年」トアルヲ「二年」ニ改ム、同條第二項中「一年」トアルヲ「二年」ニ改ム、附則中「十年間」ヲ削除、附則但書削除、附帶決議トシテ

「政府ハ時代ノ趨勢ニ鑑ミ原蠶種國家統制、生絲販賣統制、其ノ他共同施設助成

タ時ニハ、政府ハ如何ナル方針ヲ以テ處置スルカト云フコトヲ間ウタノデアリマスガ、政府ノ答辯ハ、此場合ニハ第三條ノ規定ニ依リマシテ、監督取締ノ發動ヲ爲ス考スアル、更ニ又本法ハ非常時ニ處スルコトヲ得ルモノデアルトノ答辯ナツタノデアリマス

尙ホ他ノ委員ヨリノ質問申ニ、本法施行後十年ノ後、營業製絲ハ百五十釜、組合製絲ハ百釜、ソレ以下ノ製絲業者ノ失格規定ニ付キマシテハ、本法ガ餘リニモ大資本家擁護、小資本家壓迫ニ傾キマシテ、由々シキ社會問題デアルト云フノデ、政府ニ對シテハ糾彈的質問ヲ發シタノデアリマス、チ既設小工場者ノ既得權ヲ擁護セネバナラヌコト、又大資本製絲業ノ將來ノ橫暴ニ處スル用意ヲ持タベナラヌコトヲ警告致シ

タノデアリマス、討論ニ入りマシテ、小山委員ヨリ、政府ハ乾綱取引ノ普及ニ徹底方策ヲ樹テル、又生蘭期ニ於ケル大製絲業ノ横暴ニ備フル必要アルコトヲ痛論サレタノデス、加藤委員ヨリハ、特ニ政府ニ對シテスル用意ヲ持タベナラヌコトヲ警告致シ

二、蠶絲業ノ各團體ニハ必ズ指導技術員ヲ設置セシムルヤウ是方助成金交付ノ途ヲ講ズルコト

三、繭取引ノ公正正直期セシムル爲ニ繭ノ検査所ノ發達ニ對シ大ニ助成ノ方法ヲ講ズルコト

四、乾繭取引ノ徹底の方策ヲ樹ツルコト以上ノ四點ヲ強調セラレタノデアリマス

次イデ政友會ノ青木委員ヨリ、次ノ如キ修正

正竝ニ附帶決議ノ動議ガ提出セラレマシ

タ、其修正案ハ第四條第一項中「一年」トア

ルヲ「二年」ニ改ム、同條第二項中「一年」トアルヲ「二年」ニ改ム、附則中「十年間」ヲ削

除、附則但書削除、附帶決議トシテ

「政府ハ時代ノ趨勢ニ鑑ミ原蠶種國家統制、生絲販賣統制、其ノ他共同施設助成

タ時ニハ、政府ハ如何ナル方針ヲ以テ處置スルカト云フコトヲ間ウタノデアリマスガ、政府ノ答辯ハ、此場合ニハ第三條ノ規定ニ依リマシテ、監督取締ノ發動ヲ爲ス考スアル、更ニ又本法ハ非常時ニ處スルコトヲ得ルモノデアルトノ答辯ナツタノデアリマス

ニ關スル法律案ヲ次期議會ニ提出シ以テ
蠶絲業根本政策ヲ確立シ、併セテ本法ヲ
シテ更ニ一段ノ效果アラシムベシ」
ト云フ附帶決議ノ動議ノ提出ガ「アタノデ
アリマス、此動議ニハ別ニ説明ハナカッタ
ノデアリマスルガ、委員會ニ於ケル質問應
答ノ模様ヨリ、斯様ノ意味ガ含マレテ居ル
ノデアリマス、即チ修正ノ要旨ハ第四條ニ
於テ免許ヲ受ケ、事業ヲ一年以内ニ開始セ
ザルモノ、並ニ引續キ一年以上事業ノ全部
又ハ一部ヲ爲サザルモノニハ、免許ノ取消
又ハ制限ヲ加ヘントスル原案ヲ、甚ダ苛酷
ナリト致シマシテ、例ヘバ新ニ本法ノ適用
ヲ受ケマシテ、會社ヲ組織スル目的ニ依
リ、發起人ノ名ニ於テ許可ヲ受ケタル場合
ニ、免許後ニ於テ株式ヲ募集セネバナラヌ、
工場ノ建設モセネバナラヌ、又多數ノ男女
工モ雇入レネバナラヌ、更ニ原料繭ノ買入
モセネバナラヌ、原料繭ニ至リマシテハ、
春蘭時期ニ多量ノ買入ヲ必要トスルノデア
リマス、故ニ相當ノ時日ヲ要スル、又第二
ノ項目デハ、製絲業ハ最近兩三年ノ如キ非
常ナル不況ノ時代ニ於キマシテ、僅ニ一年
間營業ヲ休止致シマシタ爲ニ、其免許ヲ取消
シ又ハ制限ヲ附スルト云フコトハ、如何ニモ
製絲業者ニ對シテ苛酷ノ立法デアルト致シ
マシテ、之ニ對シテモ原案ノ「一年」トアル
ヲ各ニ「二年」ニ緩和致シタノデアリマス、
附則ニ於テ「十年間」ノ削除並ニ但書ノ削除
——但書ト云フノハ「但シ、本法施行ノ日ヨ
リ十年以内ニ命令ノ定ムル條件ヲ具備シ主
務大臣ノ認可ヲ受ケタル者ニ限リ、其ノ期間
經過後ト雖モ仍免許ハ其ノ效力ヲ有ス」即
チ十年以後ニハ改メテ認可ヲ受ケネバナラ
ヌノデアリマス、若シ例ヘバ五十釜ノ製絲
業者ガ、十年後ニ於テ其儘工場ノ擴張ガ出
來ヌ場合ニハ、免許ハ取消サレル、百五十
釜以下デアリマスルカラ、百四十九釜デモ
同ジク免許ヲ取消サレルノデアリマス、是
等ノコトモ甚ダ製絲業者ニ取リマシテ、苛

酷ナ扱ヒデアルト致シマシテ、之ニ修正ヲ
ノ製絲業者ハ、此法律ニ依テ取消サレル
コトハ更ニナイノデアリマス、一言ニ言ヘ
バ既得權ハ認メラレタノデアリマス、附帶
決議ノ要旨ハ、亂雜ナル原蠶種ヲ、國家統
制ノ下ニ統一ヲ圖リ、更ニ生絲販賣統制政
策ヲ樹立シ、絲價ノ安定ヲ圖リ、共同施設
ノ助成、共同荷造、共同乾糞場ノ助成等、
養蠶家竝ニ小製絲家ノ利益ヲ擁護スル等、
全面的ニ蠶絲業ノ根本政策ヲ確立セント欲
スル次第デアリマス、採決ノ結果ハ、政友
民政、國同トモ一人ノ反対ナク、修正及附
帶決議、茲ニ修正以外ノ爾餘ノ政府案全部
ニ對シテ、滿場一致ヲ以テ可決セラレタノ
デアリマス、委員會ハ直ニ政府ニ對シマ
シテ、右修正案竝ニ附帶決議ニ付キ賛否ノ
意見ヲ質シタノデアリマスルガ、政府ハ委
員會ノ決議ニ賛成ノ意思ヲ表明シ、尙本附
帶決議ニ對シテハ、次期ノ議會ニ提案スル
コトニ努力スル旨ヲ言明セラレタノデアリ
マス、以上ハ委員會ノ大略ノ御報告デアリ
マスガ、尙ホ詳シイコトハ速記録デ御覽ヲ
戴キタノデアリマス（拍手）

○議長（秋田清君） 質疑ハアリマセヌ、是
ヨリ討論ニ入りマス——近藤壽市郎君

（近藤壽市郎君登壇）

○近藤壽市郎君 諸君、私へ只今茲ニ議題
トナ、テ居リマスル蠶絲業法案ニ關シマシ
テ、委員長ノ御報告ニナリマシタ通り、政
府提出ノ原案ニ修正ヲ加ヘタル、即チ委員
會ノ決議ニ賛成スル者デアリマス、成ベク
簡單ニ其理由ヲ申上ゲ、滿場諸君ノ御賛成
ヲ仰ギ、サウシテ可決確定致シタイト存ズ
ルモノデアリマス

本案ハ製絲業ヲ免許制度ト致シ、政府監
督ノ下ニ絲價ノ統制ヲ圖リ、行詰マレル製
絲界ノ刷新打開ヲ目的トスル法案デアリマ
ス、本案ハ製絲業ヲ免許制度ト致シ、政府監
督ノ下ニ絲價ノ統制ヲ圖リ、行詰マレル製
絲業者ガ、十年後ニ於テ其儘工場ノ擴張ガ出
來ヌ場合ニハ、免許ハ取消サレル、百五十
釜以下デアリマスルカラ、百四十九釜デモ
同ジク免許ヲ取消サレルノデアリマス、是
等ノコトモ甚ダ製絲業者ニ取リマシテ、苛

ス、此免許制度ト云フコトニ付キマシテハ、
多少意味コソハ達ヒマスルケレドモ、兎ニ
ニ瓦ル多數ノ小製絲工場ハ此修正ノ爲ニ、
ノデアリマス、此動議ニハ別ニ説明ハナカッタ
答ノ模様ヨリ、斯様ノ意味ガ含マレテ居ル
ノデアリマス、此動議ニハ別ニ説明ハナカッタ
ノデアリマス、即チ修正ノ要旨ハ第四條ニ
於テ免許ヲ受ケ、事業ヲ一年以内ニ開始セ
ザルモノ、並ニ引續キ一年以上事業ノ全部
又ハ一部ヲ爲サザルモノニハ、免許ノ取消
又ハ制限ヲ加ヘントスル原案ヲ、甚ダ苛酷
ナリト致シマシテ、例ヘバ新ニ本法ノ適用
ヲ受ケマシテ、會社ヲ組織スル目的ニ依
リ、發起人ノ名ニ於テ許可ヲ受ケタル場合
ニ、免許後ニ於テ株式ヲ募集セネバナラヌ、
工場ノ建設モセネバナラヌ、又多數ノ男女
工モ雇入レネバナラヌ、更ニ原料繭ノ買入
モセネバナラヌ、原料繭ニ至リマシテハ、
春蘭時期ニ多量ノ買入ヲ必要トスルノデア
リマス、故ニ相當ノ時日ヲ要スル、又第二
ノ項目デハ、製絲業ハ最近兩三年ノ如キ非
常ナル不況ノ時代ニ於キマシテ、僅ニ一年
間營業ヲ休止致シマシタ爲ニ、其免許ヲ取消
シ又ハ制限ヲ附スルト云フコトハ、如何ニモ
製絲業者ニ對シテ苛酷ノ立法デアルト致シ
マシテ、之ニ對シテモ原案ノ「一年」トアル
ヲ各ニ「二年」ニ緩和致シタノデアリマス、
附則ニ於テ「十年間」ノ削除並ニ但書ノ削除
——但書ト云フノハ「但シ、本法施行ノ日ヨ
リ十年以内ニ命令ノ定ムル條件ヲ具備シ主
務大臣ノ認可ヲ受ケタル者ニ限リ、其ノ期間
經過後ト雖モ仍免許ハ其ノ效力ヲ有ス」即
チ十年以後ニハ改メテ認可ヲ受ケネバナラ
ヌノデアリマス、若シ例ヘバ五十釜ノ製絲
業者ガ、十年後ニ於テ其儘工場ノ擴張ガ出
來ヌ場合ニハ、免許ハ取消サレル、百五十
釜以下デアリマスルカラ、百四十九釜デモ
同ジク免許ヲ取消サレルノデアリマス、是
等ノコトモ甚ダ製絲業者ニ取リマシテ、苛

ス、此免許制度ト云フコトニ付キマシテハ、
多少意味コソハ達ヒマスルケレドモ、兎ニ
ニ瓦ル多數ノ小製絲工場ハ此修正ノ爲ニ、
ノデアリマス、此動議ニハ別ニ説明ハナカッタ
答ノ模様ヨリ、斯様ノ意味ガ含マレテ居ル
ノデアリマス、即チ修正ノ要旨ハ第四條ニ
於テ免許ヲ受ケ、事業ヲ一年以内ニ開始セ
ザルモノ、並ニ引續キ一年以上事業ノ全部
又ハ一部ヲ爲サザルモノニハ、免許ノ取消
又ハ制限ヲ加ヘントスル原案ヲ、甚ダ苛酷
ナリト致シマシテ、例ヘバ新ニ本法ノ適用
ヲ受ケマシテ、會社ヲ組織スル目的ニ依
リ、發起人ノ名ニ於テ許可ヲ受ケタル場合
ニ、免許後ニ於テ株式ヲ募集セネバナラヌ、
工場ノ建設モセネバナラヌ、又多數ノ男女
工モ雇入レネバナラヌ、更ニ原料繭ノ買入
モセネバナラヌ、原料繭ニ至リマシテハ、
春蘭時期ニ多量ノ買入ヲ必要トスルノデア
リマス、故ニ相當ノ時日ヲ要スル、又第二
ノ項目デハ、製絲業ハ最近兩三年ノ如キ非
常ナル不況ノ時代ニ於キマシテ、僅ニ一年
間營業ヲ休止致シマシタ爲ニ、其免許ヲ取消
シ又ハ制限ヲ附スルト云フコトハ、如何ニモ
製絲業者ニ對シテ苛酷ノ立法デアルト致シ
マシテ、之ニ對シテモ原案ノ「一年」トアル
ヲ各ニ「二年」ニ緩和致シタノデアリマス、
附則ニ於テ「十年間」ノ削除並ニ但書ノ削除
——但書ト云フノハ「但シ、本法施行ノ日ヨ
リ十年以内ニ命令ノ定ムル條件ヲ具備シ主
務大臣ノ認可ヲ受ケタル者ニ限リ、其ノ期間
經過後ト雖モ仍免許ハ其ノ效力ヲ有ス」即
チ十年以後ニハ改メテ認可ヲ受ケネバナラ
ヌノデアリマス、若シ例ヘバ五十釜ノ製絲
業者ガ、十年後ニ於テ其儘工場ノ擴張ガ出
來ヌ場合ニハ、免許ハ取消サレル、百五十
釜以下デアリマスルカラ、百四十九釜デモ
同ジク免許ヲ取消サレルノデアリマス、是
等ノコトモ甚ダ製絲業者ニ取リマシテ、苛

ス、此免許制度ト云フコトニ付キマシテハ、
多少意味コソハ達ヒマスルケレドモ、兎ニ
ニ瓦ル多數ノ小製絲工場ハ此修正ノ爲ニ、
ノデアリマス、此動議ニハ別ニ説明ハナカッタ
答ノ模様ヨリ、斯様ノ意味ガ含マレテ居ル
ノデアリマス、即チ修正ノ要旨ハ第四條ニ
於テ免許ヲ受ケ、事業ヲ一年以内ニ開始セ
ザルモノ、並ニ引續キ一年以上事業ノ全部
又ハ一部ヲ爲サザルモノニハ、免許ノ取消
又ハ制限ヲ加ヘントスル原案ヲ、甚ダ苛酷
ナリト致シマシテ、例ヘバ新ニ本法ノ適用
ヲ受ケマシテ、會社ヲ組織スル目的ニ依
リ、發起人ノ名ニ於テ許可ヲ受ケタル場合
ニ、免許後ニ於テ株式ヲ募集セネバナラヌ、
工場ノ建設モセネバナラヌ、又多數ノ男女
工モ雇入レネバナラヌ、更ニ原料繭ノ買入
モセネバナラヌ、原料繭ニ至リマシテハ、
春蘭時期ニ多量ノ買入ヲ必要トスルノデア
リマス、故ニ相當ノ時日ヲ要スル、又第二
ノ項目デハ、製絲業ハ最近兩三年ノ如キ非
常ナル不況ノ時代ニ於キマシテ、僅ニ一年
間營業ヲ休止致シマシタ爲ニ、其免許ヲ取消
シ又ハ制限ヲ附スルト云フコトハ、如何ニモ
製絲業者ニ對シテ苛酷ノ立法デアルト致シ
マシテ、之ニ對シテモ原案ノ「一年」トアル
ヲ各ニ「二年」ニ緩和致シタノデアリマス、
附則ニ於テ「十年間」ノ削除並ニ但書ノ削除
——但書ト云フノハ「但シ、本法施行ノ日ヨ
リ十年以内ニ命令ノ定ムル條件ヲ具備シ主
務大臣ノ認可ヲ受ケタル者ニ限リ、其ノ期間
經過後ト雖モ仍免許ハ其ノ效力ヲ有ス」即
チ十年以後ニハ改メテ認可ヲ受ケネバナラ
ヌノデアリマス、若シ例ヘバ五十釜ノ製絲
業者ガ、十年後ニ於テ其儘工場ノ擴張ガ出
來ヌ場合ニハ、免許ハ取消サレル、百五十
釜以下デアリマスルカラ、百四十九釜デモ
同ジク免許ヲ取消サレルノデアリマス、是
等ノコトモ甚ダ製絲業者ニ取リマシテ、苛

ハアリマセヌガ、三代モ四代モ研究ニ研究ヲ重ネテ參リマシテ、サウンテ中ニハ優等ナル所ノ輸出貿易トナル絲ガ、五十釜ノ製絲カラモ出ルノデアリマス、ソレカラ尙ホ模範製絲工場モアルノデアリマスルガ、之ヲ犠牲ニ供シテ、十年間經テバオ前ノ首ヲ斬ルゾト、斯ウ云フモノヲ出スノハ慘酷デアルト、斯ウ思フノデアリマスルガ故ニ、今日是等ヲ考慮致シマシテ、サウシテ此提案案ニ修正ヲシタ譯デアリマス、ソレニ附屬致シマシテノ修正ハ、第四條ハ一年ヲ二年トスルノハ只今委員長ノ御報告ニナッタ通り、當然デアリマス、會社ヲ設立セントシテモ、或ハ百五十釜ノ製絲ヲ企業致サント致シマシテモ、一年ノ經ツノハ早イモノデ、認可ヲ取ツテカラ器械ヲ買入レ、敷地ヲ買ヒ、建築シ、總テノコトヲ致スマデニハ一年ヲ經過シテシマフ、シテ見マスルト此一年ガ經過スレバ效力ヲ失ウト、斯ウ云フ風ニナリマシタノデハ、法ガ有ツテ無キ方如ク、ドウシテモ此法ト云フモノハ實行スル時日ノアルダケノモノヲ、茲ニ定メテ置カナケレバナラヌ筈ナノデアリマスカラ、此二年ニ贊成スル次第デアリマス、今小製絲家ヲ倒シマシテ、ソレデ養蠶家ニ何等ノ影響ガアルカ、絲ヲ統制シ、サウシテ製絲家ノ製絲ノ統一ヲ圖ルト云フコトハ宜イデハナイカ、是ガ何デ「ブルヂヨア」ノ案デアルカ、何ガ大製絲家ノ利益ノ案デアルカトスウ申シマスルガ、茲ニ大ニ理由ガアルノデアリマス、小製絲家ハ先づ私共ノ地方デ申シマスルト云フト、小製絲家ガ繭ノ買入ヲシテ置クベキ餘裕ハナイノデアリマス、テ、飼育上ニハ學理ニ、實驗ニ富ンデ参リテヤウニ考ヘテ居リマスルガ、微弱ナル所ノ養蠶家ガ如何ニ今日養蠶方發達致シマシモ、中ニハ天候ニ冒サレテ「ビショ」繭ノヤウナモノモ出來マス、ソレカラドンナ學理

ヲ應用致シマシテモ失敗ト云フコトガアル
卒業シテ居ル農家ノ微弱ナル養蠶家ニ多イ
ノデアリマス、斯ウ云フ「ビショ」蘭ダトカ
下等蘭等ヲ製造致シマシタ時ニ、百五十釜
以上ノ大製絲家ハ、是等ニ向テハ見向モ
致サヌノデアリマスガ、ソニヨ行クト此小
製絲家ガ參リマシテ、ソレ等ノ蘭ハ直チニ
相當ノ値段ヲ以テ引取フテ吳レルト云フ、茲
ニ有利ナコトガアルノデアリマス、現ニ私
ノ地方ノミナラズ、長野縣ト云ハズ、群馬
縣ト云ハズ、全國ニ亘テ此例ハアルコト
ト思フノデアリマス

以上ノ理由ニ於キマシテ、附則ヲ修正
シ、且ツ第四條ノ中ヲ修正シ、附帶決議ヲ
委員會致シマンタカラ、吾々ハ之ニ賛成
ヲスルモノデアリマス、現在ノ製絲家ハ釜
數ノ如何ニ拘ラズ、何レモ是ガ認可ヲ認メ
ルコトニ致シマシス、サウシテ尙ホ此處デ
私ハ當局ニ希望ヲ述べテ置キマスガ、施行
細則ニ至リマシテハ、吾々議員ノ容喙スル
所デハナインゴザイマセウガ、要スルニ
此法律ガ有意義ニ適用セラレテ、大製絲家
ト云ハズ、小製絲家ト云ハズ、養蠶家ト云
ハズ、何レノ方面ニ對シマシテモ、救濟保
護サル、ヤウニ御考慮ヲ煩シタイノデアリ
マス、本案ハ多年唱道シ來リマシタル重大
ナル、而モ蠶絲界ニ於ケル一大革命トモ稱
スペキ案件デアリマスカラ、諸君滿場一致
ヲ以テ御賛成アランコトヲ偏ニ冀フ次第デ
アリマス

ノレマシタル本法律案ハ、蠶絲業國策全體ノ上カラ見マスルナラバ、僅ニ其一部ニ過ギマセヌ、是ハ甚ダ遺憾デアリマス、併ナガラ假令其一部ト雖モ國策ヘノ第一歩ヲ踏出シタルモノデアルト云フコトハ、認メ得ルノデアリマス、勿論私共ノ冀フ所ハ、殊ニ今日ニ於テ輸出生絲ノ販賣ニ對スル統制、之ニ依テ統制ナキ輸出生絲ノ現在ノ狀勢カラ起リマスル亂騰激落、隨テ生ズル斯業ノ不安ヲ取除キ、同時ニ又原蠶種ノ國家管理ヲ斷行スルコトニ依テ、品種ノ統一茲ニ改善ニ資スル、同時ニ養蠶業者ノ爲ニハ其生産サレマシタル繭ヲ公平ニ取引セラル、ヤウニ、其繭ノ品位検査ヲ恰モ現在生絲ニ對シテ行ヒツ、アルソレノ如ク、或ハ國家、或ハ地方自治體、其他ノ團體ヲシテ繭ノ品位検査ヲ普及セシメテ、其品物相當ノ取引ヲ行ハシムルヤウニ導クコトガ大切デアル、同時ニ其生産品ノ處理ニ對シマシテハ、一方ニ於テ組合製絲ヲ獎勵スルト同時に、乾繭取引ノ普及ヲ圖リマシテ、一時ニ生繭ノ生産時期ニ、市場ヲ目懸ケテ殺到致シテ參リマス爲ニ、勤モスレバ壓迫サレ勝ナル不自然ナル繭價ノ下落ヲ未然ニ防イデ、養蠶家ヲシテ自身ノ生産シタ繭ノ處分ノ時機ヲ自由ニ選擇シ得ルノ便ヲ與ヘルコトハ、極メテ大切ナル處置デアルト思フノデアリマス、斯ノ如キコトハ現下ニ於ケル蠶絲業界ノ缺陷ヲ匡救スル、有效適切ナル手段デアルト信ズルノデアリマス、而シテ之ニ對シマシテハ幸ニ政府モ略ミ其意見ヲ同ジウシテ、隨テ之ニ對シテハ極力其研究ヲ急ギ、調査ヲ進メ、テ近ク確信アル成案ヲ得テ議會ニ提案セラル、ト云フ、誠意アル御意見ノ發表ガアリマシタノデ、殊ニラレテアル事實ニ鑑ミマシテ、私共ハ此度今日政府ノ提案セラレマシタル豫算ヲ見マシテモ、此晚秋蠶竝ニ秋蠶ニ對シマシテハ、乾燥ニ對スル費用ノ補給ヲサヘ計畫セラレテアル事實ニ鑑ミマシテ、私共ハ此度ノ法律案ハ、將ニ蠶絲業救濟ノ國策樹立ノ

○議長(秋田清君) 戸田由美君
(戸田由美君登壇)
○戸田由美君 私モ只今ノ委員長ノ報告ニ
對シマシテ、極メテ簡単デアリマスル
ガ、贊成ノ意ヲ表シタイト存ズルノデアリ
マス、政府ノ提案ニ係リマスル製絲業法案、
吾々委員會が全會一致ヲ以テ修正ヲ致シ、
之ニ希望條件ヲ添ヘマシタル此案ハ、洵ニ
我が製絲業ニ對シマシテ有效確切ナル解決
ヲ、與ヘルコトヲ信ズルニ吝デナインデア
リマス、既ニ近藤、小山兩君ヨリ委員長ノ
報告ニ對シマシテ贊成ノ御演説ガアリマシ
テ、十分ニ吾々ノ贊意ヲ盡シテ居ルヤウニ
存ズルノデアリマスルガ、唯私ハ其贊成ノ
意ヲ表スル中心點ヲ、他ノ方面ニ求メタイ
ト存ズルノデアリマス、先づ來、或ハ又世
上ニハ、本製絲業法案ニ對シマシテ、動モ
レバ大資本家、大製絲家ノ擁護案デアル
トカ、或ハ弱小劣勢ノ小資本家ヲ壓迫スル
事ニ依テ、其影響スル結果ガ、只サヘ疲弊
困憊致シテ居リマスル地方養蠶家、農民ニ
重大ナル禍ヲ及ボストカ云フ批評ガ、非常
ニ多いノデアリマスガ、私共ハ我國ノ貿易
ノ中心ヲ成シマスル——即チ最近我國ノ對
外貿易ガ非常ナル逆調ヲ呈シマシテ、我方
國家ノ財政經濟ニ重大ナル影響ヲ及スコト
影響ヲ與ヘル所ノ製絲ノ問題ニ付キマシテ
マシテ、最近一箇月ノ我國ノ逆調ノ對外貿
易ガ、一躍三千數百万圓、直チニ回復致シ
タト云フ、此貿易ノ「バランス」ニ重大ナル
方面ヨリ之ヲ考察致サズシテ、國家ノ重要
產業トシテ、大處當處ヨリ之ヲ論斷致シタ

イト考フルノデアリマス、而レテ私ノ此建
前カラ申シマスレバ、結局我國ノ蠶絲業法
ノ根本政策ハ、製絲業其モノ、内容ノ確立
ト充實トニ、之ヲ置カナケレバナラナイト
考フルノデアリマス、固ヨリ蠶絲業ノ根本
政策カラ申シマスレバ、獨リ製絲業其モノ
ニ付テ考慮ヲ費スノミナラズ、先程來論ゼ
ラレマシタ所ノ蠶種ノ問題ニ付キマシテ
モ、販賣統制ニ關シマシテモ、悉ク之ヲ一
貫致シタ脈絡ノ下ニ、大國策ヲ樹テンケレ
バナラナインデアリマスルガ、翻ツテ考ヘテ
見マスレバ、如何ニ優良ナル繭ヲ製造致シ
マシテモ、如何ニ優秀ナル蠶種ニ依テ養蠶
業ヲ經營致シマシテモ、製絲家ノ基礎ガ不
安定デアリ、動搖ヲ致シテ居リ、而シテ薄
弱ナル基礎ノ下ニ立ッテ、其製絲家ノ產出シ
タル生絲ガ優良品ナラザル限りハ、我國ノ
生絲貿易ハ決シテ振興致シマセヌ、其結果
我國ノ養蠶業者ニ對スル非常ナル損害ハ、
之ヲ救フコトガ出來ナイト云フコトハ、私
ガ誇ク申上ゲル迄モナイ事デアルト信ズル
ノデアリマス、故ニ目下ノ蠶絲業ニ對シマ
シテ、吾々ガ最モ考ヘナケレバナラナイ問
題ハ、製絲業其モノ、基礎ノ堅實ナルコト
ト、其内容ノ充實スルコト、隨テ其基礎ノ
下ニ於キマシテ、優良ナル統一セル多量ノ
生絲ヲ產出スルト云フコトニナクテハナラ
ナイト考ヘマシテ、此目的ノ爲ニ今回政府
ガ其製絲業ノ基礎ヲ確立シ、充實セシムル
爲ニ、群小ノ弱勢ノ製絲家ノ亂立ヲ防グノ
意味ニ於テ、本案ヲ提出セラレタト云フコ
トハ、吾々ガ最モ政府ノ蠶絲業ニ關スル政
策ニ信賴ヲ致シテ、本案ヲ贊成致シタ所以
デアリマス(拍手)

ハ稍々閑却サレテ居ルガ如キ状態デアリマスルガ、僅カ一箇月前ノ第六十二議會ニ於ケル議會ノ中心問題ハ、何デアタカト申シマスレバ、申ス迄モナイ國家國民ニ數千萬圓ノ損害ヲ與ヘマシタ彼ノ滯貨處分ノ問題デアタノデアリマス、當時ノ議會ハ内外ヲ通ジテ囂々タル論議ヲ惹起シマシテ、實ニ生絲問題ガ、國家國民ニ對シテ如何ニ重大ナルモノデアルカト云フコトハ、明瞭デアルノデアリマス、而シテ斯ノ如キ大問題ヲ起シマシタノハ、最近ノ思想ト致シマシテ、放縱無節制ナル自由産業思想ガ、斯様ナ結果ヲ招來致シマシテ、遂ニ十九万箱ノ生産過剩ノ滯貨生絲トナックト云フコトヲ考ヘマスレバ、茲ニ政府ガ蠶絲業ニ對シマシテ、統制案ヲ提案サレタト云フコトハ、洵ニ機宜ノ處置デアルト考ヘルノデアリマス、最近燒俸ニモ生絲ガ百斤千圓臺以上ニ暴騰致シマシタガ、茲ニ吾々ノ憂フベキ業界ノ状況ハ、再ビ二千釜、五十釜、百金以下ノ群小製絲家ガ、亂立セントスルノ傾向ノ現ハレデアリマシテ、斯ノ如キ事ヲ無制限ニ、無統制ノ下ニ置キマスルナラバ、軽テ是等ノ男女ノ從業員ニ對シテ、如何ナル状態ヲ起シマスカト云フコトハ、諸君ガ恐ラク御想像下サルコトデアラウト考ヘルノデアリマス、我ガ長野縣ニ於キマシテハ、昨年來製絲業家ノ非常ナル打撃ニ依リマシテ、殊ニ弱勢ナル小製絲家ノ非常ナル窮境ニ依リマシテ、從業員ハ之ニ從業スルコトヲ嫌フノデアリマス、但シ其父兄ハ只サヘモ窮迫シテ居リマスル各家庭ノ生計ヲ維持スル爲ニ、口稼ギニナレバ宜シイカラ、製絲家ヘ行シテ貴ヒタイト云フコトヲ、其工男工女ニ只管頼ムノデアリマスルガ、此父兄ノ懇願ニ對シマシテ、其子弟ノ男女從業員ハ、自分ガ長イ間苦勞ラシテ働イテモ、唯口稼ギ

○議長トナルコトヲ欲シナイト云フノデ、重大ニ附込ミマシテ、或ハ思想上ノ問題モ起ルト云フコトニ、相成^ツテ居ルノデアリマス、其甚シキニ於キマシテハ、口稼ギハ嫌ダト云フ其弱點ニ、相成^ツテ居ルノデアリマス、其甚シキニ於キマシテハ、口稼ギハ嫌ダト云フ其弱點ニ附込ミマシテ、或ハ思想上ノ方面ヨリ、或ハ其他ノ方面ヨリ致シマシテ、妙齡ナル婦女子ヲ誘拐致シマシテ、遂ニ彼等ヲシテ知ラズ識ラズノ間ニ、實ニ恐ルベキ害毒ヲ有スル或ル方面ニ墮落セシメントスル者ガ、多イノデアリマス、恐ルベキ私娼ヲ警察官ガ検挙致シマスレバ、製絲工女ガ多數アツタト云フヤウナ事實ガ、非常ニアリマシテ、吾々長野縣民ハ此事柄ニ對シマシテ、洵ニ頭腦ヲ痛メテ居ルノデアリマス、現内閣ニハ幸ニ致シマシテ、地上ニ咲ク無名ノ一輪ノ花ニマデ、重大ナル意義ヲ認メル閣僚ガ居ラレルノデアリマス、現内閣ハ此長野縣ノ閣ニ彷彿フ解語ノ花ニ對シテモ、是亦重大ナル意義ヲ御發見ニナリマシテ、本案ノ其效果ニ於テ十分徹底ヲ期スルダケハ、將來御監督アランコトヲ切ニ希望致シマス、是レ私ノ贊意ヲ表シタ所以デアリマス(拍手)

○議長(秋田清君) 討論ハ終局致シマシタ、本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマス(拍手)

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○上田孝吉君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り、可決セラレントコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 上田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君)別ニ御發議モアリマセ
ヌ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可
決確定致シマシタ(拍手)——只今政府ヨリ、
滿洲方面ノ治安狀況ニ關スル報告ノ爲メ、
發言ヲ要求セラレマシタ、之ヲ許シマ
ス——荒木陸軍大臣

満洲方面ノ治安狀況ニ關スル報告
(國務大臣荒木貞夫君登壇)

○國務大臣(荒木貞夫君) 最近滿洲方面ヨ
リ、屢々南滿鐵道ノ沿線其他ニ匪賊ガ襲來
ヲ致シマスルコトノ情報ガアリマスルコト
ト、今朝又號外ヲ以テ可ナリ誇大ナ狀況ガ、
報告ヲセラレテ居リマスルノデ、色々御心配
ヲセラレテ居ル方々モアリマスルカラ、此機
會ニ貴重ナル時間ノ一部ヲ拜借致シマシテ、
前議會以後ノ北滿方面ノ狀況ト併セテ、御
報告ヲ申上ゲタイト存ジマス

北滿方面ニ於キマシテハ、前、第六十二
議會ニ於キマシテ御協贊ヲ得マシタ、豫算
ニ基キマシテ、騎兵旅團其他多クノ機動部
隊ヲ派遣ヲ致サレマシテ、其騎兵旅團、鐵
道隊、飛行隊ト云フヤウナ機動部隊ノ奮闘
ニ依リマシテ、其活動ガ非常ニ敏活ニナリ
マシタ爲ニ、著々其效果ヲ收メツ、アッタ
ノデアリマス、御承知ノ如クニ滿洲方面
ハ、殊ニ北滿方面ノ今回匪賊ヲ討伐致シマ
スル方面ハ、地形ガ非常ニ錯綜ヲ致シテ居
リマスルノミナラズ、交通ガ極メテ不便デ
アリマス、其上ニ二十年以來ノ豪雨ニ遭遇
ヲ致シマシタ爲ニ、軍ノ活動ハ非常ニ困難
コトガ出來ナイ爲ニ、後方ニ置カケレバ
ナラヌ、置ケベ此處ニ守備隊ヲ殘サナケレ
バナラヌト云フヤウナ各種ノ狀況、其他宿
營休養、是ハ彼ノ地ニ御出ノ方へ御承知ノ

通リニ、甚ダ疎薄ナ人口ノ地方デアリマスル爲ニ、是等ニ對シテモ非常ナ困難ヲ感じ
マシタガ、兎ニ角總テノ艱難ニ打勝チマシテ、討伐ヲ決行致シマシタ爲ニ、或ハ糧食
ハ飛行機カラ之ヲ送ル、詰リ空中カラ鎗説
其他ヲ投下致シテ、ソレヲ地上デ拾ヒテ討
伐ニ從事スルト云フヤウナ光景ヲ呈シタノ
デアリマス、併ナガラ第〇〇師團ガ主トシ
テ之ニ當リマシタガ、其奮闘ニ依リマシテ、
五月十五日黒河ヲ拔ケ出シマシテ、満洲國
竝ニ皇軍ニ對シマシテ抵抗ヲ致シテ居リマ
シタ馬占山ハ、遂ニ其根據地黒河ニ歸ルコ
トヲ得ズ致シマシテ、一箇月ノ後、即チ七
月ノ末二十九日ニ安固鎮ノ附近、即チ哈爾
賓ノ東北方——山地デアリマスガ、此地點
ニ於キマシテ終ニ戰死ヲ致シマシテ、茲ニ
其方面ノ巨頭ヲ失ヒマシタ、其他ノ者ハ逐
次歸順ヲ申出デマシテ、今日ノ所ニ於キマ
シテハ、僅ニ其殘黨ガ「ソヴィエツト」露西
亞ト滿洲國ノ國境附近ニ、其餘喘ヲ保テ
居ルダケデアリマシテ、此方面ノ討伐ハ茲
ニ一段落ヲ告ゲタコト、存ジマシテ、洵ニ
御同慶ノ至リデアリマス、之ヲ御報告申上
ゲマス（拍手）尙ホ馬占山ノ戰死ニ付キマシ
テハ、屢々疑ハレタノデアリマスガ、軍ニ於
キマシテハ最後迄其證據ヲ固メマスル爲
ニ、色々調査ヲ致シマシタ結果、其埋葬ヲ
致シテ居リマシタ所ノ地點、竝ニ是等ノ遺
品等モ悉ク手ニ入リマシテ、先般は叡
覽ニ達シタヤウナ次第デアリマシテ、何レ
其中ニハ各位ノ供覧ニ呈スルコトガ出來ヨ
ウト存ジテ居ル次第デアリマス
次ハ南滿方面デアリマスルガ、南滿方面、
即チ鐵道沿線、其附近ニ於キマシテハ大刀
會匪、共產匪、竝ニ天津附近ニ根據ヲ持テ
居リマスル東北政權ノ殘黨、即チ張學良ノ政
權等ノ操縱ニ依リマスル東北抗日救國會、
是等ノ者ガ最近ニ非常ナ活動ヲ致シタノデ
アリマス
多少詳細ニ亘リマスルガ、只今御話モア

リマシタノデ若干申上ゲマスルガ、是ハ七
月ノ六日頃カラ活動ヲ始メマシテ、其總數
約十五万ト稱セラレテ居リマス、是ハ稱セ
ラレテ居リマスルノデ、果シテ十五万人居
ルカ居ナイ可能ク分ラヌノデアリマスガ、
十五万、之ヲ五軍ニ分ケマシテ、其一團ハ
遼西方面、即チ錦州方面ニ行動ヲ致シ、第
二軍ハ遼南方面、即チ營口方面ニ策動ヲ致
シ、第三軍ハ遼東方面、即チ奉天方面ニ策動
ヲ致シ、第四軍、第五軍ハ各、吉林方面竝ニ
通遼ノ方面ニ行動ヲ致シマシテ、七月ノ末カラ
八月ノ中旬乃至八月ノ下旬、今日ニ至ル迄活
動ヲ繼續致シテ居ルノデアリマス、八月下旬遼
東方面ニ策動致シテ居リマスル其一部ガ、
今回奉天附近ヲ騒ガシタノデアリマシテ、
其回數ハ此二箇月間ニ於テ遼東方面、即チ
奉天ノ沿線ニ於テ約二十回、吉林ノ方面ニ
於キマンシテ約十五回、併シ此兵力ノ出テ參
リマスモノハ、新聞ニ報ゼラレル如ク數千
ノ集團ハ致シテ居ラナイノデアリマス、五
百位ヲ最大ト致シマシテ、最小ノモノニ至
テハ三十、四十ト云フヤウナ數ニナッテ、
沿線ヲ荒シテ居リマス、之ニ對シテ北滿方
面ニ全力ヲ注イデ居リマシタ爲ニ、南滿方
面ハ稍手薄デアッタ爲ニ、獨立守備隊ハ
寡兵ヲ以チマシテ、殆ド晝夜ノ分チナク此
討伐ニ從事ヲ致シマシテ、兎モ角モ今日ノ
治安ヲ維持シテ居ダグノデアリマス
今回奉天方面ニ參リマシタモノハ、新聞
ノ報告ガ誇大テアリマスルノデ、此二十八
日即チ先月ノ二十八日ニ參リマシタモノハ、
夜ノ十一時半頃ニ約百二十名ノモノガ、三
方面ヨリ不意ニ奉天ヲ襲フタノデアリマ
シシタ者ハ、支那ノ舊東北政權ノ格納庫デ
アリマスル飛行機庫ヲ襲ヒマシタ
ガ、是ハ守備隊ニ依テ間モナク擊退ヲ致サ
格納致シテ居リマシタ、殆ド廢機同様ニ參リ
レマシタガ、奉天東方ノ兵工廠附近ニ參リ
マシタ者ハ、支那ノ舊東北政權ノ格納庫デ
シテ居ダグサウデアリマスカ、格納ノ飛行機

約十三臺、格納庫ト共ニ燒失致シマシタ
以外ニハ、大ナル損害ハ無イノデアリマ
ス、今朝來ノ奉天ノ襲撃ニ付キマシテハ、
只今電話ヲ以テ直チニ狀況ヲ問合セマシタ
ガ、昨夜約百名バカリノ者ガ奉天ヲ襲撃シ
テ参リマシタケレドモ、擊退致シタニ過ギ
ナイ、何等其他ニ不安ハナイト、只今マデ
ノ情報ニ於テハ入ツテ居リマス
ソレカラ満洲ノ地域ト匪賊ノ關係デアリ
マスガ、御承知ノ如クニ満洲ノ地方ハ、此
事變前ニ於キマシテモ、絶エズ馬賊ノ跳梁
ヲ極メテ居タ地方デアリマシテ、其馬賊
ノ跳梁ノ狀態ハ、彼ノ地方ニ御住居ノ方ハ
萬々御承知ノ如ク、豫想外ニ彼方此方ニ出
没ヲスルノデアリマス、故ニ之ヲ全ク掃滅
ヲ致シマスル爲ニハ、可ナリノ困難ト又多
クノ時間、其他秩序ノ恢復ト相俟タナケレ
バ、容易ニ行ハレスコト、存ジマスルガ、
只今ノ所ハ、討伐ト共ニ各種招撫ノ方法ヲ
執リマシテ、即チ之ヲ招キ之ヲ歸順セシメ
マシテ、此方法ヲ執テ居ルノデアリマス
ガ、茲ニ遺憾ナコトニハ、熱河方面ニ於キマ
スル所ノ舊東北政權ノ兵團デアリマス、即
チ湯玉麟ノ部下デアリマスルガ、是ハ天津
方面ニ於キマスル所ノ張學良ト致シマシテ
ハ、即チ舊東北政權ト致シマシテハ、此處
ヲ根據ト致シマシテ、抗日會ノ義勇軍等ヲ
用ヒテ、滿洲禍亂ノ策動ヲ致シマスル爲ニ、
之ニ依リマシテ只今申上ゲマシタヤウナ
南滿方面ノ抗日會ガ、各方面ニ策動スルト
云フヤウナ狀況ガアリマスルノデ、之ニ對
シマシテハ今日北滿方面ノ狀況ノ鑑定ト共
ニ、ソレ／＼考案ヲ廻ラシマシテ、此方面
ノ處置ヲ執ルコトニ致シテ居リマスルガ、
之ニ依テ遠カラズ此方面モ、何トカ處置ヲ
致シタトイ考ヘテ居リマス、唯此方面ノコ
トニ付キマシテハ、天津方面ノ張學良トノ
關係モアリマスルノデ、國際的ニモ政治的
ニモ、極メテ複雜ナル關係ガアリマスル爲
ニ、是等ヲ考慮致サネバナラヌ狀況ニアリ

マスルノテ、ソレバ、是等ノ方面ニ對スル
策案ヲ、慎重ニ研究ヲ致シマシテ、處置ヲ
執ルコトニ致シテ居リマス
次ハ朝鮮國境方面デアリマスルガ、御承
知ノ如ク間島方面ノ兵匪ハ悉ク鎮定ヲ致シ
テ居リマセヌコトハ、甚ダ遺憾デアリマス
ルガ、此方面モ御承知ノ通リニ、歴史的ニ
モ地理的ニモ、馬賊トハ非常ナ關係ガアリ
マスルノデ、匪賊ハ此方面ニ多クノ根據ヲ
持ツテ居ルヤウナ關係モアリ、其上ニ兵力
ノ不足ノ爲ニ、此方面ニ向テハ十分ノ兵力
ヲ今日マデ割クコトガ出來ナカタノデ
アリマスルガ、最近ニ於テハ朝鮮方面ヨリ、
一部ノ部隊ヲ此方面ニ派遣ヲ致シマスルト
共ニ、是等ノ交通道路ヲ悉ク扼シマシテ、
補給等ヲ保障致シマシテ、此方面ノ鎮定ヲ
期シテ居リマス、近ク此方面モ鎮定シ得ル
コト、考ヘテ居リマス
次ニハ治安維持ノ方法ニ付テ一言此際申
上ゲテ置キタイト思ヒマスガ、色々御心配
ヲ掛ケマシテ、兵力ガ不足デハアルマイ
カ、或ハ長ク滿洲ノ地ニ皇軍ヲ置イテ、色
色ナ内外ノ關係ニ因難ヲ生ジナイカト云フ
ヤウナ、色々ナ心配ガアリマスガ、只今ノ
所デハ一般ノ國防上ノ關係ヲモ慮慮シナケ
レバナラヌ狀況ニアルノデアリマス、先般
本會議竝ニ委員會ニ於テ段々御質問等モア
リマシタガ如クニ、滿洲方面ハ合法的ニ獨
立ヲ致シマス、其以後ニ於キマス所ノ國際
關係ヲ能ク考慮致シマスルト、軍部當局ト
致シマシテハ、一般的ノ國防モ考ヘナケレ
バナラヌコトニナツテ居リマス、此一般的ノ
國防上ノ關係、及只今申シマシタ内外ノ狀
況等ヲモ考慮致シマシテ、只今ノ所デハ出
來得ルナラバ、現在ノ兵力ヲ以テ滿洲方面
ノ治安維持ヲ致シタイト、色々工夫ヲ致シ
テ居リマス、是ガ爲ニ兵力編組ノ上ニ色々
ナ變更ヲ致シマシテ、以テ滿洲ノ現在ノ狀
況ニ適應スルヤウニ、ソレバ、統帥部ニ於
テ研究致シテ居リマスノデ、近ク、殊ニ來

本法ニ據ル貸出利率ハ低金利時代ニ即シ郵便貯金利子改訂以後ニ於テハ相當低下セレムコトヲ望ム

産業組合法中改正法律案ニ對スル修正

附則第二條中「三箇年」ヲ「五箇年」ニ改ム
附帶決議

政府へ預金部資金ヲ以テ貸付タルモノ及
今後借換又ハ新ニ貸付クルモノニ對シテ
ハ改訂郵便貯金利率ヲ基準トシテ利率ヲ
低下セラムコトヲ望ム

此修正及附帶決議、（海場第一五三以降）
決致サレマシタ、斯様ニ言葉ハ穩カデアリ
マスルガ、極メテ強キ精神カ此附帶決議ニ
ハ籠テ居ルト云フコトヲ御承知ヲ願テ置
キマス、此修正及附帶決議ニ對シテハ、政
府委員モ皆同意サレマシタ、産業組合中央
金庫法中改正案、是ハ原案通り可決致シマ
シタ、甚ダ簡単デアリマスルガ、茲ニ謹ン
デ御報告ヲ申上ゲマス（拍手）
○議長（秋田清君）質疑ノ通告ハアリマセ
ヌ、直ニ討論ニ入りマス、通告順ニ依テ
發言ヲ許シマス、野中徹也君

○野中徹也君 私ハ今上程セラレマシタニ
ツノ法律案ノ中ニ於キマシテ、産業組合由
央金庫法、産業組合中央金庫特別融通並損
失補償法案、此二ツニ對シマシテハ、今季
員長ノ御報告ノ通り、満腔ノ贊意ヲ表スル
者デアリマス、併ナガラ他ノ一ツデアリマ
スル、即チ産業組合法中改正法律案ニ對シ
マシテハ、反對ノ意ヲ表サウト考ヘテ居ル
ノデアリマス、初メ私共ガ此産業組合法由
改正法律案ヲ通覽致シマシク所、其中ニ於
キマスル改正要點ニ於キマシテハ、私共ノ
適當ナリト考ヘル數箇所ノ點ヲ見出シタ
デゴザイマス、併ナガラ此改正案ノ骨子トモ
モ言フベキ、只今委員長報告ノ第一條第二
項ノ次ニ左ノ但書ヲ附スト云フ、即チ産業
組合ノ組織變更ノ問題ニ關シマシテハ、海

ニ疑義ヲ持テ居タノデゴザイマス、即チ此但書ヲ加フト云フ事柄ハ、從來ヘ無限責任、有限責任並保證責任ト云フ三ツノ變タ所ノ責任組合ガ存立シタノデアリマスルガ、此三ツノ變リマシタ所ノ組合ノ中ニ於キマシテ、從來有限責任デアリマシタモノリマス、而シテ其二ツノ例外ヲ求メマシテ、他ノ有限責任組合ハ、悉ク無限又へ保證責任組合ニ變更スペントノ提案ナノニアリマス、而シテ其二ツノ例外ト云フノヘ、即チ一ハ市街地信用組合、一ハ即チ消費組合デアリマス、此市街地信用組合及消費組合ヲ例外ト致シマシテ、他ノ組合ハ悉ク前ニ申シマシタ無限責任組合、或へ保證責任組合ニ改ムベシトノコトデゴザイマス、此點ニ付キマシテハ、私共ハ甚ダ疑義ヲ持テ居タノデアリマス、而シテ私共ガ此問題ニ對シテ疑ヲ持テ居ルバカリデハナク、其處ニ出席ヲ致シテ居リマシタ政友會ノ委員諸君ノ大部分ノ方々モ、此根本的組織ノ改正ニハ疑ノ眼ヲ以テ居タノデアリマシタ、現ニ最後ノ政友會ヲ代表シテ演説セラレマシタ星島二郎君モ、此組織變更ノ問題ニ關シテハ甚ダ疑ヲ持テ居ルノデアル、併ナガモシテハ、恐らく特別融通法ト相ラ此提案ノ趣旨ハ、恐らく特別融通法ト相竝ンデ、何等カノ意味ヲ以テ提案セラレタモノニアラウカラ、之ニ同意スルノデアルト、言ヒ譯ヲ付ケテ同意ヲセラレテ居ルノデアリマス、又現ニ此處デ委員長ガ自ラモ御報告ノ通り、此組織變更ニ對シテハ疑ヲ持テ居ルト云フコトヲ御話ニナッテ居リマス、左様ニ致シマシテ此組織變更ノ問題ニ關シマシテハ、私ハ疑ノ眼ヲ以テ政府委員ト幾度ガ此問題ニ關シテ折衝ヲ重ネタノデアリマス、質問應答ヲ重ネタノデアリマス、而シテ其質問應答ノ重ナルニ連レマシテ、益私ヘ此改正案ガ何レヲ要點シテ改正スペキコトニ相成タノデアルカト云フコトニ對シテ疑ヲ強ウ致シタノデアリマス、其結果ト致シマシテ、只今委員長報

告ノ通り、私ハ此第二條第一項ノ但書ヲ加
フト云フ追加ヲ、全部削除スベシトノ修正
意見ヲ提出致シタノデアリマス、併ナガラ贊
成ノ者ハ僅カ二名デゴザイマシテ私共ハ破
レマシタ、修正意見ガ破レルナラバ、其根
本的問題ガ吾々ト見解ヲ異ニ致シテ居リマ
スカラ、私共ハ之ニ反対セザルヲ得ナイノ
デアル、而モ私共ノ反対ガ幸ニ皆様方ノ御
同情ヲ得、本會議ヲ通過致シマシテモ、特
別融通ニハ何等ノ影響ヲ及ボサナイノデア
ル、何故カナレバ私ガ之ニ對スル反対ヲ致
シマスル骨子ハ、改正ニ反対デアリマスル
ガ故ニ、現状ノ組合ハ其儘殘ルノデアル、即
チ現状ノ組合ニ對スル特別融通ハ、依然ト
シテ融通セラル、コトデアリマスカラ、假
令本會議ニ於キマシテ私ノ反対意見ガ通過
致シマシテモ、組合救濟ノ實ハ舉り得ルノ
デゴザイマス、斯様ナ意味ニ於キマシテ私
ハ本案ニ反対ヲ致サウトスル次第デアリマ
ス、ソコデ私共ガ寛ニ不審ニ考ヘマスノ
ハ、委員會ノ席上ニ於キマシテヘ、私共ト
意見ヲ同ウ致シマシタ所ノ政友會ノ委員諸
君ガ、愈々最後ニ決ヲ採ル時ニ當リマシ
テ、本改正案ニ賛成ヲナサタコトガ、私共
ニ言ハセルナラバ議員ノ良心カラ考ヘテ見
テ、寔ニ疑ハザルヲ得ナイノデアリマス(拍
手)或人へ言ヒマス、此本改正案ガ通過スル
ニ至ラタノハ、所謂米穀法中改正法律案ニ於
キマシテ、政友會ガ悉ク此方面ニ全力ヲ注
テスルナラバ、此本案ノ通過ハ即チ政友會
ノ諸君ノ遊戯ニ依テ通過致シタモノニアリ
マシテ、此本案ヲ遊戯ニスルガ如キ、又國民
多數ニ迷惑ヲ感ゼシムルガ如キハ、吾々議
員ノ職責トシテ寔ニ皆様ノ爲ニ遺憾トスル
次第デアリマス、斯様ナ意味合ニ於キマシ
テ、私共ハ之ニ對スル所ノ反対ノ決意ヲ致
シタノデアリマス、而シテ反対ノ理由ト致

シマシテハ、第一ニ政府ハ産業組合ノ發展
ニ關スル事實ノ認識ヲ缺イテ居ルト思ハレ
ルノデアリマス、私共ハ委員會ニ於ケル質
問應答ノ中ニ於キマシテ、產業組合發展ノ
事實ヲ、特ニ政府ノ吳レマシタ資料ニ依テ
問ヒ質シマシタ、即チ明治三十六年以降昭
和六年ニ至ルマデニ於テ、其初メノ中ニ於
テハ、無限責任組合ハ増加ノ形跡ヲ辿ラタ
即チ大正四年ニハ二千八百四十三ト云フ多
數ニ上リマシタガ、昭和六年ニ於キマシテ
ハ一千三十ト云フ、三分ノ一ノ減少ニナッタ
ノデアリマス、而シテ保證責任組合モ、當
初ニ於キマシテハ二百七十七ノ多數ニアリ
マシタガ、昭和六年ニハ二百三十一ト減少
シテ居ル、然ルニ有限責任組合ハ、初メノ
中ニ於キマシテハ僅ニ五百九十デアリマシ
タガ、年々其數ガ増加致シマシテ、昭和六
年ニ於キマシテハ實ニ一万二千九百十ト云
フ、全組合數ノ九一「ペーセント」ニ及ンデ
居ルノデアリマス、此事實ヘ要スルニ無限
責任組合竝ニ保證責任組合ノ缺點ヲ現ハス
ト共ニ、有限責任組合ガ國民ノ輿望ニ一致
シテ居ルコトヲ物語ルモノデハナイカト考
ヘタノデアリマス（拍手）之ヲ以チマシテ政
府委員ニ質問ヲ致シマシタ所ガ、政府委員
ノ曰ク、成程有限責任組合ハ増加致シマシ
タガ、有限責任組合ヲ組織スルノハ非常ニ
簡單デアリマス、簡單デアリマスルガ故ニ
斯様ニ増加シタノデアリマスルガ、若モ有
限責任組合ガ無クナツタ時ニ於テハ、恐ラ
ク保證責任組合ガ増加スルデアラウ、斯ウ
言フノデアリマス、併ナガラ私ハ此政府ノ
答辯ハ甚ダ常識ヲ缺イテ居ルノデハナカラ
ガ親子井デアリ、其一つガ味噌汁ヲ盛ッタ所
ノ井デアルトスル、シテ見ルナラバ、是ガ
レタトスル、其一つガ鰻井デアリ、其一つ
ニ、恐ラク通常ノ人ハ——特別ノ趣味ノア

ル人ハ別デアリマスガ、通常ノ人ハ先ヅ饅
井ヲ食ベルデセウ、而シテ若シ饅井ヲ出サ
ナイト云フ時ニナリマシタナラバ、其時ニ
ハ親子井ヲ食べルデセウ、是ハ即チ私共ノ
通常ノ常識デ、何レヲ取ルベキカト云フコ
トハ容易ニ分ルノデアル、今日ニ於キマシ
テハ有限責任組合、無限責任組合、保證責
任組合ト云フ三ツガアリマスルガ、其中ニ於
キマシテ國民ノ多數ハ喜ンテ有限責任組合
ヲ取テ居ル、是ハ即チ要スルニ前ニ申ンマ
シタ通り、簡単デアルニ非ズシテ、要ハ此組
合ガ國民ノ嗜好ト申シマスルカ、國民ノ要望
ニ適應シテ居ルガ爲デアルト私ハ考ヘル、
此組合制度ト云フモノハ、是ハ國民ノ要求ニ
依テ成立シタモノデハアリマセヌ、其發達
ノ歴史ヲ見マスレバ、初メニ於キマシテハ當
局ガ外國ニ於キマスル所ノ制度ヲ模倣致シ
マシテ、我國ニ持テ參り、之ヲ國民ニ指導
シタモノデアリマス、而シテ明治三十六年
ニ此組合ガ始テ以來、過去三十年ノ歴史ニ
依テ、日本ノ國民ト云フ者ハ有限責任組合
ガ最モ可ナリト信ジテ、之ヲ取テ居ルノデ
アル、現在ニ於テモ、例へバ沖繩縣ニ於キマ
シテハ、今日無限責任組合カラ有限責任組合
セヌカ、是レ即チ日本國民ノ要求スル所ガ
有限責任組合ニシテ、無限デモナケレバ、
保證デモナイト云フ所ノ實際ノ證據デアラ
ウト私ハ考ヘル、斯様ナ意味合ニ於キマシ
テ、此時突如ト致シマシテ、有限責任組合
ヲ止メテ、無限又ハ保證ニスル如キハ、即
チ國民ノ向フ所ノ政府ハ知ラズ、人心ノ趨
クベキ所ヲ見ザル所ノ不明ノ人デアラウト
私ハ考ヘルノデアル

第二ニ政府ハ産業組合ノ運用ニ關シテ
認識ガ不足デアル、私ハ此無限責任組
合、或ハ有限責任組合、何レデモ同ジ
デゴザイマスルガ、今日所謂産業組合
ト云フモノハ割合不振デアリマス、不
振デアリマスカラ、不振ノ根據何レニアリ
テ、此組合制度ト云フモノハ、是ハ國民ノ要求ニ
依テ成立シタモノデハアリマセヌ、其發達
ノ歴史ヲ見マスレバ、初メニ於キマシテハ當
局ガ外國ニ於キマスル所ノ制度ヲ模倣致シ
マシテ、我國ニ持テ參り、之ヲ國民ニ指導
シタモノデアリマス、而シテ明治三十六年
ニ此組合ガ始テ以來、過去三十年ノ歴史ニ
依テ、日本ノ國民ト云フ者ハ有限責任組合
ガ最モ可ナリト信ジテ、之ヲ取テ居ルノデ
アル、現在ニ於テモ、例へバ沖繩縣ニ於キマ
シテハ、今日無限責任組合カラ有限責任組合
セヌカ、是レ即チ日本國民ノ要求スル所ガ
有限責任組合ニシテ、無限デモナケレバ、
保證デモナイト云フ所ノ實際ノ證據デアラ
ウト私ハ考ヘル、斯様ナ意味合ニ於キマシ
テ、此時突如ト致シマシテ、有限責任組合
ヲ止メテ、無限又ハ保證ニスル如キハ、即
チ國民ノ向フ所ノ政府ハ知ラズ、人心ノ趨
クベキ所ヲ見ザル所ノ不明ノ人デアラウト
私ハ考ヘルノデアル

第三ニ政府ハ此有限責任組合ヲ消滅セシ
ムルコトニ依テ、將來ニ於ケル農村ノ負債
ヲ重ネ、又農村ニ於キマスル紛擾ノ種ヲ時
クモノデアリマス、前ニ申シマシタ通り、
ヤト問ヒマシタ所ガ、政府ノ曰ク、産業組
合ノ資金ガ僅少デアル、而モ有限責任組合
ニ於テハ、理事者ガ連帶ニ依テ借金ヲス
ル、ソレデアリマスカラ其迷惑ノ爲ニ自然
脱退者ガ生ジテ、其爲ニ産業組合ガ不振デ
アルト言ハレテ居ル、併ナガラ私ガ見マス
ルノニ、此産業組合ノ不振ハ資本金額ノ多
額デアル、或ハ少ナイト云フノデハナイ、
又理事者ガ迷惑デアルトカ、迷惑デナイ
トカ云フコトデハナカラウト思フ、即チ現
在産業組合ガ不振ノ理由ハ、組織ノ問題ニ
非ズシテ、私ハ人ノ問題デハナカラウカト
考ヘル、若シ夫レ無限責任組合ガ、是ガ最
モ責任ノ重大ナ組合デアツテ、所謂信用程度
ト致シマシタナラバ、最モ大ナルモノデゴ
ザイマセウ、併ナガラ此無限責任組合ノ中
ニ、吾々ハ幾多ノ所謂事業不振ノ組合ヲ見
出シテ居ルノデアル、保證責任組合ノ中ニ
於テモ亦同様デアル、果シテ然リトスルナ
ラバ、今時ニ於キマスル産業組合ノ不振ハ、
資本ノ問題デモナケレバ、信用ノ問題デモ
ナイ、要ハ即チ人ノ問題デアラウ、所謂理
事者ノ頭ノ効キ様ガアルカナイカニ依テ決
シラル、モノデハナカラウカト考ヘル、勿
論政府モ多少此點ニ於キマシテハ御注意
ヲセラレテ居ルヤウデゴザイマス、今度ノ
豫算ニ於キマシテハ、理事者養成ノ爲ニ約
シテハ、今日無限責任組合カラ有限責任組
合ニ段々變リツ、アル事實ガアルデハアリマ
セヌカ、是レ即チ日本國民ノ要求スル所ガ
有限責任組合ニシテ、無限デモナケレバ、
保證デモナイト云フ所ノ實際ノ證據デアラ
ウト私ハ考ヘル、斯様ナ意味合ニ於キマシ
テ、此時突如ト致シマシテ、有限責任組合
ヲ止メテ、無限又ハ保證ニスル如キハ、即
チ國民ノ向フ所ノ政府ハ知ラズ、人心ノ趨
クベキ所ヲ見ザル所ノ不明ノ人デアラウト
私ハ考ヘルノデアル

第三ニ政府ハ此有限責任組合ヲ消滅セシ
ムルコトニ依テ、將來ニ於ケル農村ノ負債
ヲ重ネ、又農村ニ於キマスル紛擾ノ種ヲ時
クモノデアリマス、前ニ申シマシタ通り、
甚ダ政府ノ意ノアル所ヲ疑ハザルヲ得ナイ
第三ニ政府ハ此有限責任組合ヲ消滅セシ
ムルコトニ依テ、將來ニ於ケル農村ノ負
債ガアルノデアリマス、勿論私共ノ此質問
ニ對シマシテハ、政府ハ左ニアラズト主張サ
レシタ、所謂理事ノ連帶保證デナインデア
ルカラ、有產者ガ此處ヨリ脱退スルコトハ
ナイデアラウト言ハレテ居リマス、併ナガ
ラ例ヘバ保證責任組合ハ、解散ノ場合ニ
シテ居ルデハアリマセヌカ、果シテ然リト
スル、ソレノミナラズ、政府ハ農事實行組合
デアリマスルトカ、養蠶實行組合デアリマ
スルコトニ依テ、一方ニ於テハ事柄ヲ集ムベキ
努力ヲ致シ、一方ニ於テハ之ヲ除外スベキ
除外例ヲ設ケタコトハ、即チ是ニ於テ政府

ノ政策ノ矛盾ヲ暴露スルモノデハナカラウ
カト私ハ考ヘルノデアル（拍手）殊ニ市街地
信用組合ト云フモノガヘ特別ニ成績ガ優良
デアルナラバ、是ハ又特別デゴザイマス、
併ナガラ政府ガ自ラ言フ所ニ依リマシテ
モ、市街地信用組合ノ中ニ於キマシテモ、
不良ナル即チ固定貸ノ多イ所ノ組合ガ澤山
アル、果シテ然ラバ、農村ニ於キマシテモ、
固定貸ノ多イ所ノ不良ナル産業組合ガアル
ト共ニ、都市ニモ亦同様デアルトスルナラ
バ、同一ノ状態デハナイカ、都市ニモ亦不良
ナルモノガアリ、町村ニモ亦不良ナルモノ
ガアルトシタナラバ、此産業組合ノ程度ハ
同一デハナイカ、此同一デアルニ拘ラズ、
之ヲ一方例外視シヨウトハ、如何ナル根據
ニ基クモノデアルカ、私ハ甚ダ怪マザルヲ
得ナイノデアリマス

シクナイト考へマス、政府ガ若モ真ニ産業組合ヲ救濟セントスルナラバ、何ガ故ニ率直ニ、無條件ニ救濟ヲシナイカ、昔カラ弱者ヲ憐ムノハ武士道ノ華ト言ハレテ居ル、若シ眞ニ苦ンデ居ル産業組合ヲ助ケル意思ガ政府ニアリトスルナラバ、政府ハ無條件ニ助ケテコソ、本當ニ政府ノ有難味ガ分ルモノデハナカラウカト私ハ考ヘル（拍手）斯様ナ意味合ニ於キマンテ、此法律案ノ提出ハ、要スルニ單ナル債權者保護ニシカ過ギ又、故ニ私ハ以上併セマシタル六ツノ理由ニ依リマシテ、此産業組合法中改正法律案ノ提出ガ、時宜シキヲ得ズ、而モ、政府ノ法律案ノ内容其モノガ矛盾撞著デアル、實情ニ適セナイカ故ニ、本案ノ改正ニ對シテ反対ノ意思ヲ表シタノデゴザイマス（拍手）而モ其反対ノ案ガ、皆サン方ノ御協賛ニ依リマシテ、幸ニ本會議ヲ通過致シタトシマシテモ、現在ノ産業組合ト云フモノハ其儘殘テ居ルノデアリマスカラ、特別融通資金ヲ與ヘルニ何等ノ不備モナケレバ、何等ノ缺クル所ハナインデアリマス、ソレデアリマスカラドウカ皆様方ハ眞ニ農村信用組合ノ状態ヲ考へ、泥棒ノヤウナ所ノ政府ノ提案ニ御賛成ナラヌヤウ、切ニ御願致シマシテ、反対ノ理由ヲ申上ゲタ次第ゴザイマス（拍手）

只今國民同盟ノ野中君ニ依リマシテ、淘ニ該博ナル產業組合ノ御議論ヲ拜聽致シマシタ、野中君ガ此政府案ニ反對セラル、コトハ、ソレハ御勝手次第デアリマス、併シ政友會ノ委員ガ皆反對デアッタ反對デアッタガ遂ニ賛成スルコトニナッタノハ、何カ政治家トシテノ良心ニ恥ヅル所ガナイカト云フヤウナ御言葉デアッタ、殊ニ米穀法ニ集中シテ居タカラ、遂ニ此產業組合中央金庫法ノ問題ガ抜ケテシマッテ、何ダカ遊戯ノヤウニ扱タト云フ御話デアル、是ハ少シ慎ンデ戴キタイ、甚ダ失禮デアリマスガ、政友會ハ三百名アリマスカラ、七ツヤ八ツノ委員會会ニ手ガ抜ケテ出來ナイト云フヤウナ、ソレヲンナヘマナコトハ致シマセヌ、ソレハ、擔任致シテ居リマスカラ、其委員會ハ委員會デチヤント始末ヲ附ケテ居リマス、サウ云フ詭辯ヲ弄スルヤウナコトハ、寧ロアナタノ方ガ政治上ノ良心ニ恥ヅル所ガアリハシナイカト思フ、質問中ニ於テ、質問スルコトガ、是ガ悉ク反對デアッタカラ、ソレヲノ方ガ政事ニ依テ政治的ノ良心方麻痺シタト、サウ云フコトヲ此議場デ堂々言ハレルト云フコトハ、此議會政治ヲ革正スル上ニ於テ、甚ダ慎マナケレバナラヌコト、私ハ贊成シタニハ明治三十四年ノ組合法發布當時カラ關係シテ居リマスカラ、又暇ガアッタラ野中君ト御相談致シマスカラ來テ下サイ、諸君、政府ハ此國家非常時ノ匡救策トシテ、低金利政策ノ徹底ヲ期スルト云フコトハ沟ニ結構デアリマスガ、ソレガ爲ニ郵便貯金ノ利率ノ非常引下ヲ行フコトニ相成リマシテ、十月一日カラ之ヲ実施スルト云フコトデアリマス、現在ノ郵便貯金ノ利率ハ、申スマデモナク年四分二厘デアリマスガ、此四分二厘ノ郵便貯金ノ利率ハ、急轉直下一分二厘ノ大引下ヲ行フコトニ相成シタノデアリマス、殊ニ現在ノ四分二厘ノ利率ハ、從前長ク四分八厘デ置カレマシタモノガ、曩ニ濱口内閣ノ當時、義

務教育費國庫負擔金ヲ一千万圓増額ニ相成
リマシタル時ニ、其財源ニ充當セラレテ、
四分八厘カラ六厘ヲ減ジテ、今日ノ四分二
厘ト云フコトニ相成ツノデアリマス、當時
世間デハ斯様ニ申シマシタ、政府ハ右ノ手
ニ一千万圓ノ國庫負擔金ノ増額ヲ興ヘテ、
左ノ手デ所謂庶民階級ノ手ヨリ郵便貯金ノ
利息ニ於テ六分ヲ奪ヒ取ヲタト稱ヘタノデ
アリマス、即チ今日ノ四分二厘ハ當時此欺
瞞政治ノ現レデアタコトハ、國民ノ今尙ホ
新シイ記憶ニアルコト、思フノデアリマ
ス、斯ノ如クシテ四分二厘ニ低下致シマシ
タル郵便貯金ノ利率ハ、今回非常時匡救ノ
名ノ下ニ、庶民階級ノ極メテ零碎ナル貯金
ノ利息カラ、三割減額ヲ斷行スルト云フコ
トハ、是ハ甚ダ亂暴ナル處置デハナイカト
私共ハ考ヘラレル、去ル二十六日ニ貴族院
ニ於キマシテ、柳澤伯爵ガ暴舉デアルト云
フコトヲ言ハレマシタガ、之ニ對シテ政府
ハ何等ノ返ス言葉モナカツヤウデアリマ
ス、現在郵便貯金ハ三十億ニ垂ト致シマ
シテ、此一分二厘ノ利下ト云フモノハ、凡
ソ三千六百万圓ニ相成リマス、此利下問題
ニ付テノ數字的ノコトハ、最早此處デ彼此
レ贅言ヲ繰返ス必要ハアリマセヌガ、眞ニ
郵便貯金ハ農商工業其他中小産業者、俸給
生活者及労働者、所謂庶民階級ノ粒々辛苦
ニ屬スル所ノ、即チ零碎ナル貯蓄の預金ノ
結晶デアリマスカラ、國民ニ勤儉貯蓄ヲ獎
勵スル意味ニ於テモ、特ニ一般金融的ノ預
金ト金利ヲ同一ニ見ルコトハ出來ナイモノ
デアルト思フノデアリマス、殊ニ最近我財
界ノ危機ニ直面致シマシテ、銀行ノ信用ガ
極度ニ低下致シマスト同時ニ、漸次加速度
ヲ以テ郵便貯金ガ激増ヲ致シテ來マシタコ
トハ事實デアリマシテ、隨テ之ニ反比例ヲ
シテ銀行ノ預金ガ段々減ジテ行ク、是ガ爲
ニ金融資本家ガ苦痛ヲ訴ヘテ居ルコトハ尤
ナ次第デハアリマスルガ、併シ金融資本家
ヲ擁護スル爲ニ、此零碎ナル國民ノ貯金カ

ラ、餘リニ亂暴ニモ大キナ利下ヲ行フト云
フコトハ、考ヘナケレバナラヌコト、思フ
ノデアリマスルガ、併ナガラ今日ハ眞ニ國
家非常時デアリマスルカラ、多數ノ國民ガ
此重大ナル犠牲ニ甘ンジテ、苦痛ヲ忍ンデ
行キマスル以上ハ、政府ハ其預金部ノ資金
運用上ニ付テ最モ忠實ニ、大ニ意ヲ用ヒテ、
其利下斷行シタ所ノ意義ヲ全ウシナケレバ
ナラヌト信ズル者デアリマス(拍手)「」政
府ガ低金利政策ニ徹底スルト云フコトデア
ルナラバ、先づ請フ魄ヨリ始メヨ、政府ガ
此預金部ノ低利資金ヲ運用スル所ノ資金ノ
融通ニ大ナル利下ヲ致シテ掛ルト云フコ
トガ、最モ必要デハナカラウカト思フ、然
ルニ只今上程ニナッテ居リマスル此中
央金庫特融ノ利率ヲ聽イテ見マスルト
云フト年五分六厘、年三分ノ郵便貯金ヲ利
用致シマスル所ノ特融ガ、年五分六厘デア
ル、之ニ對シテ勸業銀行ガ五厘或ハ又農工
銀行ガ五厘ト云フヤウナ手數料ヲ取リマス
レバ、相當ニ高率ニ相成ルノデアリマス
ガ、此點ニ對シマシテハ吾々ハ委員會ニ於
キマシテモ十分政府ニ意ノ在ル所ヲ質シマ
シテ、附帶決議ヲ致シタ次第デアリマス、
殊ニ齊藤首相ガ貴族院ニ於テ述ベラレマシ
タル事柄ヲ見マシテモ、其利下ヲ爲シタル
コトハ、自ラ貸付ケテ行ク所ノ利率ヲ引下
ゲテ、而シテ低金利政策ニ徹底スルト云フ
意味デアリマスル以上ハ、今日將ニ定メラ
レントスル此特融一億圓ニ對スル所ノ利率
ノ今一段ノ低下ヲ圖ルト云フコトガ、最モ
必要デアルト考ヘマシテ、私ハ此附帶決議
ニ強イ意味ヲ含マシテ、政府ニ考慮ヲ望ム
次第デアリマス、更ニ今一つ産業組合法中
改正法律案ニ付キマシテ、只今野中君ニ依
リマシテ有限責任ヲ保證責任ニ變更スルト
云フコトニ對シテハ、大ナル反対ノ御議論
ガアタノデアリマス、御議論ノ一部分ニ付
テハ、私共ハ必シモ反対スルモノデハナイ
ガ、我國ノ産業組合ハ、御承知ノ通り明治

三十四年カラ起テ、當時政府ハ主トシテ
無限責任ト保證責任ヲ獎勵致シタノデア
ル、段々組合ガ進ンデ參リマシタ結果、一
時無限責任ガ非常ナ數ニ發達ヲ致シマシタ
ガ、是ハ又組合員ヲ勸誘シ、加入ヲ容易ニ
スル上ニ於テハ有限責任ノ方ガ便宜デアル
爲ニ、爾來有限責任ガ殖テ來テ、又漸次無
限責任ガ有限責任ニ組織ヲ變更スルモノガ
殖テ來テ、現在ハ有限責任ガ一万三千、無
限責任ガ一千三十、保證責任ガ二百三十幾
ツト云フ、斯ウ云フ數ニナッテ居リマス、併
シ組合ノ信用ヲ保持スル上ニ於キマシテ
ハ、有限責任ヨリモ保證責任ノ宜イコトハ
申スマデモナク、最近聯合會等ノ設立ヲ見
マスルモノハ、殆ド保證責任ト相成テ居
リマスルシ、又一般産業組合會ノ議論ガ、
今後保證責任デナクテハイケナイト云フ意
見ガ、漸次進ンデ出來テ居ルヤウニ考ヘマ
ス、併ナガラ、是ハ斯ウ云フ重大ナ變革デ
アル、即チ今度ノ産業組合法中改正案ノ
骨子ヲ成シテ居ル、此組織ニ變更ト云フ
コトハ、是迄産業組合法ノ改正ガ屢々行ハ
リマシタガ、其中デ最モ重大ナル變革デア
リマスガ、其有限責任組織ヲ全廢致シテ、
之ヲ保證責任ニ變ヘテシマフト云フコト
ハ、頗ル難事デアリマス、ソレヲ三年間ニ
行テシマフト云フコトハ、甚ダ私ハ組合
ニ對シテ不親切デアルト考ヘマス、ヤルコ
トハ必要デアルガ、假スニ相當ノ時日ヲ以
テシテ、而シテ漸次保證責任ニ更改スルコ
トガ大切デアルト考ヘマンテ、此修正案ニ
賛成ヲスル次第デアリマス(拍手)、有限責
任ヲ保證責任ニ變ヘテモ、今後低利資金其
他取引ノ關係ニ付テハ、必ズ個人保證ヲ取
リ、或ハ理事ノ個人保證ニ依ラナケレバイ
ケナイト云フコトヲ述ベラレタノデアリマ
スルガ、當局ノ説明ヲ聽キマスレバ、從來
低利資金其ノ資金ノ運用等ニ付テ、何時
モ先キニ立ツ理事者ノ個人保證ヲ取ル爲

ニ、段々有力ナ人ガ尻込ンデ、後ニ残タ
者ハ資格ニ乏シイモノガ多ク、隨テ組合ノ
居リマス、而モ今後三年間ニ、即チ修正ニ
依テハ五年間ニ有限責任ガ保證責任ニ相成
ルト云フコトニ決定致シマスレバ、今後低
利資金其他ノ資金融通ノ場合ニ於テ、一々
個人保證ヲ取ラセナイデ、組合ニ利用サス
ト云フコトヲ當局ハ言明致シテ居リマスカ
ラ、其意味ニ於キマシテモ、今日非常時匡
救ノ必要上、更ニ此特融ノ融通ヲサレル場
合ニ當リマシテハ、洵ニ已ムヲ得ナイ次第
ト考ヘテ之ニ贊成シタ次第デアリマス(拍
手)、尙ホモウツ附加ヘテ置キタイノハ、中
央金庫法ノ中ニ相當ノ改正ヲ希望シテ居ル
ノデアリマスガ、ソレハ何デアルカト云ヘ
バ、從來中央金庫ニハ餘裕金ガ一時的ニ非
常ニダブル時ガアルノデアリマスガ、其餘
裕金ヲ利用スル上ニ於テ甚ダ遺憾ノ點ガ少
クナインデアリマス、將來其運用上ニ付テ
ハ、相當ニ政府ニ於テモ考慮ヲ拂ハレマシ
テ、或ハ支部ノ增設、若ハ手形交換所ニ加
入スルコトノ出來ルヤウニ、更ニ又一時的
「コール」ノ開始ノ出來ルヤウニ、法制上ノ
改正ヲ希望スルノデアリマス、是モ特ニ記
錄ニ留メテ政府ニ要求シテ置ク次第デアリ
マス

○西脇晉君（西脇晉君登壇）

○西脇晉君 私ハ只今議題ニ相成テ居リ
マス三案ニ付キマシテ、委員長ノ報告通り
ノ報告ノ通り贊成ヲスルモノデアリマス
親切ニ取扱フヤウニ、當局ヨリ特ニ注意セ
ラレンコトヲ希望スルモノデアリマス
以上大體ノコトヲ申上げマシテ、委員長
ノ報告ノ通り贊成ヲスルモノデアリマス
最モ簡単ニ、最モ迅速ニ、サウシテ、最モ
親切ニ取扱フヤウニ、當局ヨリ特ニ注意セ
ラレンコトヲ希望スルモノデアリマス
願テ、今度ノ特融ノ貸付等ニ對シマシテ、
貸シテ吳レタ、ソレデ近頃勸業銀行ノコトヲ
官僚銀行ト言フテ居ル者ガアル、特殊銀行ノ
監督官廳デアル大藏當局ハ能ク御注意ヲ
農工銀行ハ能ク事情ヲ知テ居ルカラ立所ニ
テ調査ヲシナケレバナラヌ、其結果遂ニ拒
絶ヲ致シテ來タ、更ニ農工銀行ニ申込スバ、
不振ト云フコトニナル、之ヲ當局ハ憂ヘテ
居リマス、而モ今後三年間ニ、即チ修正ニ
依テハ五年間ニ有限責任ガ保證責任ニ相成
ルト云フコトニ決定致シマスレバ、今後低
利資金其他ノ資金融通ノ場合ニ於テ、一々
個人保證ヲ取ラセナイデ、組合ニ利用サス
ト云フコトヲ當局ハ言明致シテ居リマスカ
ラ、其意味ニ於キマシテモ、今日非常時匡
救ノ必要上、更ニ此特融ノ融通ヲサレル場
合ニ當リマシテハ、洵ニ已ムヲ得ナイ次第
ト考ヘテ之ニ贊成シタ次第デアリマス(拍
手)

ニ申シマスト、最近或ル耕地整理組合ガ借
入ヲ申込ンダ、ソコデ勸業銀行員ヲ何名カ
出シテ五日間調べタ、實地ノコトモ何モ分
ラナイ人ガ五日間モ掛テ居ルノグカラ、
向フノ組合デ相當經費ヲ拂テ、ソレニ付
テ調査ヲシナケレバナラヌ、其結果遂ニ拒
絶ヲ致シテ來タ、更ニ農工銀行ニ申込スバ、
不振ト云フコトニナル、之ヲ當局ハ憂ヘテ
居リマス、而モ今後三年間ニ、即チ修正ニ
依テハ五年間ニ有限責任ガ保證責任ニ相成
ルト云フコトニ決定致シマスレバ、今後低
利資金其他ノ資金融通ノ場合ニ於テ、一々
個人保證ヲ取ラセナイデ、組合ニ利用サス
ト云フコトヲ當局ハ言明致シテ居リマスカ
ラ、其意味ニ於キマシテモ、今日非常時匡
救ノ必要上、更ニ此特融ノ融通ヲサレル場
合ニ當リマシテハ、洵ニ已ムヲ得ナイ次第
ト考ヘテ之ニ贊成シタ次第デアリマス(拍
手)、尙ホモウツ附加ヘテ置キタイノハ、中
央金庫法ノ中ニ相當ノ改正ヲ希望シテ居ル
ノデアリマスガ、ソレハ何デアルカト云ヘ
バ、從來中央金庫ニハ餘裕金ガ一時的ニ非
常ニダブル時ガアルノデアリマスガ、其餘
裕金ヲ利用スル上ニ於テ甚ダ遺憾ノ點ガ少
クナインデアリマス、將來其運用上ニ付テ
ハ、相當ニ政府ニ於テモ考慮ヲ拂ハレマシ
テ、或ハ支部ノ増設、若ハ手形交換所ニ加
入スルコトノ出來ルヤウニ、更ニ又一時的
「コール」ノ開始ノ出來ルヤウニ、法制上ノ
改正ヲ希望スルノデアリマス、是モ特ニ記
錄ニ留メテ政府ニ要求シテ置ク次第デアリ
マス

ノデアリマス、只今議題ニ相成テ居リマス三案ハ、其中デ中央金庫ノ特融ト、損失補償、此問題ハ資金ヲ疏通スルト云フ問題ニ付テ解決ノツデアルト考ヘマス、ソレ故ニ私モ此三案ニ賛成スルノデアリマスガ、殊ニ政府ニ御注意ラシ、希望ヲ申上げタインハ、此間ノ委員會ノ説明ニ依リマスルト、特融ノ利息ハ五分六厘デアル、甚ダ高イノデアリマス、殊ニ最近日本銀行ハ貸付日歩ヲ下ゲテ居ル、日本銀行創設以來ノ初メテノ低金利デアリマス、郵便貯金ハ十月一日カラ三分ニ下ゲル、斯様ナ日本ノ大勢ニ金融界ハ益、低金利ニ進ミツ、アル、世際ニ五分六厘ト云フヤウナ高利息ヲ以テ、特融ノ利息ヲ定ムルコトニ内定シテ居ルト云フノナラバ、其特融ノ目的ノ殆ド半分位ハ失テ居リハシナイカト思フノデアリマス、ソレ故ニ愈、此法案ガ通テ實行セラレル場合ニ於テハ、附帶決議ニアリマス如ク、利息ヲ非常ニ安クシテ時局匡救ノ目的、殊ニ金融ノ疏通ヲ圖ルト云フ大ナル目的ニ適フヤウニ、金利ヲ下ゲルコトヲ考究シナケレバ斷ジテナラナイト思ヒマスガ、是亦丹下君ガ詳細ニ野中君ノ説ヲ反駁セラレマシタカラ申上ガマセヌガ、唯一言申上ゲタイ、野中サンハノ死ンダ統計ヲ以テ現在保證責任ノ組合ガドレダケアル、有限責任ノ組合ガドレダケアルト仰シヤイマスガ、ソレヨリカ最近ニ於キマシテ、産業組合ノ中央會、道府縣ニ於ケル所ノ聯合會ノ幾多ノ議決、是等ノ議決ガ政府ニ向ニテ、日本ノ産業組合ハ之ヲ變ヘテ、保證責任及無限責任ニシテ吳レト云フ熱烈ナル所ノ要望ガ、農林省ニハ山程モ澤山ニ陳情書ガ出テ居ル、此事實ヲ知ラレヌト云フコトハ、最モ認識不足ノ甚ダシイモノデアル(拍手)之ヲ以テ見マシテモ日本ノ産業界ノ空氣ハ之ヲ保證責任……

リマス（拍手）ソレデアリマスカラ私ハ、政
府ノ原案ニ大賛成ヲスルノデアリマス、其
他申上ゲルコトハアリマセヌ、即チ委員長
ノ報告通りニ、只今議題ニナシテ居リマス
ル原案ニ賛成致ス次第デアリマス（拍手）
○議長（秋田清君）是ニテ討論ハ終局致シ
マシタ、採決ノ便宜上、先づ産業組合法中
改正法律案ノ、第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御
諮り致シマス、本案ノ委員長報告ハ修正デ
アリマス、本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議

○議長(秋田清君) 別ニ御發議モアリマセヌ、第二讀會議決ノ通り可決確定致シマシタ(拍手)

○議長(秋田清君) 次ニ産業組合中央金庫特別融通及損失補償法案、産業組合中央金庫法中改正法律案、此兩案ヲ一括シテ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御詰り致シマス、兩案ノ委員長報告ハ何レモ可決デアリマス、兩案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

第八 昭和七年法律第六號中改正法律
案（昭和七年度一般會計歳出ノ財源
ニ充ツル爲公債發行ニ關スル件）（政
府提出） 第一讀會ノ續（委員長報告）
報告書

一不動產融資及損失補償法案（政府提出）
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也

昭和七年八月三十日

衆議院議長 秋田清殿 委員長 金光 廉夫

○議長(秋田清君) 御異議ナシト呼フ者アリ
ス、本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ
○上田孝吉君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開
カレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 上田君ノ動議ニ御異議
アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマ
ス、直チニ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

産業組合法中改正法律案 第二讀會

○議長(秋田清君) 採決ヲ致シマス、本案ノ委員長報告ノ修正ノ點ニ、賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔賛成者起立〕

○議長(秋田清君) 起立多數、委員長報告ノ修正ノ點ハ可決サレマシタ、其ノ他ノ部分ハ原案ノ通り御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、其他ノ部分ハ總テ原案ノ通り決シマシタ、是ニテ本案ノ第二讀會ハ終了致シマシタ

○上田孝吉君 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開
カレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 上田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、直チニ本案ノ第三讀會ヲ開キ、議案全

○議長(秋田清君)　御異議ナシト認メマス、兩案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ
○上田孝吉君　直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り、可決セラレントヲ望ミマス
○議長(秋田清君)　上田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君)　御異議ナシト認メマス、直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、議案ノ全部ヲ議題ト致シマス

産業組合中央金庫特別融通及損失補償法案
産業組合中央金庫法中改正法律案

○議長(秋田清君)　別ニ御異議モアリマセ、第三讀會ヲ省略シテ兩案共委員長報告ノ通り、可決確定致シマシタ(拍手)日程第七第八ハ同一委員ニ付託シタル議案ナルニ依リ、一括議題トナスニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君)　御異議ナシト認メマス、即チ日程第七、不動産融資及損失補償法案、日程第八、昭和七年法律第六號中改正法律案、右二案ヲ一括シテ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス
委員長金光庸夫君

第七　不動産融資及損失補償法案(政
府提出)　第一讀會ノ續(委員長アリ)

希望條項
一昭和七年度融資豫定額一億圓ハ必要ニ
應シ之ヲ増額スルコト
一銀行債務者ヨリ融資ノ申出アリタルト
キハ銀行カ之ヲ拒否スルコトナキ様政
府ニ於テ十分ノ監督ヲ爲スコト
一銀行カ融通ヲ受クル場合ハ債務者ニ對
シ利率ヲ相當低減セシムルコト
レ 報告書
一昭和七年法律第六號中改正法律案
(昭和七年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツ
ル爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也
昭和七年八月三十一日
衆議院議長 秋川清殿
(金光庸夫君登壇)
○金光庸夫君 私ハ只今上程サレマシタニ
案ノ中、先づ不動產融資及損失補償法案ノ
委員會ニ於ケル審議ノ顧末ヲ御報告致シマ
ス、委員會ハ八月二十七日ニ開カレマシテ、
政府委員カラ提案理由ノ説明ガアリマシ
タ後ニ、審議ニ入ラクノデアリマス、此法案
ノ立法ノ要旨ハ、第一現在全國ニ於ケル普
通銀行及貯蓄銀行ノ所有不動產並不動產抵
當貸付債權十六億餘万圓ヲ目標トシマシ
テ、之ニ對シ五億圓ヲ流动セシムル目的ヲ
以テ、日本勸業銀行ト農工銀行及北海道拓
殖銀行ヲシテ融資ヲ爲サシメマシテ、之ニ
依テ金融ノ疏通ヲ圖ラントスルモノデアリ
マス、第二其目的ヲ達スル爲メ貸付金額ハ

評價額ノ全額ヲ貸出スコト、シ、其他融資銀行ノ制限諸規定ヲ緩和擴張致シマシテ、常軌ニ依ラザル活動ヲ爲サシメルコト、第三融資銀行ノ損失ニ對シテ一億圓ヲ限り政府ニ於テ之ヲ補償スルコト等ノ諸點デアリマス
委員會ニ於キマシテハ委員諸君ト政府委員トノ間ニ、種々有益ナル質問應答ヲ重ネラレタノデアリマスガ、其主要ナル點ヲ擧ゲテ見マスレバ、先づ融資ノ請求ヲ爲スニハ、銀行ニ限テ、信託會社ヲ認メナイト云フ理由ハ、ドウ云フ譯デアルカ、之ニ對シテ政府ノ答辯ハ、信託會社ハ不動産ノ金融ヲ本來ト使命トシテ居ルモノデアッテ、銀行ト全然其性質ヲ異ニスルト云フノデアリマシタ、其次ニハ融資總額ヲ五億圓ト豫定シタノハ、不動産金融ノ現狀ニ鑑ミマシテ、少キニ失セズヤト云フ間ニ對シテ、政府ノ答辯ハ、全國ニ於ケル普通銀行及財務銀行ノ資金ノ、不動產ニ固定シテ居ル實狀ヨリ深觀シマシテ、五億圓デ十分デアル、是デ十分金融ノ疏通ヲ圖リ得ル見込デアルト云フノデアリマシタ、次ニハ政府ノ損失補償額ヲ一億圓ト定メタノハ、甚シ過少デハナイカ、到底是デハ融資銀行ノ十分ナル活動ヲ期待シ難イカラ、政府ハ之ヲ增額スル意思ハナイカ、五億圓ニ對シテ一億圓、即チ二割程度デアルガ、之ヲ三割程度若クヘ三分ノ一定程度マデ増額スル意思ハナイカト云フ質問ニ對シマシテハ、政府ニ於テハ此損失補償額ハ不動產銀行ニ於ケル長キ間ノ實績カラ勘案シテ見積、タモノデアッテ、融資總額ノ二割ヲ以テ十分且ツ妥當デアルト信ズル、斯ウ云フ答デアリマシタ、其次ニハ融資ノ貸附利率ヲ年六分二厘ト豫定シタノハ、高キニ失スル嫌ヒガアル、政府ハ低金利政策ヲ採ラントスル上カラモ、之ヲ減スル意思ハナイカト云フ間ニ對シマシテハ、此融資ニ充ツベキ資金ハ融資銀行ノ發行スル債券ヲ、預金部デ引受ケルコトニナックテ居ルノデアリマスガ、預金部デ其資金計畫ノ上ニ於テ此債券ノ引受利率ハ公債ノ利廻タル五分六厘以下トスルコトハ出來ナイ、即チ此五分六厘ニ融資銀行ノ手數料六厘ヲ加算シテ年六分二厘ト決定シタノデア

率ヨリ見ルモ、此程度ニ於ケル全國ノ不動産貸附ノ
ルト思惟セラレルト云フ答辯デアリマシ
タ、次ニ五億圓ノ融資ノ内、本年度ニ融資
スル金額ハ一億圓デアルト云フコトデアル
ガ、是ハ見方ニ依テハ本年度ニ於テ五億圓
全額デモ融資シナケレバナラヌ性質ノモノ
デハナイカ、ソレガ一億圓ニ止マルト云フ
コトハ少イデハニカト云フ問ニ對シテハ、
政府ハ預金部ノ資金ノ融通計畫モアリマ
スコトデ、増額ハ甚ダ困難デアルト云フ答
辯デアリマシタ、次ニ此法案ニ依レバ銀行
ノミカラ融資ノ申出ヲスルノデアッテ、債
務者カラ直接融資銀行ニ融資ノ申出ヲス
ルコトガ出来ナイ事ニナテ居ルガ、若
シ債務者カラ債權銀行ニ融資ノ申出ヲシテ
モ、銀行ガ承諾シナケレバ結局目的ヲ達ス
ルコトガ出来ヌカラ、此金ガ債務者ノ下ノ
方マデ滲透スルコトガ出来ナイヂヤナイカ、
斯ウ云フ問ニ對シテ、政府ハ銀行ガ融資ヲ
申込ム場合ハ、債務者ノ承諾ヲ要スルノデ
アルカラ、債務者ノ申出ニ付テハ債權銀行
ヲ經由スルノハ當然デアル、ト云フ答辯デゴ
ザイマシタ、其次ハ銀行ガ融通ヲ受ケマシタ
場合ニハ六分二厘デ、銀行ガ融通ヲ受ケテ
モ、債務者ノ方ニハ金利ヲ下ゲテヤラナイ
事ニナツテ居ルノデアリマス、尤モ債務者ガ
直接肩代リシタ場合ニハ、債務者ハヤハ
リ十五年以内六分二厘デ借リルコトが出来
マスケレドモ、債權銀行ガ勸銀ナリ農工銀行
ナリカラ借リタ場合ニハ、銀行ハ六分二厘
デ融通ヲ受ケマスケレドモ、債務者ノ方ニ
ハヤハリ從來通り一割内外モノ高イ利子ヲ、
其儘低減サレナイノデアリマスカラ、是
ハ六分二厘デ借リタナラバ、其儘ニ債務者
ノ方ニ六分二厘ニ下ゲテヤルト云フコトニ
スペキデハナイカト云フ質問モアリマシタ
モゴザイマシタ、之ニ對シテハ政府ハ相當
ノ考慮ヲ拂フヤウナ答辯デゴザイマシタ、左
様ナ譯デゴザイマシテ、質問終了後、昨日討
論ニ入り、採決ニ移リマシタ結果、全會一致

ヲ以テ此法案ハ可決致シマシタ
次ニ政友會ノ青木委員カラ次ノ希望條項ヲ
決議スベシトノ提議カラリマシタ、其條項ハ
第一、昭和七年度融資豫定額一億圓ハ、
必要ニ應シ之ヲ増額スルコト
第二、銀行ノ債務者ヨリ融資ノ申出アリ
タルトキハ、銀行ハ之ヲ拒否スルコトナキ
ヤウ政府ニ於テ十分ノ監督ヲナスコト
第三、銀行ガ融資ヲ受クル場合ハ、債務
者ニ對シ利率ヲ相當低減セシムルコト
ト云フ三項デアリマス、之ニ對シテ政府
委員ハ出來ルダケ御希望ニ副フヤウ努力致
シマスト云フ意見ノ陳述ガアリマシテ、採
決ノ結果此希望條項ハ全會一致、可決致シ
マシタ次第デアリマス
次ニ昭和七年法律第六號中改正法律案ノ
委員會ニ於ケル審議ノ頃末ヲ御報告致シマ
ス、本案ハ昭和七年度一般會計歳出ノ財源
ニ充ツル爲メ、所謂赤字公債發行ニ關スル法
律ノ改正案デアリマシテ、前回ノ議會ニ於キ
マシテ、一億八千六十萬圓ヲ限度トシテ、公
債ヲ發行シ得ル法律ノ成立ヲ見タノデアリ
マスガ、今回ノ時局匡救ニ關スル經費總額
一億六千三百四十萬餘圓ノ内、歳出ニ伴フ
普通歲入ヲ以テ支辨スルモノ、及既定ノ法
律ニ依テ道路公債ヲ發行スルモノ、合計百
四十餘万圓ヲ差引キマシテ、其他ノ一億六
千百九十七万餘圓ハ、歲入補填公債ノ發行
ノ爲ニ、發行限度ノ改正増額ヲ必要トスル
モノデアリマシテ、政府ト委員ノ間ニ質問
應答ヲ重不タル後、討論ニ入りマシテ、滿
場一致原案通り可決セラレタル次第デアリ
マス、此段御報告申上ゲマス（拍手）
○議長（秋田清君）質疑ノ通告ハアリマセ
ヌ、直チニ討論ニ入りマス、通告順ニ依リ
發言ヲ許シマス——小笠原三九郎君
（小笠原三九郎君登壇）

リマス、極く簡単ニ理由ヲ申述ベマス
本法案ハ不動産融資及損失補償法トナ
テ居テ、廣ク一般的ニ不動産ニ融資スルカ
ノ如ク見エルノデアリマスルガ、其實限ラ
レタル、所謂普通銀行及貯蓄銀行デ、既ニ
貸出ヲ爲シテ居ル所ノ不動産ニ對シテノ
ミ、融資ヲセラレルト云フ譯合デ、或ハ是
ハ普通銀行ノ現状、特ニ本年三月名古屋地
方ヲ中心トシテ起レル金融恐慌等ニ刺戟セ
ラレタル結果、出來タ法案カト考ヘルノデ
アリマスルガ、私共ト致シマシテハ、今日
不動産資金化ノ聲ガ、單ニ是等既ニ貸出サ
レタルモノニ限ラズ、一般不動産ニ對シテ
澎湃トシテ輿論ノ聲ガ、不動産ノ資金化ヲ
叫ンデ居ル際デアルカラ、モット徹底的ナ
ル不動産資金法案ヲ、要望シタノデアリマ
スルガ、本案モ亦政府ノ他ノ提出諸案ノ如
クニ、甚ダ不徹底ナルヲ免レナカツタノハ、
私共ノ沟ニ遺憾トスル所デアリマス(拍手)
併ナガラ私共ト致シマシテハ、本案モ是レ
ナキニ優ルノミナラズ、全國六百三十ノ普
通銀行、八十八ノ貯蓄銀行ニ取りマシテ
ハ、相當福音デアラウト信ジラル、理由ガ
アリ、且ツ目下休業中ノ銀行ニシテ開店ヲ
要望シテ居ルモノニ取テハ、非常ニ有益デ
アラウト考ヘマスルノデ、私共ハ一日モ早
ク本融資法案ガ成立ラシテ、其活用ヲ見テ、
現下時局匡救ノ一端ニナランコトヲ熱望ス
ル趣旨ヨリ、本案ニ賛成ヲ致シテ居ル者デ
アリマス(拍手)

希望條項ノ第一ハ、昭和七年度融資金額
一億圓トアルノヲ、更ニ必要ニ應ジテ増額
セラレタイト云フコトデアルノデアリマ
ス、高橋大蔵大臣ノ説明ニ依ルト、此融資總
額定金額ハ五億圓デアッテ、内本年度ニ一億
圓、明年度、明後年度ニ二億圓ヅ、ト云フ
コトデアルノデアリマスルガ、現下ノ時局
ヨリ見レバ、寧ロ本年度ニ於テ得ルダケ多
額ノ、一億以上二億デモ三億デモ、出來得

ラダケ多額ノ貸出ヲ、必要トスル事情ニ迫
レテ居ルコトヲ痛感シマスルノデ、私共
ハ政府ニ於テハ、預金部ノ資金ヲ適當ニ按
排ヲセラレテ、本年度ニ於テ出来得ルダケ
多額ノ貸出ヲ爲サレンコトヲ、希望スルモ
ノデアリマス

第二ニハ、銀行債務者ヨリ融資ノ請求ガ
アツタ場合ニ、之ヲ拒否シナイヤウニト云
フ希望デアリマス、一體債権債務ト云フモ
ノハ、債権者債務者ノ兩方ノ當事者ノ間ニ
出來テ居ル契約デアルニ拘ラズ、債権者
其契約ノ一方ノ當事者ニシテ、重大ナル責
任アルコトヲ忘レ、動モスレバ債権者ノ利
益一方ノミニ依テ、物事ヲ處理セントスル
傾向ガアルノデアリマス、故ニ債務者ガ此
申出ヲ爲シタ場合ニハ之ヲ拒否セズ、此六
分二厘ト云フガ如キ融資ヲ、債務者ニモ亦
出來得ルダケ均霑セシメタイ趣旨ヨリ、本
希望條項ヲ附シタ次第デアリマス

第三ニ、銀行ガ融資ヲ受ケマシタ場合
ニ、之ヲ債務者ニ及ボサレタイ、詰リ六分
二厘ニテ融資ヲ受ケタ場合ハ、出來得ルダ
ケ其率ニテ已ムヲ得ザル場合デモ、手數料
トシテ多額ヲ取ラヌヤウニト云フ、私共希
望ヲ附シタ次第デアリマス、本融資ノ性質
ガ銀行及其債務者ノ救濟ニアルノデアリマ
スカラ、銀行ガ既ニ自分ノ凍結セル所ノ不
動産ヲ資金化シ得テ、尙ホ其上ニ多額ノ手
數料ヲ取ルヤウナコトガアツヘハ、本案ノ趣
旨ニ甚ダ副ハザルモノガアリマスノデ、特
ニ此希望決議ヲ附シテ、銀行業者ノ我利我
利ヲ警メテ置ク次第デアリマス(拍手)

次ニ是ハ附帯決議ニナフテ居リマセヌガ、
特ニ希望シテ置キタインハ、此貸出ガ出来
マスト云フト、五億圓ガ全額貸出サレタル
場合ニハ、實ニ手數料ト致シマシテ、三百万
圓ヲ融資銀行ハ年々獲得シ得ルコトニナル
ノデアリマス、若シ左様ナコトガアルト云フ
ト、是等融資銀行ニ於キマシテハ、是等ノ

ル不動産融資ニノミ沒頭ヲシテ、在來ノ業務ガ怠慢ニナリハセヌカト云フコトデアリマス、申ス迄モナク全國四百五十億ノ不動産中、今日擔保トナルモノガ二百五十億位アリ、僅ニ五十六億圓シカ資金化サレテ居ラナイ、而モ其五十六億中、勸業銀行等ハ過去三十箇年間ニ僅ニ十三億ヲ出シテ居ニ過ギナインオデアリマス、左様ナコトデアリマシテ、且ツ今日は等不動産銀行ノ債券發行ハ、漸ク飽和状態ニ近付イテ居ルカニ考ヘルノデアリマスガ故ニ、動モスレバ其固有本來ノ業務ヲ怠リハセヌカト云フ恐レガアルノデアリマス、若シ左様ナコトガアリマスト、本融資法案ガ出來タガ爲ニ、既ニ銀行ヨリ借リテ居ル者ハ救ハレルガ、今後不動産ノ資金化ヲ希望スル者ハ、一層ノ不便ヲ感ジナケレバナラヌト云フコトニナッテ、寧ロ不動産融資其モノ、目的ヲ、阻害スルコトニナリハセヌカト懸念スルノデアリマス、ソレデアリマスカラ大藏當局ニ於カレテモ、勸業銀行初メ是等不動産銀行ニ對シテ、嚴重ナル監督ヲ加ヘテ、既ニ手數料モ相當ナコトデアリマスルガ故ニ、行員其他ノ諸機關ヲ殖シテ、以テ現下ノ時局ニ善處セラレルヤウニ、特ニ御注意ヲ喚起致シタイト考ヘルノデアリマス(拍手)尙ホ一
點利率ノ點デアリマスルガ、利率六分二厘ハ目下ノ状況トシテ已ムヲ得ナイカモ分ラナイノデアリマスルガ、既ニ先程モ御話ガ出タ通り、郵便貯金ハ三分ニ引下ゲル、三分ト云フ対實際ノ利廻ハ恐ラク一分五厘以下デアリマス、此一分五厘以下ノ資金ヲ持テ居ルノデアリマスカラ、是等預金部資金構成ノ變化ニ伴ヒマシテ、漸次六分二厘ノ利率ヲ低下セラレンコトヲ、特ニ此點ヲ併セテ御願申上ゲテ置クモノデアリマス
最後ニ一言致シマス、法ト云フモノハ形デアッテ、魂ハ之ヲ實行スル人ノ如何ト云フコトデアリマス(拍手)今日此法案ガ出来テ、五億圓ノ融資ガ天下ニ浸潤スルガ爲ニ

○議長(秋田清君) 松尾四郎君

詩長(稻田宗祐) 桂屋

ハ、大藏當局ニ於カレテモ、是等融資銀行タル不動産銀行ニ於テモ、眞ニ時局ノ状態ヲ正視シテ、以チ國難打開ノ一助トスルノ誠意ヲ以テ、是ガ辯ニ當ラレルノデナケレバナラヌト云フコトヲ、特ニ此處ヨリ御願申上ゲテ置ク次第アリマス(拍手)

居ルト云フ點デアルノデアリマスルガ、此一億圓ノ損失補償ガ、融資ヲ受ケテ居ル銀行ニ恩典ヲ受ケラレナイヤウニナツテ居ル、是ハ政府當局ノ運用如何ニモ依ルノデアリマセウガ、茲ニ非常ナ「デリケート」ナ問題ガアリマシテ、私ハ此損失補償ヲ銀行ガ受ケル場合ハ、非常ニ少イ思フノデス、今日銀行ノ不動産貸ノ貸付金額ト云フモノハ、數年前ノ好況時代ノ金額デアルノデアリマス、只今ノ此本案ニ依リマスル評價額、即チ鑑定額ト云フノハ、現在ノ時價デアリマス、サウ致シマスト茲ニ非常ナ差ガ起ルノデアリマス、私共ノ地方ハ山林地帶デアリマスガ、山林ノ値段ト云フモノハ、一時ヨリハ四分ノ一ニ暴落シテ居リマス、一万圓ノ山林ハ二千五百圓ニナツテ居ルノデス、サウ致シマスト一万圓ノ不動産ニ對シ七掛貸シテ居タ、例ヘバ七千圓貸シテ居タト致シマスト、其不動産ニ對シテ、今度ノ融資銀行ハ、現在ノ時價、即チ二千五百圓ト云フ評價ニナリマスノデ、此評價一抔貸シテ貰フテモ此間ニ四千五百圓ト云フ差ガアリマシテ、此四千五百圓ハ銀行ガ赤字ヲ出シテ損ヲスルカ、或ハ債務者ニ永久ニ其債務が殘ルカト云フヤウナ、甚ダ不徹底ナ狀態ニ陥ルノデアリマシテ、其場合ニ國家ガ損失ヲ補償スルト云フ狀態ニナツテ居リマスケレドモ、事實ニ於テ此不動産ヲ處分致シマシテモ、此不動産ヲ處分シテ、融資銀行ヨリ受ケタル所ノ融資金額ト、不動産ノ處分トノ差ニ於テ不足ガ起ツタ時、初メテ銀行ガ損ヲスルノデアリマス、其不足ガ起ツタ時ヘ、ヤヘリ今融資ヲ受ケテ居ル所ノ銀行ハ、債務ガ残ルノデアリマスカラ、必ズヤ銀行ガ個々ニ決済ヲシマス、サウ云フコトニナルト銀行ハ其決済ノ義務ヲ負フ、若シ此決済ヲシナイ時ハ、永久ニ大藏省ノ閣帳ニ載ルノデアリマスカラ、サウ云フ不名譽ハ残シタウハナイト思フ、銀行ハ必ズヤ其僅カノ不足金位ハ支拂ヲスル、斯ウ云フコトニナリ

マスカラ、國家ガ其場合ニ融資銀行ニ補償ヲ出スト云フ場合ガ少クナリマス、サウ致シマスト、折角此處ニ一億圓ノ損失補償ト云フ一つノ條件ヲ設ケラレマシテモ、融資ヲ受ケル普通銀行ガ其恩典ニ浴スルト云フコトハ想像シ得ナイ狀態モ起ルト思フノデス、勿論是ハ運用如何ニ依ルト思フノデアリマスケレドモ、左様ニ考へマスルト、此前ノ五月ノ預金部ノ融資ヲヤラレマシタ時ノ條件ト、餘り今日變々進ンダモノデハナイノデアリマス、又モウ一つノ金利ノ點ガ、八朱ヨリ今度ハ六朱二厘ニナフテ居リマス、前ノ預金部ノ融資ハ八朱デアリマシタガ、今度ハ六朱二厘、一朱八厘ハ下ンテ居リマスケレドモ、是カラノ我國ノ狀態ハ段々低金利政策ニ入リマシテ、金利ト云フモノハ益々下^トテ行ク狀態デアル、現ニ郵便貯金ハ三分ニ利下ヲ致シマシタ、日本銀行ハ金利ノ引下ヲ既ニ發表致シテ居リマス、低金利政策ニ入ル時ニ、前ハ八朱デアリマシタ、今度ハ六朱二厘デアリマスカラ、此間ニ相當下^トテ居リマスケレドモ、飛行ク程有利ナモノトハ思ヘナイノデアリマス(「簡単」「簡単」ト呼フ者アリ)簡単ニヤリマス——サウ云フ狀態カラ考ヘマスト、私は此前ニ甚ダ不成績デアリ、不評判デアリマシタ預金部ノ融資ノ時ノ狀態ト、變^トナイヤウナ狀態ニ入りマシタ時ニハ、茲ニ亦不動産固定貸ト云フモノ、制度ガ停頓致シマス、此點ヲ私ハ憂ヘルノデゴザイマス、是ハ勿論政府當局ノ運用如何ニ依ルコト、信ズルノデゴザイマスルガ、此前ノ失敗ノ時ニ鑑ミラレマンテ、何卒此法案ノ實施ニ當リマシテハ、先刻小笠原君ヨリモ申述べラレマシタヤウニ、本當ニ今日ノ不動産貸制希望ヲ申上ゲマシテ、私ハ本案ニ賛先ヲ致

モウ一つへ、昭和七年度法律第六號中改正法律案、此法律案ニ對シマシテハ委員長ノ報告通り賛成致シマス、今日時局匡救ノ爲ニ諸般ノ對策ガ決定セラレマシタル以上ハ、當然此財源ヲ公債ニ求メナケレバナラヌノデアリマスカラ、餘り公債ノ増發ト云フコトハ財界ニハ好イ影響ハ残サヌノデアリマス、吾々何時マデモ澤山ノ負擔ヲ國民ニ残サレルト云フコトハ面白ク思ヒマセヌケレドモ、今日時局匡救ノ爲ニ此諸般ノ對策ガ決定セラレマシタ以上、當然是ヘ已ムヲ得ナイコトアマリスカラ、此公債増發ノ法律ニハ賛成致シマス

○議長(秋田清君) 風見章君
(風見章君登壇)

○風見章君 私共ノ國民同盟モ、此二案ニ賛成致シマス、併ナガラ賛成ノ趣旨ニ關シマシテハ、政友會竝ニ民政黨ノ諸君トハ自ラ趣ヲ異ニスル點ガアリマスカラ、其點ヲ簡單ニ説明ヲ申上ゲテ、本案ニ賛成ノ意ヲ表シタイト思フノデアリマス

本案ニ關シ或ハ本會議ニ於テ、又ハ委員會ニ於テ重不ラレタル質疑應答ノ内容ヲ吟味シテ行キマスルト、本案提出ノ理由ノ中ニハ金融ノ疏通ヲ圖ル爲デアル、斯ウ云フヤウニ聞イテ居リマスガ、私共ハ金融ノ疏通ヲ圖ルト云フ意味ヲ以テハ、本案ハ效果ガ甚ダ疑ハシイ、斯ウ考ヘザルヲ得ナイノデアリマス、寧ロ質疑應答ニ依テ明ニサレタル内容カラ申シマスレバ、焦が付イタ不動産抵當ヲ、國家補償ノ力ニ依テ解放シテヤルノデアルガ、解放シテヤクタガ故ニ、銀行ニ餘裕ガ出来ルトマデハ行カナイ、即チ金融疎通ノ目的マデハ行カナクテ、唯焦が付イタル不動産抵當債權ノ爲ニ弱リ切テ居ル、愚圖々シ居レバ將ニ倒レントスル

ノ救濟ノ意味ニ於テシカ、此法ノ效力ハ發揮シナイモノデアル、私共ハ斯ノ如ク此法案ニ對シマシテ考ヘルノデアリマス、元

來政府當局者ノ希望スル如ク、斯ノ如キ方トハ、寧ロ甚シイ間違デアル、若シ政府當局ガ斯ンナ方法ニ依テ金融疏通ガ圖レルト思フナラバ、ソレヘ甚シイ所謂認識ノ錯誤デアル、認識ノ錯誤ニアラズンバ、即チ金融ノ疏通ヲ圖ルト云フ羊頭ヲ懸ゲテ不良銀行ヲ救濟スルニ過ギナイ、狗内ヲ賣ラントスルノ甚シキ間違デアル（拍手）私共ハ斯ノ如ク批判セザルヲ得ナイノデアリマス、若シ果シテ能ク金融疏通ヲ圖ルノ目的ヲ達セントスルナラバ、本議會ニ提出シタル私共ノ提唱スル所ノ、所謂統制銀行ヲ實現スルニアラズンバ、眞ニ金融疏通ノ途ヲ圖ルコトガ出來ナイ（拍手）私共ハ斯ノ如キ堅キ信念ニ立ツモノデアリマスルガ、本案ニ賛成セラレタル政民兩黨ノ諸君、茲ニ政府當局ニ於テ、果シテ能ク不動産問題ヲ取扱テ、之ニ依テ金融疏通ヲ圖ラントスルナラバ、我黨ノ提唱シタル統制銀行案ノ實現ニ向テ、ソコニ提携斡旋セラレンコトヲ、私ハ衷心カラ勧告セザルヲ得ナイノデアリマス（拍手）即チ本案ハ曩ニ述べタヤウナ意味ノモノデアリマスルガ、併ナガラ非常時デアリマスカラ、非常時對策ノ一つノ小サイ部分トシテハ、ソレダケノ意義ガアルコトヲ認ムルノデアリマス、即チ非常時對策ノ一小部分トシテノ意味ニ於テ、私共ハ賛成スルノデアリマシテ、ソレ以外ノ意味ニ於テ賛成スルノデハナイ

最後ニ此法案ニ依テ利益ヲ受ケル者ハ、私共ノ解釋ニ依リマスレバ、國民中ノ極メテ少數者ニアリマスルカラ、是ガ運用ニ當リマシテハ、先刻來政民兩黨ノ諸君カラモ極メテ嚴重ナル監督ガ必要ダ、斯様ニ要望サレマシタガ、特ニ私共ハ此内容ノ乏シイ法案、而モ國家補償ト云フガ如キ非常手段ニ依テ、此法ノ運用ヲ行ハントスルノデアリマスカラ、是ノ運用ニ當リマシテハ、政局當局ハ宜シク嚴重ナル監督ラシテ、吾々

○上田孝吉君 言事日程變更ノ緊急動議ヲ
昭和七年法律第六號中改正法律案(昭和
七年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公
債發行ニ關スル件) 第二讀會(確定議)
○議長(秋田清君) 別ニ御發議モアリマセ
又、第二讀會ヲ省略シテ兩案共委員長報告
通り可決確定致シマシタ
不動產融資及損失補償法案 第二讀會(確定議)

○議長(秋田清君) 討論ハ終局致シマシ
タ、此兩案ハ一括シテ第二讀會ヲ開クヤ否
ヤフ御諸り致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開
クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマ
ス、兩案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ
○上田孝吉君 直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開
キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通
リ可決セラレムコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 上田君ノ動議ニ御異議
アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマ
ス、直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ議案全部
ヲ議題ト致シマス

〔拍手起ル〕

○議長(秋田清君) が從來屢々聞イタ如キ依怙偏頗ノ沙汰ニ依
テ此融資ガ融通セラレヌヤウ、十分ナル監
督ヲセラレンコトヲ、特ニ私共ハ此機會ニ於
テ政府當局ニ要求シテ置キタイノデアリマ
ス(拍手)私共ハ政友會ノ諸君ガ提唱シタル
希望條件ニ關シマシテ滿腔ノ贊意ヲ表シマ
ス、政府當局ハ宜シク此希望條件ノ目的ニ
副フ爲ニ十分一層監督ヲ嚴重ニサレンコト
ヲ希望致シマス、以上簡單デアリマスガ、
私共ノ此問題ニ關スル大體ノ趣意ヲ説明申
上ゲテ、本案ニ賛成スル趣意ヲ申上ゲル次
第ニアリマス

不動產融資及損失補償法案

卷之三

11

1

ノ上ニ東ネラレテ、私共カラ致シマシタナ
ラベ、殆ド時局匡救ト云フモノニ何等ノ關
係ガナイデハナイカ、何等ノ因果關係ガナ
イデハナイカト思ハレルヤウナ、此商業組
合法案ガ出タト云フコトハ、商工大臣ノ爲ニ
惜マザルヲ得ヌト思フノデアリマス、而シ
テ此内容ニ至リマシテハ、何カ新味ガナイ
カト、私ハ満遍ナク此法文ヲ讀ンデ見マシ
タ所ガ、其中ニ近頃流行ノ言葉デアル統制
ト云フ文字ガ加ヘラレテ居ルコトヲ見タノ
デアリマス、是ハ今日迄ノ信用組合、或ハ
産業組合、或ハ同業組合、或ハ準則組合等
ニ無イ文字デザイマシテ、是ガ活字ノ上
ニハ浮上ヅテハ居リマスケレドモ、是ダケノ
新機軸シカ、此法案ニ窺ヒ知ルコトガ出来
ナイヤウナ、洵ニ貧弱ナ法案デアルコトヲ
委員諸君ハ痛切ニ感ゼラレタヤウニ私ハ認
メタノデアリマス、是ニ於テ本委員會ハ、
只今申述ベマスルガ如キ附帶決議ヲ付ケマ
シテ、識タデハアリマスルケレドモ満場一
致、政友會モ、民政黨モ、國民同盟モ、殘
ラズ一人ノ御異議者ナク此決議案ヲ通過議
決致シタノデアリマス、其附帶決議ヲ讀ミ
上ゲマス

法案デアリマス百貨店ト、都市ニ於ケル中小商工業者トノ間ニ扞格セル思想ハ、今ヤ尖銳化致シテ居ルノデアリマス、政府者ト致シマシテハ、何等カ此間ニ介在シテ居ル此激シイ氣象、激シイ空氣ヲ緩和スルニアラザレバ、先日某百貨店ニ於テ腹ヲ十文字ニ切ツタ中小商工業者ガアリマシタガ、サウ云フ犠牲者ガ現レルノデアリマス、斯ウ云フコトガ再々出テ參リマスト、如何ナル危険狀態ニ至ラヌトモ限ラヌノデアリマスカラ、今日ノ如キ切迫セル時局ニ際シテハ、此法案ノ必要ヲ感ゼザルヲ得ヌノデアリマス、而シテ之ニ對シテハ色々議論ガゴザイマシタ、百貨店ノ商品券ヲ全廢スベシト云フ議論モアツタノデアリマスガ、社會ノ現状ニ鑑ミマシテ、或ル種ノ制限ヲ加ヘテ、此商品券ヲ認メル外ナイト吾々委員ハ考ヘタノデアリマス、サウ致シマシテ此商品券取締法案ノ第一條ニ、商品券發行額ノ「三分ノ一以上」トアルノヲ「二分ノ一以上」ト修正致シタノデアリマス、原案ノ三分ノ一ハ、貯蓄銀行ノ例ヲ取テ定メタノデアリマスガ、吾々ノ委員會ニ於ケル修正意見ノ根據ハ、經濟界ニ於ケル現時ノ狀態ヨリシテ、確カニ二分ノ一以上トスル方ガ合理的的デアルト認メタニ外ナラヌノデアリマス、而シテ第四條ニ依リ、商工當局ハ命令ヲ出スコトガ出來マス、其中ニ色ダナ取締規定ヲ設ケルコトニナッテ居リマスガ、其命令ヲ出シマス際ニ、百貨店ノ發行スル商品券ノ一枚ノ金額ハ金五圓以上ト云フコトヲ命ズル旨ノ規定ヲ置カレンコトヲ希望條件トシテ提出致シタノデアリマシテ、少クト此條件ダケハ商工當局モ其必要ヲ認メテ、必ズ其規定ヲ設ケル旨ノ内意ヲ委員會ニ漏サレタノデアリマス、斯ノ如キ筋合デアリマシテ、商業組合法案ハ無キヨリ増シデアラウト云フダケノ考カラ、全會一致ヲ以テ之ヲ可決致シマシタ、商品券取締法案ハ、是ハナクテハナラヌモノデアッテ、尙

○議長(秋田清君)此兩案ニ付テハ質疑及討論ノ通告ニ接シテ居リマセヌ、兩案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌ力
二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌ力

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君)御異議ナシト認メマス、兩案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○上田孝吉君 直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君)上田君ノ動議ニ御異議アリマセヌ力

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君)御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

商業組合法案 第二讀會(確定議)
商品券取締法案 第二讀會(確定議)

○議長(秋田清君)別ニ御發議モナイヤウデアリマス、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り、可決確定致シマシタ

○上田孝吉君 此際暫時休憩セラレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 上田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、暫時休憩致シマス

午後六時三分開議
午後五時一分休憩

○議長(秋田清君) 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス——上田孝吉君
○上田孝吉君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此際政府提出、金錢債

○議長(秋田清君) 上田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
○議長(秋田清君) 御異議ナシト呼フ者アリ
○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ更変セラレマンシタ、政府提出、金錢債務臨時調停法案ノ第一讀會ノ續會ノ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——
委員長岩崎幸治郎君
金錢債務臨時調停法案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
一金錢債務臨時調停法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和七年九月一日
委員長 岩崎幸治郎
衆議院議長秋田清殿
(別紙)
(小字及一ハ委員會修正)
金錢債務臨時調停法
第一條 負債ノ整理ニ依リ誠實ナル債務者ノ互
者ヲ更生セシムル爲債權者債務者ノ互
讓ヲ必要トスルトキハ當事者ハ本法ニ
依リ調停ノ申立ヲ爲スコトヲ得
第二條 調停ノ申立ハ昭和七年七月三十
一日以前ニ發生シタル私法上ノ金錢債務ニシテ金額千圓ヲ超過セザルモノニ
付之ヲ爲スコトヲ得但シ小作料其ノ他
小作關係ヨリ生ジタルモノ及地代、家
賃其ノ他借地其家關係ヨリ生ジタルモ
ノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
前項ノ金額ニハ附帶ノ利息、違約金、
費用又ハ手數料ノ額ヲ算入セズ既ニ元
本ニ組入レタル此等ノモノニ付亦

此觀念ハ、法文カラ取アテシマフ「千圓ニ達セザルモノ」ト云フ文字ヲ削除スル、而シテ小作料、借地借家ニ付テノ例外モ撤廃シテ、何モ斯モ此調停デ以テヤリ得ルヤウニスルト云フノガ第一點ノ修正デゴザイマス、第二點ハ本件ハ強制調停デアツテ、調停成ラザル場合ニ於テハ、裁判所ハ裁判ヲ以テ争ヒヲ決メ得ルノデアルガ故ニ、辯護士ヲ代理人トスルコト毫モ差支ガナイ、否寧ロ辯護士ヲ代理人トセシムルコトガ便宜デアラウ、本體ノ筋トシテハ當事者自身ノ出頭ガ必要デアル、ケレドモ辯護士ヲ代理人トスルノハ一向差支ガナイト云フ修正デゴザイマス、此他ノ修正ハ字句及條文ノ配列ニ關係スルモノデゴザイマスカラ、私ハ諱ク茲ニ申上ゲマセヌ。

第二ノ修正ハ民政側ノ諸君カラ提出サレマシタ修正デゴザイマシテ、此修正ハ唯辯護士ガ輔佐人トナル場合ニ於テハ、裁判所ノ許可モ調停委員會ノ許可モ要シナイ、從來辯護士ガ代理人トナルコトニ付テハ、裁判所ノ許可デ行ケタノデアリマシタガ、此修正ニ依リマスルト、裁判所若クハ調停委員會ノ許可ガアツタ場合ニ於テハ代理ガ出来得ル、輔佐人ハ辯護士ノ職權トシテ許可ヲ得ナクテモ出來得ルト云フ點ガ修正ノ重點ニナフテ居リマス

第三ノ修正案ハ、是ハ國同側カラ御出シニナリマシタ修正案デゴザイマシテ、此修正案ハ「金額千圓ヲ超過セザル」ト云フ點ハ觸レナイデ、ソレハソレデ宜シイ、併ナガラ裁判所ガ相手方ノ意見ヲ聽イテ、事件ガ停ガ出來得ルト云フ修正デゴザイマス、ソレ以外ニ辯護士ヲ代理人ニスルト云フ修正ニ付キマシテハ、政友會側カラ出サレタ修正ト同一デゴザイマス、又字句ノ點ニ付キマシテ政友會ノ修正ハ、第七條ノ中ノ「機構

ヲ害スル「ト云フ「機構」ノ文字ヲ「存續」ト
モ、國同ノ修正ハ同一デアリマス、而シテ先
程申上ゲマシタ小作料、借地借家カラ生ズ
ル所ノ債權ニ付テノ調停モ、ヤハリ本調停
ニ包含セシメルト云フ點モ、政友會ノ修正
ト同一デアリマス、簡單ニ申シマスレバ、
第一條ノ但書ハ之ヲ取テシマフ、斯ウ云
フ點ハ皆様同様デアリマスケレドモ、唯一
ツ遺ラタ點ハ、千圓ヲ超エザルモノヲ原則
トスルガ、裁判所ガ相手方ノ意見ヲ聽イテ、
事件ガ調停ニ相當ナリト認メル場合ニ於テ
ハ、金額ニ拘泥シナイト云フコトニ修正サ
レタ點ガ、此修正ノ重點デゴザイマス
ソコデ修正案ニ對シマスル提案者ノ理由
ヲ簡單ニ御紹介申上ゲマスルト云フト、政
友會ノ修正案ニ對スル提案ノ理由ハ、金錢
債務ヲ千圓ニ達セザルモノト云フコトニ制
限スルト云フコトハ、社會ノ通念デアル差
別待遇撤廃ト云フコトニ支障ヲ來ス、簡
單ニ申セバサウ言ハレルノデアリマス、即
チ千圓ニ達セザル少額ノ債權者、寧ロ債務
者ト同様ニ苦シニ居ル者ハ壓迫ヲ受ケルケ
レドモ、然ラザル債權者ガ壓迫ヲ受ケナイイ
ト云フヤウナ立法ニハ、吾々ハ贊成スル譯
ニハ行カナイト、斯ウ言ハレルノデアリマ
ス(拍手)ソレカラ代理人ノ選任ノ件ニ付キ
マシテハ、既ニ強制シテマデ調停スルモノノ
デアル以上ハ、代理人ヲ出廷セシメタ所デ、
裁判所ガ調停人ノ意見ヲ聽イテ調停裁判ヲ
シテシマヘバ宜ノデアルカラ、毫モ代理
人差支ナシ、辯護士ハ權利トシテ當事者ノ
代理人ヲ爲シ得ル途ヲ開カナケレバナラナ
イ、即チ民事訴訟法ノ通念ヲ此調停法ニモ
採ラナケレバナラヌト云フコトノ理由デ以
テ、辯護士ノ代理人タルノ許可ヲ修正シテ
入レタノデアリマス、サウ云フコトノ理由
ヲ主張セラレマシタ民政側ノ修正案ニ付テ
ノ御理由ハ、修正其モノガ頗ル簡単デアリ
マス如ク、又頗ル簡單デアリマシテ、從來

ノ實際ノ手續ハ辯護士ノ代理人ハ裁判所ハ
ト調停委員會ガ許可スル場合ニ於テハ、代理人タルコト一向差支ナシ、ノミナラズ辯
護士ガ輔佐人トナルコトハ、當然ノ權利ト
シテ裁判所若クハ調停委員會ノ許可ヲ得ナ
イデモ、其途ヲ開カシケレバナラナイト云
フ點カラ御修正ニナシタノアルト云フ提
案ノ理由ヲ御説明ニナリマシタ
ソレカラ國同ノ提案ニ付キマシテ、提案
ノ御理由トナシテ居リマスル所ノモノハ、
金額ヲ千圓ニ制限スルコトハ、是ハ下チラ
カト云ヘバ餘り雙手ヲ擧ゲテ贊成ハナイケ
レドモ、併ナガラ若シ此金額ノ制限ヲ撤廢
スルト云フコトニナレバ、洵ニ調停裁判所
ノ事務ガ煩雜ヲ來スデアラウ、寧ロ是ハ此
儘ニシテ置イテ、相手方ノ意見ヲ聽イテ、
持テ來タ當該事件ニ付テ、調停ヲ爲スニ
相當デアルト認メタモノ、ミヲ、金額ガ千
圓ヲ超過シテ尙ホ調停ニ入ルコトニスルコ
トガ相當デアルト云フ提案ノ理由ヲ御説明
ニナシタノデゴザイマス

○一松定吉君

只今上程セラレテ民
此場合修正案ノ趣旨辯
リマスガ、何レモ趣旨レ
マシタ——是ヨリ討
依リ發言ヲ許シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
○議長（秋田清君） 御異議ナシ
直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、
議題ト致シマス

ト認メマス

○議長(秋田清君)　此場合修正案ノ趣旨辯明ヲ許可スルノデアリマスガ、何レモ趣旨辯明省略ヲ申出デラレマシタ——是ヨリ討論ニ入り、通告願ニ依リ發言ヲ許シマス
——一松定吉君

(一松定吉君登壇)

○一松定吉君　諸君、只今上程セラレテ民リマス金錢債務臨時調停法ニ對シマシテ、我黨ハ同案中第四條ノ或ル一部ヲ修正シ第五條ヲ新ニ設ケマシテ、政府提案ニ係リマス第五條以下ノ法條ヲ順次繰下ゲルコトニ致シタノデゴザイマスガ以下其修正ノ趣旨辯明ヲ討論ノ中ニ織込ミマシテ申上ゲタイヤデアリマス、暫ク御清聽ヲ御願致シマス
本案ハ御承知ノ如ク一人ノ冤裁判所ノ判事ガ自由ニ債務ノ内容ヲ變更スルコトノ出來ル案デアリマス、斯ノ如キ性質ヲ帶ビテ居る法案デアリマスルガ故ニ、此議案ノ審査ニ當リマシテハ、十分慎重審議シナケレバナラナイコトハ申スマデモナインノデアリマスニ於キマシテ我黨ハ此案ニ對シテハ矢張直宣傳ダトカ云フヤウナ意味ニ取扱フベキ事會ノ修正ニ係リマス金額無制限論ニハ反對論ニ入リ、通告願ニ依リ發言ヲ許シマス
ヲ表スルノデアリマス、又第二條ノ所謂小

作ニ關シマスル調停法竝ニ借地借家調停法ハ、本案カラ適用ヲ除外スルト云フ原案ヲ維持致シマシテ、政友會案ノ此兩調停法ハ本案ト併用スルヤウニスルト云フ、但書削除ノ修正案ニハ反対デアリマス、又第四條中ノ所謂借地借家調停法準用ニ係リマス當事者、利害關係人ガ調停ニ出頭致シマスル場合ニ於テ、辯護士ヲ代理人トスルコトガ出來ルカドウカト云フ、此修正案ニ對シマシテハ、我黨ハ是マデ調停法中ニ採用セラレテ居リマスル所ノ本人出頭主義、代理人人許可主義ニ對シマシテハ、不都合ガアルコトヲ認メマスカラ、此點ニ對シマシテハ同ジク本人ノ出頭主義ヲ原則トシ、辯護士ハ裁判所ノ許可ヲ受ケテ代理人タルコトヲ得、但シ本人ガ法律智識ニ乏シイ場合、若クヘ特ニ顧問的相談ヲ持掛ケタル必要ノアルヤウナ場合ニハ、専門家デアル辯護士ヲ輔佐人トシテ、共ニ調停裁判所ニ出頭スルコトノ出來ルヤウニ修正スルコトガ機宜ニ適シタルコトニアリ、且ツ是ガ調停法ノ眞ノ運用ニ適合シタル處置デアルト考ヘマシテ、此第四條中ノ借地借家法第七條ノ規定ヲ準用スルコトヲ止メマシテ、新ニ第五條ヲ設ケテ本人出頭ヲ原則トシ、裁判所ノ許可ヲ受ケタル場合ニハ、辯護士ガ代理人トナルコトガ出來ル、又本人ハ何時デモ輔佐人ト共ニ調停裁判所ニ出頭スルコトガ出來ル、輔佐人ハ裁判所ノ許可ヲ得テ出ルノデアルガ、辯護士ハ許可ハ要ラヌ、當然輔佐人トシテ出ル權限ガアルト云フヤウニ修正シタノデアリマス、其次ニハ例ノ第七條ノ二項ノ所謂機構ヲ害スル虞ニ云々ノコトニ關シマシテハ、同ジク原案ヲ維持致シマシテ、政友會ノ修正案デアリマス「存續ヲ害スル虞ニ」ト云フ點ニハ反対ノ意ヲ表明スルノデアリマス、今は等ノ點ニ対シマシテ我黨ノ主張ノ正シキ理由ヲ開陳致サントスルノデアリマス諸君、政友會ノ修正案タル無制限ニスル

ト云フコトニ致シマスルナラバ、千圓ハ勿論五千圓、一万圓、十万圓、百万圓、所謂底ナシニ制限ナシニ本法ノ適用ヲ受ケルト云フコトニナルノアリマスカラシテ、吾吾ハ斯ノ如キ案ニ對シマシテハ反対セザル故ニ反対ヲスルノデアリマス、何故ニ反対シナケレバナラナイカト言ヒマスト、幾多ノ不條申シマスルナラバ、契約自由ノ原則ニ基キマシテ、個人ガ法ノ保護スル範圍内ニ於テ自由ニ契約ヲ締結致シテ居ル、此契約ニ依リマシテ債権者ハ法ノ保護ヲ受ケテ債権ノ實行ヲヤルコトガ出來ル、債務者ハ法ノ強制ヲ受ケテ債務ノ履行ヲシナラバ、契約ト云フ覺悟ヲ有ナテ居る場合ニ於キマシテ、區裁判所ノ一判事ガ其契約ノ内容ヲ自論ヲ經マシテ、而モ公開ノ席ニ於テ黑白ヲ決セラル、ノデアリマス、之ニ對シマシテ敗訴ノ判決ヲ受ケタ者ハ、其判決ニ對シテ上訴即チ控訴上告ノ方法ニ依テ不服ヲ申立て、更ニ覆審ヲ求ムルコトガ出來ルニ拘ラズ、本件ノ如キハ其事ナクシテ、唯一一人ノ區裁判所ノ判事ノヤッタ決定ニ對シテ、一種輕便ナル抗告ト云フ方法ニ依テノミ保護セラル、ト云フ變則的規定ニアリマスルガ故ニ、裁判ノ原則カラ申シマスルナラバ、裁判ノ原則ヲ破壞スル法規デアルト云フコトニナルノアリマス、ソレバカリデヘアリマセヌ、本法ヲ適用スルコトニ依リマシテ國民道徳ト云フモノハ破壞セラル、虞ガアリ、又經濟上ノ危機ヲ孕ム虞ガアリ、又國民思想ヲ悪化セシムルノ虞ガアルノデマ

ト云フモノハ、之ヲ施行スペキモノデアリマセヌ、斯ノ如キ法案ハ已ムヲ得ザル時ニノミ限テ施行シナケレバナラナイノデアリマス、若シ斯ノ如キ幾多ノ弊害ノ伴フテハ何人モ不都合デアルトシテ攻撃シナイン者ハナイデアリマセウ、此意味ニ於キマシテ、今日ノ如ク所謂農漁山村、中小商工業者ノ疲弊困憊ヲ此儘ニシテ置イテハナラナイ、此窮状ヲ打開スルノニハ、何等力ナ方法ヲ講ジナケレバナラナイト云フヤウナ、非常時ノ場合ニ於テノミ、斯ノ如キ法案ハ施行セラレルノデアリマス、ソレナラバ成タケ弊害ノ少イヤウニ、成タケ其適用期間ノ短イヤウニ、成タケ是ガ範圍ヲ縮小スルヤウニスルコトハ、所謂國ヲ憂フル士ノ當ニ努メナケレバナラヌ責任デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、此意味ニ於キマシテ、無制限ヨリモ制限ノアルコトヲ尊ントシ、其制限ノ中ニ於キマシテモ、多額ノ金錢債務ヨリモ少額ノ金錢債務ヲ保護スルト云フ意味ニ於テノミ、之ヲ適用シナケレバナラナイト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、然ラバ如何ナル程度ノモノヲ之ニ依テ救済スレバ宜イカト云フコトニ對シマスルト、唯金額ヲ無制限ニシナケレバナラナイト云フダケデハイケマセヌ、今日吾々ガ此時局匡救ノ爲ノ議會ニ於テ、是等ノ下層階級、是等ノ窮民、是等生活ニ喘イデ居ル人々ノ救フ爲ノ非常時内閣、非常時議會ニ於キマシテノ此非常立法ハ、ドノ程度ノモノヲ救濟スルコトガ最も妥富性ヲ有テ居ルモノデアルカト云フ點ニハ、何カ根據ヲ見出サカレレバナラヌノデアリマス、此意味ニ於キマシテ、農林省が昭和四年ニ調査ヲ致シタモノガ此處ニアリマス、之ニ依リマスルト、小農若クハ自作農若クハ自作農デアリ且ツ小農デアリマスル者ノ一箇年ニ於ケル

負債、是等ノモノヲ此表カラ拾ヒ出シテ
マスルト、一年ニ於テノ借金ト云フモノガ、
年末ニ於テ九百十七圓七十錢二厘ト云フコ
トニナフテ居リマス、是ハ昭和四年ノ調査
ニ係ルモノデアリマスガ、ソレヨリモット
ト、地主ノ借金ハ三千五百十六圓デアリ、
自作農ノ借金ハ一千二百十九圓デアリ、小作
農及自作農ヲ兼テ居ル者ノ借金ハ七百八
八圓デアリ、小作農ノ借金ハ三百九十三圓
デアルト云フコトニナフテ居リマス、又農
家負擔整理實行事例調査ニ依ルモノカラ拾
ヒ出シテ見マスルナラバ、自作農ノ借金ハ
千六百五十圓、自作兼小作農ノ借金ハ千百
三十圓、小作人ノ有スル借金ハ五百二十圓、
ソレカラ農家經濟調査ニ依ルモノハ、自作
農ハ一千九十九圓、自作兼小作農ハ一千七十二
圓、小作農ハ七百八十二圓、之ヲ平均致シ
マスルト、地主ハ三千五百十六圓、自作農
ハ一千三百十九圓、自作及小作農ハ一千三十一
圓、小作農ハ五百六十圓トナルノデアリマ
ス、而モ是ハ其農家一戸當リノ負債ノ
額デアリマシテ、是ハ數口ノ債務ガ合計
セラレテ此様ニナフテ居ルノデアリマス、ソ
レナラバ是等ノ金額ヲ數口ニ還元致シマシ
タナラバ、一口ハ悉ク千圓以下トノ負擔ニナ
ルノデアリマス、之ヲ十分ニ呑込ンデ居ラ
ネベイケマセヌ、是ガ所謂農家ニ對シマス
ル負債ノ金額デアリマス、又商工省ガ昨年
六月東京市内ノ卸小賣業者七万六千二百二
十二營業所ニ對シマシテ調査致シタ結果ニ
依リマスルト、一營業所平均九百八十二圓
ノ負債ト云フコトニナリマス、是モ數口ノ
借金ガ合計セラレテ九百八十二圓デアリマ
スルガ故ニ、之ヲ數口ノ債務ニ還元シテ見
マシタナラバ、悉ク千圓以下ノ少額債務ヲ
負擔スルニ過ギナイノデアルト云フコトガ
明ニナルノデアリマス、諸君、此様ニ考へ

工業者ノ窮乏ヲ救濟スルコトヲ目的ト致シテ居リマスル此金錢債務臨時調停法ノ一口ノ金額ハ、千圓ト云フコトヲ基準ニスレバ、是等ノモノハ十分ニ救濟ノ出來ルト云コトガ出来ナイ、此様ナコトデハ不徹底アルト云フ政友會ノ修正ハ、是等ノモノヲ十分調査研究シナイ缺點ガアリマス、然ルニ無制限ニシナケレバ債務者ノ全部ヲ救濟スルコトガ出来ナイ、此様ナコトデハ不徹底アルト云フナリノデアリマス、然ルニ無制限ヲ撤廢シナケレバナラナイト云フ一片ノ理論カラ割出サレタ所ノバ債務者ノ救ハレルモノト救ハレナイモノトガアル、故ニ其債務者ノ全部ヲ救濟スルノニハ、金額ノ制限ヲ撤廢シナケレバナラナイト云フ一片ノ理論カラ割出サレタ所ノ案デアリマシテ、是ハ今日ノ此時局匡救内閣ノ提案セラレテアリマスル各種法案ニ依リマシテモ明ナルガ如ク、日本全國ノ窮乏者一人殘ラズ之ヲ救護スルト云フコトニアッテ居ナインデアリマス、理想ト致シマシテハ、サウ云フヤウニシテ、同ジ陛下ノ赤子デアルモノヲ救濟シ、一人デモ救ハレザルモノナカラシムルコトハ、政治家トシテ當然考ヘナケレバナリマセヌガ、ソレハ國ノ財政ノ許ス程度ニ於テデナケレバナリマセヌ、又他ニ是ヨリモ尙且ツ急ヲ要スル場合ガアル時ニ於テ、豫算ガ許サナイ、財政ガ許サナイト云フヤウナ時ニハ、急ナモノヲ先ニシ、然ラザルモノハ徐ロニ研究調査シテ之ガ救濟ノ途ヲ講ズルモ決シテ時期ノセヌ、又他ニ是ヨリモ専且急ヲ要スル場合ガアル時ニ於テ、豫算ガ許サナイ、財政遲レタルモノト言フコトハ出來ナイノデアリマス、昨日三木君ノ豫算委員長ヲ經テ當局ニ尋ネテ貰ヒタイト言ハレタ彼ノ所謂失業者、又ハ勤勞階級者「サラリーマン」等ノ二千万人餘ノ同胞者ニ對スル匡救ノ豫算ノ無カリシコトハ慨歎ニ堪ヘナイ、此點ヲ政府ニ確メテ貰ヒタイト言ハレタコトハ、政府アリマス、即チ斯様ニ窮民ノ中デモ、急

ニ救ハナケレバナラナイモノト、多少時期
ハ遅レテ宜イモノトノアルコトヲ考ヘルナ
ラバ、今農漁山村及中小商工業者中ノ千圓
以下ノ借金ヲ負ウテ居ル者ガ殆ド全部ニア
ル時ニ於キマシテ、先ヅ之ヲ國家財政ノ許
ス範圍内ニ於テ匡救スルト云フコトハ機宜
ニ適シタル法案ナリト言ハナケレバナリマ
セヌ、（拍手）此意味ニ於キマシテ政友會案
ノ無制限ニスルト云フコトニ對シマシテ
ハ、私共直チニ贊成スルコトハ出來ヌノデ
アリマス、ソレバカリデハアリマセヌ、若
シ之ヲ無制限ニスルト云フコトニナリマシ
タナラバ、妥當性ノ方面カラ考ヘマシテ
モ、一區裁判所ノ判事、今マデ千圓以下ノ
事件ノ取扱ヲシテ居タ、借地借家若クハ
小作ニ關シマスル調停ハ別トシテ、區裁判
所ノ一判事ニ制限ナク數万圓、數百万圓ノ
金錢債務ヲ勝手ニ内容ヲ變更スルコトヲ許
シ、而モソレニ對シテハ裁判上、吾々ニ與
ヘラレタル上訴ノ方法ニ依ル不服ノ申立ヲ
許サヌ、單ニ一つノ抗告ニノミ依テ、不服
ノ申立ガ出來ルト云フヤウナ不徹底ナ妥當
性ヲ缺イタ所ノ取扱ヲ、此一判事ニ委ネル
ト云フコトハ如何デアリマセウカ、此點モ
政友會諸君ニ於テ大ニ御考慮願ヒタイノデ
アリマス、ソレバカデハアリマセヌ、若シ
之ヲ政友會案ノ如ク金錢ノ程度ヲ無制限ト
云フコトニ致シマスルト、實際取扱ノ上ニ
如何ナル影響ヲ及ボスカト云フコトヲ調查
シテ見マンタガ、大正十五年カラ昭和五年
マデノ五箇年間ノ地方裁判所ニ提起セラレ
マシタ千圓ヲ超過スル事件ハ、二万七千四
百四十三件ト云フコトニナリマス、是ハ五
箇年間ノ平均ノ件數デアリマスルカラ、今
後三年間ニ此様ニナルカナラナイカ分リマ
セヌガ、兎ニ角事ヲ判斷スルニ對シマシテ、
アリマスカラ之ヲ前提ト致シマシテ、此二
万七千四百四十三件ト同ジ位ノ事件ガ、悉ク

區裁判所ニ調停ノ申立ヲサレルト云フコトニナシタト假定致シマスルナラバ、一體ドウ云フヤウナコトニナルノデアリマセウカ、昨日本院ヲ通過致シマシタ此非常時調停法ノ豫算ト云フモノハ、此千圓ヲ超過スル事件ガ地方カラ區ニ移ルト云フコトハ豫期シテ居ナイ所ノ豫算デアリマスルガ爲ニ、更ニ此點ヲ考ヘテ見ルコトニナリマスルト、此案ガ通過セラレルト云フコトニナリマスルト云フト、百人ノ判事、三百人ノ書記、百万圓ノ金ガナケレバ運用ガ出來ナイト云フコトニナルノデアリマス前ニ申シマシタヤウニ政府ノ原案千圓以下ノ小口債務ハ其全部ガ本法原案通りト致シマシテモ、匡救ノ目的ヲ達成スルコトノ出來ルニ拘ラズ、尙ホソレ以土百万圓ノ金ヲ此方面ニ使フテ小口債務者以外ノ債務者全部ヲ救ハネバナラヌト云フコトハ如何デアリマセウカ、私共ノ考ヲ以テスレバ他ニ尙ホ急ヲ要スル失業者ノ救濟等ニ對シマシテ、此豫算ヲ廻スコトノ方ガ最モ急デハナカラウカト考ヘラレルノデアリマス、斯ウ云フヤウニ考ヘマスル時ニ於キマンテ、私共ハ此無制限ノ修正ニハ絶対ニ反対シナケレバナラヌノデアリマス、又第二條ノ第三項ニ依リマスト、千圓ヲ超過スルモノニ對シマシテ調停ノ申立ヲシタ場合ニ於テモ、裁判所ガ適當認ムル時ニハ之ヲ調停スルコトガ出來ルノデアリマスカラ、政友會案ノ如ク無制限ニシナクテモ此法條ヲ都合好ク運用致シマスルナラバ、必ず相當金額ノ債務調停ガ出来ルコト、思フノデアリマス、若シ政友會ノ修正案ノヤウニナレバ將來或ハ「モラトリアム」ト云フヤウナモノヲ豫想シ、或ハ借金ノ捲引案ト云フヤウナ程度ニマデ立至ル惧ナシトセズ、即チ政友會ノ無制限論ハ斯ル極端ナル政策ト紙一枚デ、危險千萬ノ案アルト私ハ斷言シテ憚ラヌノデアリマス（拍手）此意味ニ於キマシテ私ハ此金額ノ制限ヲ撤スルト云フコトニハ反対デアリマ

ス、其次ノ第四條ノ辯護士ヲ代理人トスルコトヲ原則トシテ居ラレル政友會ノ案ハ、如何カト思フノデアリマス
〔君ハ辯護士ヂヤナイカト呼フ者アリ〕

ナル危機ヲ胎ムコトノアルコトハ、小作爭議ニ關係シタコトノアル辯護士諸君へ能ク承知シテ居ルノデアリマス、又小作調停ニハ、地主小作人ノ總代ガ出席シ、或ハ小作官ガ立合ヒ、普通ノ調停ニ見ルコトノ出来ナイヤウナ圓滿ナル解決方法ヲ講ジテ實績ヲ舉ゲテ居ルノデアリマスカラ、之ヲ單純ナル此非常時立法デアル金錢債務臨時調停致シマシテモサウデアリマス、地主ト借主、家主ト借家人、斯ウ云フ者ノ間ニハ、種々協調ヲ保テ行カナケレバナラナイモノガアルシ、又集團的ノ場合モアリマシテ、色々ノ問題ガ複雜シテ居ルノデアリマスカラヤハリ是ハ原案ノ通リニ本法カラ除外シテ、唯單純ナル商取引ニ依ル商事調停法ノミヲ本法ト併用スルト云フ此政府案ハ、最モ機宜ニ適シタル案デアルト信ジマスカラシテ、私共ハ此政府案ニ贊成スルノデアリマス、残リマス所ハ第七條第二項ノ所謂機構ト云フ問題デアリマス、此問題ハ政友會ノ諸君ノ仰セニナルヤウニ、法律上ノ新熟語デアリマスカラ、解釋上多少ノ疑議ヲ持ツコトモアリマセウガ、解釋ノ統一ハ左ノミ困難デハアリマセヌカラ、餘リ弊害ハナイト思フノデアリマス、之ヲ政友會ノ修正案ノ如ク、存續ヲ害スル虞アルト云フコトニ直スト云フコトニナリマスト、銀行會社等ノ官廳ノ監督ヲ受ケテ居ル金融業者ガ、立行クコトガ出來ナイト云フ瀕死ノ状態ニ行クマデハ此法文ノ適用ヲ受ケ、モウ致命傷ト云フ狀態ニ陥ルト云フ時ニ、初メテ本法ノ適用カラ除外サレルト云フコトニナルノデアリマス、左様致シマスト、經濟界ニ及ボス影響ハ實ニ甚大デアリマス、大藏省ガ斯様ナ修正ニハ贊成出來ナイト云フテ居ルサウデアリマスガ尤モノコト、思フノデアリマス、私ハヤハリ機構卽チ機能構成ヲ害スル

處アル場合ニヘ本法ヲ適用セズ、即チ
ヲ害シ、構成ヲ害スルト云フヤウコ
定シ得ベキ場合ニハ之ヲ適用セズ、然
ル場合ニハ本法ヲ適用スルト云フ、シ
シ、是ガ適用ハ裁判官ニ一任シ、最
ナ働キヲ爲サシメ、以テ本法ヲ善處
シムルト云フコトガ此法案ノ性質ニ
ルノデアルト云ハレタ政府委員ノ解
最モ傾聽スペキ價アルト考ヘルノデア
スカラ、此「機構ヲ害スル處」ト云フ
ハ、依然此儘ニ存置スルコトガ宜イ。
ノデアリマスカラ、之ニ對シマスル功
ノ「存續ヲ害スル」ト云フ修正ニ付テ
ハ反対ヲ致スノデアリマス
クヲ要スレニ本法ハ所謂農魚山村ト、

商工業者ノ今日生活ニ喘いデ居ルト云フオヤ
ウナ窮乏ノ地位ニアル人ヲ、非常時ニ於テ
三年間之ヲ助ケテ救濟シテヤルト云フ案デ
アリマスルガ故ニ、此一口千圓ノ程度ニ於ケ
ル金額ニ限定スルト云フコトニ於テハ、少
シモ異議ハナイノデアリマス、唯問題ヘ裁
判官ガ之ヲ運用スル時ニ於テ、運用ヲ誤レ
バ、ドノヤウナ名法律ヲ新規ニ制定致シマ
シテモ真ノ效能ヲ發揮スルコトガ出來ナイ
ノデアリマスカラ、司法大臣ガ委員會ニ於
テ説明致シマシタヤウニ、全國ノ之ニ當ル
所ノ判事ヲ集メテ、十分ノ注意ヲ與ヘ、運用
上缺陷ノ生ジナイヤウニ、間違ノ出來ナ
イヤウニシ、而モ監督ヲ嚴重ニシテ、此匡教
ノ目的ヲ達成シタイト云フ當局ノ言明ヲ信
ジ、原案ニ對シマシテハ、此第五條ヲ新ニシ
入レルト云フコトノミニ止メテ、政友會案
ニ反対シ、政府ノ原案中唯五條ヲ新ニ設ケ
ルコト、シテ、政府案ヲ支持致スノデアリ
マス、ドウゾ諸君ノ御贊成ヲ御願致シマシ
テ降壇致シマス（拍手）

盟提出ノ修正案ニ反対スル者デアリマス、少シク吾々同志ガ提出致シマシタ修正案ノ理由ヲ説明シ、同時ニ兩黨ヨリ提出セラレマシタル修正案ノ誤レル所以ヲ説明シタイト思フノデアリマス
諸君、只今一松君ノ御演説ヲ聽イテ居リマスト、洵ニ本案ニ臨ム所ノ基調、態度ト云フモノガ、吾々ト根柢ニ於テ違テ居ルト云フコトヲ私ハ先づ第一ニ斷言シナケレバナラヌノデアリマス(拍手)諸君、今期ノ議會ハ御承知ノ如ク、前議會ニ於キマシテ我黨ノ島田俊雄君ヨリ提出サレマシタ所謂四大綱目ニ對シテ、非常匡救ノ案ヲ立ツベキ議會デアリマス、而シテ此金錢債務調停ニ關スル問題ト、農村負債整理ニ關スル所ノニツノ法案ハ、此四大綱目ノ中ノ第二位ニ位シテ居ル所ノ、最モ重要ナル案デアルノデアリマス、即チ當時島田氏ノ演説ノ一部トシテ、今日此行詰レル農村、或ハ中小工業者ノ負債ヲ徹底的ニ整理ヲシナケレバナラヌ、之ヲ徹底的ニ整理ヲスルト云フコトハ、言ヒ換ヘレバ債務ノ棒引ヲスル、或ハ「モラトリアイム」ヲ施行スル、併ナガラ之ヲ直チニ行ト云フコトニナレバ、世界共通ノ制度デアル所ノ私有財産制度ヲ覆スコトニナル、併ナガラ少クトモ之ニ近イ所ノ法案ヲ立テナケレバ、到底今日ノ窮迫セル農漁山村及都會ノ中小工業者ヲ救フコトハ出來ナイト云フコトヲ指摘サレテ居ルノデアリマス、故ニ此意味ニ於テ本案ニ臨ムデアリマス(拍手)即チ此政府提出ノ原案カラ見マスルト、又民政黨並ニ國民同盟ヨリ所ノ是等ノ負債者ヲ根柢ヨリ救フト云フコトニ、根本的態度ヲ置カナケレバナラヌノデアリマス(拍手)付ケラレテ、其日ノ生活ニスラ苦シニ居ル提出セラレマシタル修正案ニ依リマシテモ、金額ヲ千圓ト限^フテ居ルト云フコトハ、全ク此基調ヨリ外レテ居ルモノト言ハナケレバナラヌト私ハ思フ(拍手)

諸君、凡ソ此實體ノ權利ニ關スル法律ト云フモノハ、極メテ特殊ノ場合ヲ除クノ外ハ、國民全部ニ同一ノ作用ヲ爲スモノデナケレバナラヌノデアリマス(拍手)、是ガ憲法上ニ於ケル自由デアリ、又平等ノ眞ノ意義デアリ、吾々國民ノ共ニ享クベキ法上ノ地位デアリマス、即チ一千圓ト云フ額ヲ限テ、一千圓以下ノ債務者ヲ或點マデ保護スルト云フコト、換言スレバ一千圓以下ニ對スル債權者ニ、或ル程度ノ損害ヲ與ヘルト云フコトハ、此一部ノ人々ニ苦痛ヲ強ヒルコトデ、而モ是ヨリモ富裕ナ生活ヲシテ居ル所ノ人々ニ損害ヲ與ヘナイヤウニ保護スルト云フ、洵ニ本末ヲ顧倒シテ居ル法案ト言ハナケレバナラヌト私ハ思フ(拍手)凡ソ此法案カラ見マスルト、是へ創設の效力ハアリマスルケレドモ、確認の效力ノアル法律デハナイノデアリマス、故ニ此問題ニ付テ決セラレルノハ、其債權債務ノ基本的ノ存在デハナクシテ、此存否ニハ争ヒガナイガ、千圓トスルカ、八百圓トスルカ、一万圓トスルカ、九千圓トスルカト云フ支拂ニ關スル所ノ問題デアリマスルカラ、假令一万圓デアリマシテモ、極メテ簡易ナ事件ガアルノデアル、又一松君ガ極メテ小ナリト言ハレル二百圓、三百圓ノ債務デアリテモ、貧乏人カラ云ヘバ、洵ニ殆ド其總財産ヲ失ハナケレバナラヌト云フヤウナ重大(拍手)而モ此一千圓ニ限ルト云フコトハ、ナ問題デアル、實ニ此法案ニ於テハ金錢ノ多寡ト云フコトハ、直チニ以テ事ノ難易ヲ定メル所ノ標準トハナラヌノデアリマス(拍手)而モ此一千圓ニ限ルト云フコトハ、結論ヨリ言ヒマスレバ、私ハ所謂小額債務者ト同ジヤウニ苦シニ居ル小額債務者ヲ苦調ベデアリマスルガ、此村ノ農民諸君ノ負債ノ全部ガ、六十萬圓バカリアルノデアリ、此中ノ殆ド大部分ト云フモノハ、信用

組合デアルトカ、或ハ銀行デアルトカ云フ
ヤウナ、公共的ノ團體或ハ法人カラ借りテ
居ルモノデアルテ、僅ニ残リノ十數万圓ト
云フモノガ是ガ所謂個人ニ對スル負債、即
チ個人カラ借りテ居ル所ノ債務デアル、而
モ是等ノ債權者ト云フモノハ、此報告ニ依
ルト云フト、殆ド其村ニ住ンデ居ル所ノ人
人ノミデアル、即チ此村ノ比較的暮シノ裕
ナ人々ノ預金シテ居ル金ヲ借りテ居ル、或
ヘ自分ノ田地ヲ擔保ニ入レテ、サウシテ自
分ノ村ノ金持カラ借りテ居ルノデアル、是
等ノ自村内ノ債權者モ打續ク不況ノ爲メ此
債務ガ支拂ハレズ、公課公租其他ノ負擔ノ重
壓ニ堪ヘズ、疲弊困憊シテ居ル、即チ是等
ノ中產者ハ小額債務者ガ困フテ居ルト同ジ
ヤウナ苦痛裡ニアルノデアル、故ニ私ハド
ウシテモ此小額債務者ノミニ此苦痛ヲ與ヘ
ルト云フコトハ、理論上ニ於テモ非常ニ誤
レルモノデアルト思フノデアリマス

又先程一松君ハ色々ノ統計ヲ擧ゲテ述べ
ラレタノデアリマスルケレドモ、先程委員
長ガ報告セラレマシタ中ニアフタヤウニ、責
任アル政府ノ當局者ガ委員會ニ於テ吾々ニ
述ベラレタ所ハ、農村民ノ負債ハ自作農ハ千
五百圓、自他作農ハ千五十圓、小作農ハ五百
圓、此平均率が出テ居ルノデアル、之ニ依リテ
見ルコトモ決シテ間違タコトデハナインデア
ル、若シ果シテ政府ノ答ガ眞ナリストレバ、自
他作農千五十圓、自作農千五百圓ト云フ平
均負債ヲ持テ居ル人ハ、直チニ此第二條ノ適
用ヨリ除外サレルト云フ不當ナル立場ニアル
ノデハアリマセヌカ、又モウ一つノ例ヲ採
テ言ヘバ、若シ千圓ニ限ラレルナラバ、茲ニ
甲ナル者ガアフテ、其下ノa b cノ三人ニ各
千圓ヅ、ヲ貸シテ居ルト致シマス、此千圓
ヅ、ノ小額債權ハ勿論此法律ノ適用ヲ受ケテ
ア、調停法ノ強制調停ヲセラレルノデアル
バ、此三千圓ハ千圓ヲ超過スルノ理由ヲ以

テ、此調停法ノ適用ヲ受ケナインデアル、即チ此中間者、即チ所謂中產階級ガ下ノ借主カラ寄メラレ、上ノ三千圓ノ債權者カラハ壓迫セラレテ、其爲メ其力ヲ上ニ伸スコトガ出來ナイト云フ、不當ナル結果ニ到達スルノデアリマス、是ハ都會ニ於ケル所ノ中小商工業者間ニモ絶エズ起ル所デアラウト私ハ信シテ居ルノデアリマス、即チ小賣商ガ自分ノ下ニ色々ノ債務ヲ持テ居ル、是等ノ債務ハ小額ナル所以ヲ以テ此調停法ノ強制調停ヲ受ケルガ、其上ノ間屋カラ借りテ居ル所ノ千圓以上ノ負債ニ對シテハ、何等此恩惠ヲ受ケルコトガ出來ナイカラ、大ナル資本家ニ押付ケラレ、下ノ弱キ人々ハ吊下ガラレテ、サウシテ此憐ナル中產階級ト云フ者ハ寄メラレ抜クト云フノガ民政黨ノ案デアル

ト思。タ女ガ一番美人デアルト同ジダト言ハレタ、之ヲ以テ見マシテモ、如何ニ此第二條ノ金額ニ制限ヲ置クト云フコトガ不徹底デアリ、理論ニ遠ザカツテ居ルカト云フコトガオ分リダト思フ、即チ衡平ナル負債整理ガ出来ナイ案デアルト云フコトヲ、諸君ハ能ク、御承知アリタイト思フノデアリマス。

第二ハ代理人ノ問題デアリマス、此代理人ノ問題ニ付キマシテハ詳シク申ス必要モアリマセヌガ、既ニ第二條ニ於ケル金額ノ制限ヲ取去リマシテ、無制限ニ此法律ノ適用ヲ受ケルト云フコトニナリマスレバ、辯護士ヲ代理人ニスルト云フコトハ是ハ當然デアリマス、即チ普通ノ調停事件ニ於キマシテモ、辯護士ト云フ専門家ガ加ハブテ、此間ニ介在スルト云フコトハ、大體ノ場合ニ於テ當事者ニ事件ノ内容ヲ理解セシムルコトニ易ク、調停ガ極メテ仕易イノガ當然ノ事理デアリマス、而モ第八條ニ依リマシテ調停ガ成ラザル時ハ、殆ド強制的ノ裁判ヲ行ハレルノデアリマスカラ、素人ノミニ依テ最後ノ裁判ヲ與ヘサセルト云フコトハ沟ニ憂フベキコトデアリ、氣ノ毒ナコトデアルノデアリマス、故ニ専門家デアル所ノ辯護士ヲ加ヘルト云フコトハ、是ハ辯護士ノ職責ニ對シテモ當然ノコトデアリ、又職業保護ト云フコトニ對シテモ、當然ノ論斷ト言ハナケレバナラヌノデアリマス、國民同盟ノ諸君モヤハリ此辯護士ノ代理ト云フコトハ、吾々ト同一ノ意見ヲ持テ居ラレルノデアリマス、唯民政黨ガ初メノ意見ガ急ニト言ハレタコトガアルガ、其輔佐人ト云フコトニ民政黨ガ修正サレタト云フ所ヲ見ルト誠ニ肯ケル點ガアルノデアリマス

次ニハ第七條ノ擔保ノ問題デアリマス、即チ調停事件ノ繫屬スル裁判所ハ、申立ニ依テ決定ヲ以テ強制執行手續トカ、競賣法

ニ據ル競賣手續、或ハ破産申立ニ擔ル破產宣告ノ決定、一時此手續ヲ停止スルコトガ出來ルヤウニスルノガ宜イト思フ、調停ト云フコトガ片方ニ掛クタ時ニ於テハ、強制執行デアルトカ、競賣手續デアルトカ、破產宣告ノ決定ヲ一時停止シテ置クト云フコトハ、債務者保護ノ上カラ當然デアリマスカラ、是ハ何處迄モ置カナケレバナラヌト云フ吾々ハ考ヲ持シテ居ルノデアルガ、而モ是等ノ人々ニ擔保ヲ供セシメルト云フコトハ、債務者ヲ救フト云フ本法律ノ精神カラ云フテモ甚ダ酷デアル、斯ウ云フコトカラ色々議論ヲ致シマシタガ、若シサウ云フコトニナレバ、裁判所ハ殆ド悉ク是等ノ手續ノ停止ハシナイダラウト云フ話モ出テ、吾云フコトニシ、本則トシテハ擔保ヲ提供サセヌデモ、一方ニ調停ノ問題が起クタ時ニハ、差押ヘラレタ所ノ差押ノ手續、或ハ強制競賣、或ハ破産宣告ト云フコトヲ一時停止サセルト云フコトニ依テ、初メテ重疊ニ苦メル負債者ヲ救フコトガ出來ルノデアルト思フノデアリマス(拍手)

即チ、一時世界大戰以後ノ好景氣時代ニ物ノ値段ガ上^アテ、金ノ値打ト云フモノガ下^ルタ當時ニ於ケル金額ト、物ノ値ヲ下^ルゲラレテ金ノ値打ヲ上^ルガラタル今日トニ於ケルニ公平ナル雙方ノ瓦譲ニ依テ債務ヲ片付ケルト云フコトハ、是ハ寔ニ現在ノ窮迫セル時局ニ於テハ最モ私ハ大切ナルコトと思フノデアリマス(拍手)

而シテ其第八條ノ第二項ノ「機構」ト云フ言葉ト「存續」ト云フ言葉デアリマス、此第ニ項ノ「銀行其ノ他官廳ノ監督ヲ受ケテ金融業務ヲ取扱フ者ノ債權ニ付テハ其ノ業務ノ存續ヲ害スル虞アルトキハ前項ノ裁判ヲ爲スコトヲ得ズ」ト云フ、所謂銀行ヤトカ信託會社トカ云フモノヲ除外シタ規定ハ純理ヲ貫クナラバ、私一個人ノ意見トスレバコンナ條項ハ取去ルノガ當然デアルト思フ、何故ナラバ小額債權者即チ個人タル小額債權者ハ、債務者カラノ申立ニ依テ調停ニ應ジナケレバナラヌ、而モ資本ノ集團デアル所ノ銀行デアルトカ、信託デアルト云フヤウナ大キナ會社ハ、此調停法ノ適用ヲ受けナイデ、洒蛙々々トシテ居ラレルト云フコトハ、是ハ現在ノ國民思想カラ言ヒマシテケレドモ、色々ノ意見ガゴザイミシタ結果モ、大衆ヲ苦メナガラ而シテ資本家ヲ擁護スルト云フコトニナルノデアルカラ、是ハ私ハ當然除クベキ問題デアルト思ヒマシタニ

「機構」ト云フ言葉ヲ「存續」トシヨウト云フコトニ落著イタノデアリマス、所謂「機構」ト云フ言葉ハ極メテ「デリケート」ナ意味ヲト云フ言葉ハ政府内ノ新シイ人ガ、近來頻ニ譯語トシテ使ハレル言葉ヲ「ハイカラ」式ニ使ハレタノデアラウケレドモ「機構」ト云フ言葉ハ極メテ「デリケート」ナ意味ヲ持テ居ル、即チ「デリケート」ナ意味ヲ持テ居ルト云フコトハ、人ノ解釋ニ依テ本體ガ色々ニ變ルト云フコトニナリマス、苟モ一般大衆ノ基準トナルベキ法律ヲ、所

謂文學、藝術ナラバ別デアルガ、斯ウ云フ
ヤウナ妙ナ言葉ヲ使フト云フコトハ宜ンク
ナイ意味ヲ暖昧ニスル、ソヨデ「存續ヲ害ス
ル虞」即チ斯ウ云フ場合ニ銀行ガ之ヲヤレ
バ、非常ナル銀行ノ存否ニ影響シテ來ル、
存續ニ影響シテ來ルト云フ場合ニハ、此調
停法ヲ適用シナイト云フコトガ、是ガ國家
社會、一般財界ノ爲ニ必要デアルナラバ、
是ハ國家社會ノ爲ニ個人ノ利益ヲ蹂躪シナ
ケレバナラヌ、即チ國家ハ國家自身ノ存立ノ
爲ニ個人ノ權利ト云フモノヲ最小限度ニ侵
害スルト云フコトハ、是ハ已ムヲ得ナイコ
トデアルカラ、此場合ニハ小ノ虫ヲ殺シテ
大ノ虫ヲ活カスト云フコトニスルコトガ、
現在ノ社會ノ機構トシテハ當然デアラウト
云フコトデ、吾々ハ斯ウ云フ修正案ヲ出シ
タノデアリマス

テ居ルノデアリマスケレドモ、島田君ノ言ハレルヤウニ之ヲ直チニ行ハウト云フコトハ、如何ニモ急激ニ經濟機構ヲ害スコトニナリマスカラ、甚ダ是デモマダ不十分デアルケレドモ、今日ハ是デ行クヨリ致方ガナイノデ、之ニ贊成シタ所以デアリマス而モ裁判所ニ於テハ非常ニ事件ガ殖エルカラ到底九十万圓デハヤツテ行ケナイト云フ點ニ、非常ナ憂ヲ持テ居ラレルヤウデアリマスルガ、假令金額ガ無制限ニナリマシテモ、先程申シマシタヤウニ、小作ニ關スル問題、借地借家ニ關スル問題、商事調停ニ關スル問題、此種ノ事件、即チ今日裁判所デ扱テ居ル事件ガ此調停法ノ中ニ流込ンデ來ル、而モ先程一松君ノ述ベラレタ大正十五年カラ何年カニ合計五万七千幾ラト言ハレマシタガ、是等ノ事件モ調停法ノ中ニ流込ムカラ、ソレダケ減ルニ違ヒナイ、ソレハ固ヨリ全部流込ムトハ言ヘマセヌ、殖エテハ來ルデセウ、此調停法ノ事件ヲ含シテ總事件數ハ殖エテ來ルデアリマセウケレドモ、ソンナニ五百何十万圓ト云フ大豫算ヲ以テヤラナクトモ、立派ニ出來ルコトヲ私ハ斷言致シマス、若シ費用ガ足ラナケレバ豫備金ノ支出ヲシ、又ハ次ノ議會ニ追加豫算ヲ出セバ宜イデハアリマセヌカ、諸君、國家ノ非常時ニ當テハ獨逸ノ如キハ憲法デサヘ停止シテ居ル、况ヤ是ガ實體法ニ觸レルカラ區裁判所ノ判事ニヤラシテ現ニ借地借家ノ調停手續法ニ於キマシテハナラヌトカ、管轄ガ如何デアルトカ、此非常時ニ斯ウ云フ考ヲ持テ居ラレルニ至シテハ、全ク考ノ基調ガ私共トハ違テ居ル、メルノハ決シテ權衡ヲ失スルモノデハアリマセヌ

ムノデアリマス(拍手)井上君ハ是カラ意見
ヲ述ベラレマセウケレドモ、國民同盟ト云
フヤウナ政界ニ向テ新シキ氣運ヲ以テ立
タレタ所ノ政黨ガ、何故ニ理論ト實際ニ適
スル吾々ノ意見ニ贊同セラレナイカヲ私
ハ同黨ノ爲ニ甚ダ遺憾ニ思ハザルヲ得ナイ
ノデアリマス(拍手)何卒諸君方虛心坦懷ニ
私ノ述ブル所ヲ御理解下サレマシテ、此難
局ニ當リ、奮テ御賛同アランコトヲ切ニ御
願致シマス

何レモ「第八條」ト修正致スノデアリマス、是ハ矢張政友會ノ
改正案ト同一デ「存續」ト修正致スノデアリマス、
マス、尙ホ原案ノ第五條中ニ「第七條第二項」トアリマスノヲ「第八條第二項」第六條
第九條第十條中ノ「第七條」トアリマスノハ
是カラ私ノ説明ガ簡単デアリマスカラ暫
ク御清聽ヲ願ヒタイ第二條中ノ「小作料其
ノ他小作關係ヨリ生ジタルモノ及地代、家
賃其ノ他借地借家關係ヨリ生ジタルモノニ
付テハ此ノ限ニ在ラズ」之ヲ削除致シマシ
タ所以ノモノハ、色々此問題ニ付テハ議論
モアリマス、或ハ小作料トカ、借地借家料
トカ云フヤウナコトデアルト、内容ガ頗ル
複雜シテ居テ、到底調停ニ適セナイカラ、
ヤハリ是ハ除外例ニ存置シテ置イタ方ガ宜
イト云フ議論モアルヤウデアリマスガ、吾
吾ノ見ル所ニ依リマスト、若シ其調停ヲ求
メル内容ガ複雜シテ居ルモノデアレバ、第
五條ニ於キマシテ「事件ガ性質上調停ヲ爲
スニ適セズ又ハ当事者不當ノ目的ヲ以テ濫
ニ調停ノ申立ヲ爲シタリト認ムルトキハ裁
判所ハ決定ヲ以テ調停ノ申立ヲ却下ス」ト
云フ儼トシテ茲ニ一ツノ殆ド制裁條項トモ
謂フベキ規定ガ存シテ居ル、此規定ヲ適用
スルナルバ、如何ニ地代金或ハ家賃其他小
作料等ノ調停ヲ求メル其内容ガ複雜シテ
居タ雖モ、直チニ却下スルコトガ出來ル
ノデアル、其他極ク簡單ニ協調ノ出來ルモ
ノデアリマスルナラバ、其申立ヲ容レテヤ
ルコトガ、最モ私ハ現在ノ時局ニ即シタル
所ノ方法デアルト思フノデアル、而モ商事
調停ニ關シテハ是ハ除イテ居ル、唯借地借
家法ニ關スル、或ハ小作調停法ニ關スル分
現現在ノ非常時ニ於テハ最モ是等ノ種餘ガ多
大ケヲ除ク理由ハ那邊ニアルカ、私ハ殆ド
其立法ノ根據ヲ疑ハザルヲ得ヌ、故ニ私ハ
之ヲ削除スルコトガ最モ妥當ニシテ、而モ
イノデハアルマイカ、之ヲ此法律ニ於テ救
濟シテヤルデナケレバ、此法律ハ御承知ノ

通り只今私が修正致タシマシタ第七條ノ第一項ノ末項ニ「債務關係ノ變更ヲ命ズル」所ノ裁判モ出來ル、所方借地・借家調停法、處理法、竝小作調停法ニ於テハ、債務關係ノ變更ヲ命ズル所ノ裁判ヲスルコトガ出來ナイ、斯様ヲ得ベキ制度ノ下ニ調停ヲ致シテ貴フト云フコトガ、當事者ガ如何ニ利益ヲ其間ニ受ケルコトガ出來ルカト云フコトハ、多言ヲ要スルマデモナイト私ハ思フノデアリマス、故ニ此但書ヲ削除致シマシタ點ハ、先づ此位ノ程度ニ止メ置キマス

而シテ吾々ガ此千圓ノ原案ヲ認メマシタ所以ノモノハ、先刻一松君ヨリ議場ニ御報告ニナリマシタガ、私モヤハリ大正十五年以後五箇年ノ一千圓以上ノ地方裁判所ニ繫屬スル所ノ件數ノ調査ヲ致シタノデアリマス、是等ヲ見マスルト、假ニ其事件ノ平均額ノ三分ノ一ガ此調停ニ加ハルモノト致シマスルナラバ、昨日本院ヲ通過致シマシタ豫算ハ九十五万圓、サウシテ其内容ハ裁判所判事が百十五名、書記ガ四百六十六名ノ増員ニアリマシテ、是等ノ非常ニ増加スペキ調停案件、之ヲ目前ニ見ルナラバ、此豫算デハ到底圓滿ナル調停ヲスルコトガ出来ナイ、是等ヲ參照致シマシテ千圓ヲ認メタイノデアリマスガ、併シ千圓デハ私共ハ満足ハ出來ナイ、是ニ於テカ同條ノ第三項ハ「第一項ノ金額ヲ超加スル債務ニ付調停ノ申立アリタル場合ト雖モ」原案ハ「裁判所調停ヲ爲スヲ相當ト認メ且相手方ニ異議ナキトキニ於テノミ調停ガ千圓以上ハ出來ルノデアル(拍手)故ニ吾々ハ相手方ノ意見ヲ聽イテ、サウンシテ裁判所ノ自由裁量ノ下ニデアリマス(モウ分々タト呼フ者アリ)簡單ニヤル積リデアリマスガ、訥辯デアリマスカラ、暫ラク御辛抱ヲ願ヒマス——而シ

レ現在ノ農漁山村、中小商工業者、マダソ
レバカリデハアリマセヌガ、一口ニ言ヘバ
中產階級以下ノ者ヲ救フト云フ上ニ於テ、
私ハドウシテモ此除外例ヲ設クルノ必要ガ
アル、是レ即チ私共ガ相手方ノ意見ヲ聽イ
テ、裁判所ガ必要ト認メタル場合ニ於テハ、
之ヲ採用スルト云フコトニスルコトガ最モ
妥當ナリト信ジテ居ル者デアリマス、

而シテ其次ハ代理關係デアリマスガ、是
ハ私ハ多ク申ス必要ハナイ、故ニ之ヲ省略
致シマスルガ、兎ニ角調停ノ目的ヲ達成セ
シムル方法トシテ、最善ノ方法ヲ選ンダノ
ガ、ヤハリ政友會ノ主張ト同ジヤウデアリ
マス、少シ文句ガ違テ居ルヤウニ思ヒマ
スガ、兎ニ角其調停ノ目的ヲ達成スル上ニ於
テ、最モ適當ナル方法トシテハ、辯護士ヲ
シテ許可制度ニ依ラザル代理權ヲ認メタ所
以デアリマス、ソレカラ第七條第一項ノ「利
息、期限其ノ他」ノ文字ヲ削リマシタノハ、
此法文ニ依レバ「其ノ他債務關係ノ變更ヲ命
ズル裁判ヲ爲スコトヲ得」ト云フノデアリ
マスカラ、利息モ、期限モ、利益モヤハリ債
務關係トシテ、是ハ駄文蛇足デアルト存ジ
テ之ヲ削除シタノデアリマス、而シテ第七
條第二項ノ「業務ノ機構」是ハ委員長報告ノ
説明ヲ援用致シマシテ、私ハ之ヲ省略スル
コトニ致シマス、

以上ノ理由ニ依リマシテ、我が同盟ノ修
正案ハ最モ穩健ニ致シマシテ、而シテ國民
全體ガ大ニ歡迎スベキ修正案ナリト信ズル
ノデアリマス（拍手）滿場諸君ニ於カセラレ
マシテモ、何卒御賛成アランコトヲ切ニ御
願致シマス（拍手）

○議長（秋田清君） 討論ハ終局致シマシ
タ、採決ニ付キ一言致シマス、委員長報告
ト、一松定吉君提出ノ修正案、及井上剛一君
提出ノ修正案トノ間ニハ、共通ノ點モアリ
マスガ、便宜上各案ヲ各、不可分ノモノトシ
テ、各別ニ採決致シマス——採決ニ入りマ
ス、井上君提出ノ修正案ニ贊成ノ諸君ノ起

ニ依リ速ニ適切ナル處置ヲ爲スヘシ

〔大口喜六君登壇〕

○大口喜六君 政府提出、農村負債整理組合法案ニ付キマシテ、委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告致ンマス、當委員會ハ去ル二十八日ニ委員長並ニ理事ノ互選ヲ行ヒマシテ、委員長ニ私、理事ニ清瀬規矩雄君、佐竹直太郎君、西方利馬君、箸本太吉君、多田滿長君、岡田喜久治君ノ六君ガ御當選ニナリマシタ、然ルニ本委員會へハ本案ノ外ニ秦豐助君外二十三名提出ノ負債整理組合中央金庫法案ガ併託ニ相成テ居リマシタガ、極メテ是ガ本案ト密接ナル關係ヲ有シマスルモノデアルノデ、此兩案ヲ一括シテ議題トシタノデアリマス、隨テ勢ヒ此場合本案ニ關聯シマス點ハ、負債整理組合中央金庫法案ニ關シマシテモ、一通りハ御報告致シマスコトガ適當デアルト考ヘルノデアリマス、併シ質疑應答ハ極メテ多岐ニ亘テ居リマスノデ、其中ニ付キマシテ特ニ重要ナリト考ヘマスル數點ニ付キマシテノミ御報告スル考デアリマス

先づ政府提出ノ農村負債整理組合法案ニ付テ申シマスガ、此法案ニ付キマシテ殆ド

質問者全部カラ痛烈ニ繰返サレマシタノ

ハ、所要資金ノ額ト其供給方法トデアリマシタ、然ルニ政府ハソレニ對シマシテ、所

要資金ノ額ガ幾ラニナルカ其見積リハ付イ

テ居リマセヌ、隨テ必要ヲ認ムレバ、出來ルダケ預金部カラ低利資金ヲ出シタイト云

要デアルト云フトキニ、政府ノ低利資金ガ之ニ應ジ切レナイト云フ場合ニハ如何ニス

ル考デアルカト云フ質問ニ對シマシテ、政

合法案ニ付キマシテ、委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告致ンマス、當委員會ハ去ル二十日ニ委員長並ニ理事ノ互選ヲ行ヒマシテ、委員長ニ私、理事ニ清瀬規矩雄君、佐竹直太郎君、西方利馬君、箸本太吉君、多田滿長君、岡田喜久治君ノ六君ガ御當選ニナリマシタ、然ルニ本委員會へハ本案ノ外ニ秦豐助君外二十三名提出ノ負債整理組合中央金庫法案ガ併託ニ相成テ居リマシタガ、極メテ是ガ本案ト密接ナル關係ヲ有シマスルモノデアルノデ、此兩案ヲ一括シテ議題トシタノデアリマス、隨テ勢ヒ此場合本案ニ關聯シマス點ハ、負債整理組合中央金庫法案ニ關シマシテモ、一通りハ御報告致シマスコトガ適當デアルト考ヘルノデアリマス、併シ質疑應答ハ極メテ多岐ニ亘テ居リマスノデ、其中ニ付キマシテ特ニ重要ナリト考ヘマスル數點ニ付キマシテノミ御報告スル考デアリマス

方針ニ關シマシテ、斯ウ云フコトヲ答ヘラ

ト云フ所ニ、重點ヲ置イテ居リマス、又斯

ウ云フコトヲモ答ヘラレテ居リマス、堅實

シタ、サウシテサウ云フ場合ハ比較的確實

デアルト認ムル組合ニ對シテ、按分的ニ資

金ヲ出スコトニ外ハナイト云フ意味

ヲモ述ベラレテ居ルノデアリマス、隨テ委員諸

君カラハスル案ヲ提出シナガラ、果シテド

レダケノ組合ガ出來ルカ、ヤツテ見ナケレ

バ分ラナイ、ドレダケノ資金ヲ必要トスル

カ分ラヌト云フコトハ、實ニ不思議千萬デ

アルト云フ意味ノ質問ガ盛ニ起リマシタ

ガ、政府ハ唯前同様ノ答ヲ繰返ヘサレタノ

カ要ルト云フヤウナコトニ付テハ、マダ何

モ話ヲ受ケテ居ラヌ、併シ此法案ガ成立ヲ

シテ資金ノ融通ヲ必要トスル場合ハ、出來

得ル限リ預金部カラ利低資金ヲ出スコトハ

話合テ居ルト云フ意味ヲ答ヘラレタノデア

リマス、ソレカラ其資金供給ノ方法デアリ

マスガ、ソレニ付テ政府ノ答辯ハ、地方自

治體ニ府縣ヲ通ジテ貸與ヘルト云フノデア

リマシタガ、ソレデハ其都度先以テ府縣會

ノ議決ヲ要スルコトデアルノミナラズ、損

害ノアフタ場合ハヤハリ府縣ガ負ハネバナ

ラヌコトニナルノデアル、隨テ實行上ハ極

メテ困難ガ伴フモノデアルコトハ明確デア

ル、ソレニハドウシテモ金融上ノ中権機

要デアルト云フトキニ、政府ノ低利資金ガ

ナイカト云フ質問ガ、屢々繰返サレタノデ

アリマス

更ニ農林大臣ハ、此負債整理組合ノ根本方針ニ關シマシテ、斯ウ云フコトヲ答ヘラ

ト云フ所ニ、重點ヲ置イテ居リマス、又斯

ウ云フコトヲモ答ヘラレテ居リマス、堅實

シタ、サウシテサウ云フ場合ハ比較的確實

デアルト認ムル組合ニ對シテ、按分的ニ資

金ヲ出スコトニ外ハナイト云フ意味

ヲモ述ベラレテ居ルノデアリマス、隨テ委員諸

君カラハスル案ヲ提出シナガラ、果シテド

レダケノ組合ガ出來ルカ、ヤツテ見ナケレ

バ分ラナイ、ドレダケノ資金ヲ必要トスル

カ分ラヌト云フコトハ、實ニ不思議千萬デ

アルト云フ意味ノ質問ガ盛ニ起リマシタ

ガ、政府ハ唯前同様ノ答ヲ繰返ヘサレタノ

カ要ルト云フヤウナコトニ付テハ、マダ何

モ話ヲ受ケテ居ラヌ、併シ此法案ガ成立ヲ

シテ資金ノ融通ヲ必要トスル場合ハ、出來

得ル限リ預金部カラ利低資金ヲ出スコトハ

話合テ居ルト云フ意味ヲ答ヘラレタノデア

リマス、ソレカラ其資金供給ノ方法デアリ

マスガ、ソレニ付テ政府ノ答辯ハ、地方自

治體ニ府縣ヲ通ジテ貸與ヘルト云フノデア

リマシタガ、ソレデハ其都度先以テ府縣會

ノ議決ヲ要スルコトデアルノミナラズ、損

害ノアフタ場合ハヤハリ府縣ガ負ハネバナ

ラヌコトニナルノデアル、隨テ實行上ハ極

メテ困難ガ伴フモノデアルコトハ明確デア

ル、ソレニハドウシテモ金融上ノ中権機

要デアルト云フトキニ、政府ノ低利資金ガ

ナイカト云フ質問ガ、屢々繰返サレタノデ

アリマス

尙ほ且ツ富鐵ノ發行ヲ固執セラル、カト

シマシテハ更ニ他ニ適當ナ方法ガアッテモ、

ソレニ對シマシテ、此負債整理組合ノ目的

ヲ貫徹スル爲ニハ、ドウシテモ組合ニ對シ

テ利子ノ補給竝ニ其損失補償トシテ、或ル

程度ノ補助ヲ與ヘネバナラヌ、其財源トシ

テ他ニ方法ガナイト認メルカラ、此方法ヲ

選擇ブニ至ラノデアル、幸ニ政府ガ利子補

給ナリ、損失補償ナリヲスルト云フコトニナ

レバ、敢テ富鐵ヲ行ハネバナラヌト云フモ

ノデハナイトノ意見ヲ答ヘラレテ居リマ

ソレニ對シマシテ質問者諸君カラハ、此負

債整理ノ問題ハ、第六十二議會ニ於ケル時

局匡救決議中四大項目ノ一つデアル、隨ア

ソレニ對シマシテ質問者諸君カラハ、此負

或ハ其當リ籤ノ歩合ヲドノ位ニスルカ、尙

本當リ籤ノ額ヲドノ程度ニ決メテ行クカト

云フ點ニ付テハ、司法省トシテハマダ定ツ

タ研究ヲシテ居リマセヌ、此法案ニ依リマ

スレバ、何レソレ等ノ事情ハ勅令ヲ以テ御

定メニナルヤウデアルカラ、能ク其事情ヲ

承^クタ上^クナケネバ、今積極的ノ意見ハ述

ペラレヌト思ヒマス」ト、木村刑事局長ノ

述ベラレマシタ此答辯ノ全部ヲ司法大臣ハ

承認サレタノデアリマス（拍手）是ハ御参考

ニナラウト考ヘマシテ此場合申述ベマス

以上申述ベマシタ所ハ質疑應答中ノ一部

分デアリマスガ、質疑ハ昨日ヲ以テ終了ト

相成リマシテ、本日愈、討議ニ入^クタノデ

アリマス、討議ニ於キマシテ政友會ノ助川

啓四郎君、民政黨ノ高橋守平君、國民同盟

ノ後藤亮一君、此三君ヨリ各、修正意見方

提出ニナリマシタ、是ハ何レモ法文ノ各條

項ニ瓦ルモノデアリマシテ、頗ル複雜ニナッ

テ居リマス、隨^ク茲ニ一々ソレヲ申述ブル

コトヲ省キマスガ、其概要ヲ申述ベマスト、

助川君ノ案ハ、政府案ニ對シマシテ「農村負

債整理組合法」トアル其「農村」ノ二字ヲ削

リマシテ、此法案ヲ農村ノミニ限ラズ、一

般ニ適用サレルコト、シタノデアリマス、

ソレカラ政府案デハ組合ノ組織ヲ無限責任

ト致シテ居リマスガ、ソレヲ保證責任トス

ルコト出來ルヤウニシヨウト云フノデア

リマス、更ニ政府案ノ第二章ト致シマシテ、

中央金庫ニ關スル規定ヲ設ケタノデアリマ

ス、其中央金庫ニ關スル點ハ、大體ニ於テ

秦君外二十三名提出ノ案ニ一致致シテ居リ

マスガ、其中ニ於キマシテモ更ニ二三修正

サレタ點ガアリマス

高橋君提出ノ修正意見ハ政府案ノ無限責

任ヲヤハリ保證責任デモ宜イト云フコト、

シヨウト云フノデアリマシテ、其點ノ趣旨

ニ於キマシテハ助川君ノ意見ト一致スルヤ

ニ考ヘマス、又後藤君ノ修正意見ハヤハ

リ政府案ヘ中央金庫ニ關スル規定ヲ加ヘラ

レマシタノデ、其大體ハ助川君ノ案ト略、

一致シテ居リマスガ、籤札ヲ一箇年ニ限ル

ト云フヤウナ所ニ多少ノ相違ガアリマス、

又組合ノ組織ニ付キマシテハ無限責任ノ外

ニ保證責任、有限責任ヲモ加ヘタイト云フ

ノデ、保證責任ヲ加ヘルコトニ付キマシテ

ハ、政友會、民政黨案ト一致スルノデアリ

マス

ソコデ各修正案ヲ互ニ一ツモノト見マシ

テ採決致シマシタガ、高橋、後藤兩君ノ修

正案ハ少數否決サレマシタ、助川君ノ修

正案ハ多數ヲ以テ可決致サレタノデアリ

マス、何レ之ニ付キマシテハ其派ノ御方カ

ラ後ニ詳シク申述ベラレルコト、考ヘマス

カラ、是レ以上ハ私ハ申シマセヌ、此高橋

君ノ御希望ニ付キマシテハ、別ニ決議ヲ要

スルモノデアリマセヌカラ、採決致サナカ、

タノデアリマス

以上ヲ御報告ト致シマス（拍手）

○議長（秋田清君） 本案ノ委員長報告ハ修

正デアリマス、尙ホ松本忠雄君及後藤亮一

君ヨリ各々成規ニ據リ修正案ガ提出セラ

テ居リマス、故ニ便宜上討論ハ第二讀會ニ

於テ修正案ノ趣旨擇明ヲ聞キマシタル上

デ、之ヲ許可致シタイト思ヒマス、左様御

諒知ヲ乞ヒマス——本案ノ第二讀會ヲ開ク

ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼^ク者アリ〕

○議長（秋田清君） 御異議ナシト認マメ

ス、仍テ本案ハ第二讀會ヲ開クニ決シマシ

タ

○上田孝吉君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開

カレンコトヲ望ミマス

ス、仍テ本案ハ第二讀會ヲ開クニ決シマシ

タ

〔「異議ナシ」ト呼^ク者アリ〕

○議長（秋田清君） 御異議ナシト認マメ

ス、直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ議案全部

ヲ議題ト致シマス

農村負債整理組合法案 第二讀會

ト云フノデアリマス、提出者ノ説明ニ依リ

マスト、負債整理組合ノ事業遂行ノ爲ニハ

其中樞機關ガ必要デアルコトヲ認メルト云

ス、直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ議案全部

ヲ議題ト致シマス

農村負債整理組合法案

○議長（秋田清君） 此場合修正案ノ趣旨辯

テ云フ提案ノ趣意ト一致スルノデアリマス、

サウシテ富籤ニ對シマシテモ全然反對デハ

ナイガ、尠カラズ疑義ヲ有シテ居ルカラ、

テ政府ヲシテ十分調査ノ上發案セシメタイ

トノ意向ノヤウニ私ハ承知致シタノデアリ

マス、何レ之ニ付キマシテハ其派ノ御方カ

ラ後ニ詳シク申述ベラレルコト、考ヘマス

カラ、是レ以上ハ私ハ申シマセヌ、此高橋

君ノ御希望ニ付キマシテハ、別ニ決議ヲ要

スルモノデアリマセヌカラ、採決致サナカ、

タノデアリマス

〔松本忠雄君登壇〕

○松本忠雄君 今日農民トナク、商工業者

トナク、負債ノ重壓ニ苦シニ居ルコトハ最

早言語ヲ用キズシテ御互ニ最モ能ク知^フ

居ル所ノ事實デアリマス、此負債ノ重壓カ

ラ多數ノ惱メル者、苦メル者ヲ救フト云フ

コトヘ、今日ノ時局匡救ノ一つノ重要ナル

所ノ方法デアリ、且ツ此臨時議會ノ持ツ所ノ

大キナル使命ノツデアルコトハ申スマデ

モアリマセヌ、此方法ノツシテ政府ハ

本議會ニ農村負債整理組合法ヲ御提案ニ

ナツタノデアリマス、吾々ハ此政府ノ提案

ニ對シテ、只今大口委員長ヨリ極メテ明瞭

ニ御述ニナツタ、吾々民政黨ノ修正案、即チ

政府原案ノ第八條ニ保證責任ヲ認メルト云

フ所ノ修正案、更ニ吾々ハ希望意見トシテ

述ベタ所ノ四箇條ノ希望ノ意見ヲ附シテ政

府原案ニ賛成ノ意ヲ表シ、而シテ委員長報

告ニ反對ノ意ヲ表セントスル者デアリマ

ス、其中央金庫ニ關スル點ハ、大體ニ於テ

アリマス、困難デアリマスルガ、此困難ナ

問題ヲ成シ遂ゲル所ノ途ハ自ラ具^シテ居ル

ト信ジマス、其方法ノ第一ハ、此負債整理ノ爲ニ適當ナル機關ヲ作ルコトデアリマス、而シテ其第二ハ此作リ上ダタ機關ヲ適當ニ指導スルコトデアリマス、更ニ第四點ハ、此出來上ダタ機關ガ將來仕事ヲ爲シテ行ク上ニ於テ政府トシテ、地方トシテ適當ナル援助ヲ與ルト云フ所ノ途以外ニハ吾々ハナイコトヲ確信致スノデアリマス、而シテ政府ノ提案シタ農村負債整理組合法ハ此第一ノ機關ヲ具ヘル所ノ案デアリマス、吾々ハ政府ガ此負債整理ノ問題ノ爲ニ此機關ヲ具ヘヨウトスル其政策ニ對シテハ、滿腔ノ熱意ヲ擧ゲテ之ニ賛成スルニ吝カナラザル者デアリマス、此機關ノ出來タ上ニハ之ヲ適當ニ指導シ、誘掖スルト云フコトガ最モ重要ナル仕事デアリマスルガ、政府ハ此農村負債整理組合法ニ於テ、市町村ニ負債整理委員會ナルモノヲ設ケテ、此指導ノ途ヲツ開イテ居リマス、併シ吾々ハ是ノミヲ以テ足レリトスルノデハアリマセヌ、國ニ於テモ、地方ニ於テモ更ニ全國ノ有志家、有識者ガ御互ニ力ヲ添ヘテ、之ヲ指導スルコトガ急務デアルト確信シマス、斯ノ如クニシテ機關ガ具ハリ、指導ヲスル途ガ具ハテ、然ル後ニ之ニ資金ヲ提供スルコトガ必要デアリマス、所謂渠成^{シテ}水到ルノデアリマス、政府ノ此負債整理組合法ハ之ニ依テ渠ヲ成スノデアリマス、吾々ハ此出來上ダタ組合ニ對シテ政府カラ必要ナル所ノ低利資金ヲ供給スルコト、而モ其資金ハ最モ安イ利息デナデアリマス、吾々ハ此出來上ダタ組合ニ對ケレバナラナイト云フコトヲ主張スル者デ

アリマス、要求スル者デアリマス
是レ吾々ガ希望決議ノ第一ニ於テ資金ノ
融通ヲ要望シ、其第二項ニ於テ利率ノ低率
ナランコトヲ要求シタ所ノ所以デアリマス、
併ナガラ是ノミニ依テ負債整理ノ事業ヲ達
成セシメントシテモ、ソレハ望ンデ得ベカ
ラザル事デアリマス、此負債整理組合ガ將
來ニ於テ事業ヲ進メテ行ク上ニ、國トシテ
地方トシテ、之ニ對シテ相當ナル所ノ援助ヲ
ヲ與ヘルコトヲ要スル、即チ負債整理組合
ガ損失ヲ來シタ場合ニハ、國ニ於テ、或ハ
地方團體ニ於テ、之ニ適當ナル所ノ援助ヲ
與ヘルト云フコトガ必要デアリマス、是レ
吾々ガ希望條項ノ第三ニ於テ負債整理組合
ノ運用ヲ全クスル爲ニ、其組合ノ損失ニ對
シ補償ノ方法ヲ講ズル事ト云フ一項ヲ擧ゲ
タ所以デアリマス、此希望條項ヲ付シテ吾
吾ハ本案ニ贊我スル者デアリマス、吾
吾ハ斯ノ如クシテ政府ノ提案ニハ贊成致
スノデアリマスルガ、不幸ニシテ只今
委員長ヨリ報告セラレタル所ノ修正案ニ
向ツテハ反対セザルヲ得ナイノデアリマ
ス、吾々ガ此修正案ニ反対スルノ第一點
ハ、此政府ノ提案ノ農村負債整理組合
法ヲ改メテ、單ナル負債整理組合法トシテ、
之ヲ農村ト都市トニ共通セシメヨウトスル
コトガ、是レ吾々ノ反対セントスル所ノ第
一點デアリマス、吾々ハ今日都市ノ中小商工
業者、其他ガ負債ノ重壓ニ苦シニ居ル事ヲ
能ク知テ居リマス、吾々モ之ヲ救濟スル
途ノ最モ必要デアル事ヲ痛感スル一人デア
リマス、併ナガラ農村ノ負債整理ト都市生
活者ノ負債整理トハ、自ラ其途ヲ異ニ致サ
ナケレバナラヌノデアリマス(拍手)現ニ政
府ノ提案シタル所ノ農村負債整理組合法ハ、

隣保共助ノ精神ニ基イテ、農村ニ定住シテ居ル所ノ其居所ヲ變へナイ、其生活ノ本據ヲ變ヘナイ所ノ土ニ親シニデ居ル所ノ農民ノ負債ヲ整理スル事ヲ重要ナル所ノ目的トシテ居リマス、之ニ對シテ都會ニ生活スル所ノ人々ニ對シテハ、所謂同業共助ノ精神ニ則ラナケレバナラヌト云フコトヲ吾々ハ確信スルノデアリマス、隣保共助ノ精神ニ則テ整理シナケレバナラナイ農村民ノ負債ヲ同業共助ノ精神ニ則テ負債ヲ整理スペキ所ノ商工業者ノ負債ト同ジク、之ヲ同ジ型ノ中ニ入レルト云フコトガ、廳テハ其目的ヲ混同セシメ、此新ナル所ノ負債整理組合ノ事業ヲ混同セシメテ、其目的ヲ達スルコト能ハザルコトヲ吾々ハ恐レザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)現ニ吾々ハ此修正案ヲ見テ其感ヲ深ク致サナケレバナラヌノデアリマス、吾々ハ政友會ノ諸君方非常ナル御精勵ヲ以テ此法案ヲ修正セラレタル其努力ニ向テハ、敬意ヲ表スルニ吝カナラザル者デアリマス、併ナガラ此負債整理組合法ヲ修正スルニ當ツテ、第一條ニ依然トシテ隣保共助ノ精神ニ依ルト云フ政府案ノ眼目デアル此文字ヲ存シタ其事ガ、即チ同業共助ノ精神ニ則ルベキ所ノ商工業者ノ負債ヲ整理スルニ適當ナラズト云フ所ノ結論ヲ導キハシナイカト云フコトヲ吾々ハ第一ニ恐ル、ノデアリマス(拍手)更ニ又此政友會ノ修正案ノ條項第五條ヲ見レバ、或ハ部落ヲ單位トシ、或ハ町村ヲ單位トスルヤウナ精神ニ依テ此負債整理組合ヲ認メントスルコトハヤハリ其半面ニ於テ、農村ヲ中心トスル所ノ政府ノ立案ノ精神ヲ直チニ商工業者レテ居ルノデハナカラウカト感ゼザルヲ得

ナインデアリマス(拍手)殊ニ吾々農民ト、中小商工業者ノ負債ヲ同ジ機關ニ依テ、同ジヤウニ整理セントスル其事ガ、或ハ農民ノ爲ニ商工業者ヲ犠牲ニスルカ、或ハ商工業者ノ爲ニ農民ヲ犠牲トセザルカニ至ラザルナキヤヲ憂ヘルデアリマス「ノーノ」拍手)吾々ハ嘗テ農林省ノ分離ヲ最モ熱心ニ主張セラレタル所ノ政友會ノ諸君ガ、今此負債整理ノ問題ニ付テ、農林ト商工トヲ同ジク之ヲ合セントスル其態度ハ、大ナル矛盾ガアルト云フコトヲ指摘セザルヲ得ナイノデアリマス

次ニ吾々ハ此政友會ノ諸君ノ修正案ノ中ノ第二章、所謂中央金庫ノ設置其モノニ向テ反対セザルヲ得ナインデアリマス、吾々モ希望條項ノ第四點ニ於テ負債整理組合ノ事業遂行ノ爲ニハ一つノ中権機關ヲ設ケルト云フ所ノ主張ヲ明ニシテ居リマス、併ナガラ吾々ハ此政友會ノ修正案ニ擧ゲラレテアル所ノ此中央金庫ニ向テハ、反対セザルヲ得ナインデアリマス、何故ニ吾々ガ反對ヲシナケレバナラナイカト云フ所ノ理由ヲ茲ニ明ニ致シマス

吾々ガ中央金庫ニ反対致ンマスル所ノ第一點ハ、今日此負債整理組合ノ出來ル其時ニ、慌テ、中央金庫ヲ作ル必要ノナイト云フ點デアリマス(「ノーノ」拍手)此負債整理組合ガ出來テモ、負債整理組合ガ眞ニ仕事ヲ始メテ、眞ニ活動ヲ開始スルマデニハ、庫ヲ茲ニ設クルノ必要ハナインデアリマス、殊ニ此短期ナル所ノ臨時議會ニ、斯ノ如キ法案ヲ提出シテ、邊カニ慌テフタメイデアリマス、然ラバ今日何モ慌テ、中央金庫ヲ茲ニ設クルノ必要ハナインデアリマス

ス、嘗テ産業組合ガ出來テ、十分ナル効キ

ヲ始メテ、然ル後ニ政友會ノ諸君ガ提議シ

テ産業組合ノ中央金庫ヲ作ラレタト云フコ

トハ、吾々ノ記憶ニ今尙ホ新ナル所デアリ

マス(拍手)吾々ハ嘗テ政友會ノ諸君ガ産業

組合ノ活動期ニ入ッテ、其後ニ産業組合中央

金庫ヲ御作リニナシタト同ジヤウニ、此負

債整理組合ガ相當ナル仕事ヲ始メタ後ニ中

央金庫ヲ作ラレテモ、敢テ遲キニ失セズト

云フコトヲ確信致スノデアリマス(拍手起

リ發言スル者多シ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ
○松本忠雄君(續) 是レ吾々ガ中央金庫案ニ反對スル第一點デアリマスルガ、更ニ第

二點トシテ反對シナケレバナラナイコトヘ、

斯ノ如キ機關ヲ作ル場合ニハ、負債整理

組合、而シテ其中権機關タルベキ所ノ機關

トハ統一シタル意識聯絡アル所ノ精神ニ依

テ作ラレナケレバナラヌト云フコトデアリ

マス、負債整理組合法ハ政府之ヲ起草シ、

中央金庫法ハ政友會之ヲ起案シ、恰モ木ニ

竹ヲ接グヤウナ作リ方ニ依テ、吾々ハ此仕

事ヲ完全ニ爲シ遂ゲルコトハ出來ナイト確

信ヲ致ス(拍手)是レ吾々ガ此政友會ノ修正

案ニアル中央金庫法ニ向ッテ反對セザルヲ

得ナイ所ノ第二點デアリマス

更ニ吾々ガ此中央金庫法ニ對シテ反對致

シマス所ノ第三點ハ、此中央金庫ニ對スル

所ノ資金ノ募集、其他ノ活動ノヤリ方ニ付

整理事券若ハ割増金附債券ノ發行ヲ認メテ

居ルノデアリマス、中央金庫ハ其資金ノ調達方

法トシテ、出資額ノ二十倍ニ相當スル所ノ

整理債券若ハ割増金附債券ノ發行ヲ認メテ

居ルノデアリマス、吾々ハ此負債整理組合

中央金庫ガ拂込金ノ二十倍ニ相當スル所ノ

整理債券若クハ割増金付債券ヲ發行セント

ス、嘗テ産業組合ガ出來テ、十分ナル効キ

ヲ始メテ、然ル後ニ政友會ノ諸君ガ提議シ

テ産業組合ノ中央金庫ヲ作ラレタト云フコ

トハ、吾々ノ記憶ニ今尙ホ新ナル所デアリ

マス(拍手)吾々ハ嘗テ政友會ノ諸君ガ産業

組合ノ活動期ニ入ッテ、其後ニ産業組合中央

金庫ヲ御作リニナシタト同ジヤウニ、此負

債整理組合ガ相當ナル仕事ヲ始メタ後ニ中

央金庫ヲ作ラレテモ、敢テ遲キニ失セズト

云フコトヲ確信致スノデアリマス(拍手起

リ發言スル者多シ)

シテモ、果シテ斯ノ如キコトガ爲シ遂ゲ得

ラレルカドウカト云フコトニ對シテ、大ナ

ル疑問ヲ持タザルヲ得ナイノデアリマス

(拍手)今日勸業債券ノ發行額ハ、拂込資本

額ノ十倍ニ制限サレテ居ル所ノ實狀、而モ

其勸業債券ノ發行ニシテモ、今日ノ事情ニ

於テハ實際上ニ於テ爲スコト能ハザル所

ノ現狀ニ於テ、此負債整理組合ガ出資額ノ

二十倍ニ相當スル債券若クハ割増金付債券

ヲ發行セントシテモ、畢竟是ハ口ニ言フテ

而モ手ニ行フコト能ハザル結果ニ陥ルノデ

ハナカラウカト云フコトヲ憂慮スルノデア

リマス(拍手)

サレタト云フコトハ、速記錄ニ明瞭デアリ

マス

〔脱線〕「反対センガ爲メノ反対」ト呼

ヒ其他發言スル者多シ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——静肅ニ

○松本忠雄君(續) 民政黨内閣ガ、競馬法ヲ改正セントシタ時ニスラ、是ガ世道人心ニ影響ヲ與ヘルコトヲ憂慮セラレタ政友會

ノ諸君ガ、今日十万圓ノ賞金ヲ懸ケテ債券ヲ發行セントスルガ如キハ、世道人心ニ與ヘル影響更ニ大ナルモノアルコトヲ吾々ハ憂

ヘザルヲ得ナイノデアリマス、更ニ又吾々ハ一年ニ一億圓ノ富籤ヲ發行スルコトガ、日本ノ財界ニ與ヘル影響如何ヲモ思ヘザルヲ

得ナイノデアリマス、政友會ノ諸君ハ、郵便貯金ノ利子ヲ引下ゲ、我ガ日本ノ經濟界ニ付テヘ贊成致ス者デアリマスルガ、一方ニ低金利政策ニ導クト云フコトニ付テ、頗

ル御熱心ナル方々デアリマス、吾々ハ此點ニ付テヘ贊成致ス者デアリマスルガ、一方ニ郵便貯金ノ利息ヲ引下ゲタ、而シテ一方ニハ高イ利息ヲ以テ富籤ヲ發行シタト云

ニヤウナコトニナラバ……

〔發言スル者多シ〕

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——大石君注意シマス

○松本忠雄君(續) 諸君ノ主張スル低利金利政策ト逆行シ、日本ノ經濟界ニ一大悪影

ノ濱口内閣ガ、競馬法ノ改正ヲシタコトヲ

記憶シテ居リマス、其競馬法ノ改正ガ、射

撃心ヲ挑發シ、世道人心ニ惡影響ヲ與ヘル

憂ナシヤトシテ、此壇上ニ立テ論ゼラレ

タ其人ハ、政友會諸君其人達デハナカッタ

カ(ノー／＼)拍手)彼ノ五十九議會ニ於テ

競馬法ノ改正ニ賛成フシ、政友會ヲ代表シ

ヤウナ法律案ヲ出スコトハ、今將ニ負債ヲ

整理シテ、一方ニ負債ニ苦シム人間ヲ作ル

結果ニ陥ルト云フコトヲ吾々ハ憂慮致シマ

スルガ故ニ、敢テ此點ニ向ッテハ反対セザ

ルヲ得ナイノデアリマス(拍手)是ガ吾々ガ

政友會ノ此中央金庫法ニ反対スル所以デアリマスルガ、吾々ハ今日……

〔發言スル者多シ〕

○議長(秋田清君) 靜肅ニ

○松本忠雄君(續) 此負債整理ノ問題ニ付テ最後ニ一言シナケレバナラナイノデアリマス、世ノ中ノ一部ニハ、負債整理ニ付テハ借金棒引、若クハ借金棒引ニ近イヤウナ方法ニ依テ、之ヲ爲サナケレバナラナイト云フコトヲ主張セラル、所ノ人々ガアリマス、是等ノ論者ハ、債權者ノ利益ハ如何ニ躊躇シテモ構ハナイ、唯債務者ノ利益サハ圖レバ宜イト、斯様ニ主張セラル、ヤウ

ニ見エルノデアリマス、吾々ハ此借金棒引得ナインデアリマス、政友會ノ諸君ハ郵便貯金ノ利子ヲ引下ゲ、我ガ日本ノ經濟界ニ付テヘ贊成致ス者デアリマスルガ、一方ニ低金利政策ニ導クト云フコトニ付テ、頗

ル御熱心ナル方々デアリマス、吾々ハ此點ニ付テヘ贊成致ス者デアリマスルガ、一方ニ郵便貯金ノ利息ヲ引下ゲタ、而シテ一方ニハ高イ利息ヲ以テ富籤ヲ發行シタト云

ニヤウナコトニナラバ……

〔發言スル者多シ〕

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——大石君注意シマス

○松本忠雄君(續) 諸君ノ主張スル低利金利政策ト逆行シ、日本ノ經濟界ニ一大悪影

ノ濱口内閣ガ、競馬法ノ改正ヲシタコトヲ

記憶シテ居リマス、其競馬法ノ改正ガ、射

撃心ヲ挑發シ、世道人心ニ惡影響ヲ與ヘル

憂ナシヤトシテ、此壇上ニ立テ論ゼラレ

タ其人ハ、政友會諸君其人達デハナカッタ

カ(ノー／＼)拍手)彼ノ五十九議會ニ於テ

競馬法ノ改正ニ賛成フシ、政友會ヲ代表シ

ヤウナ法律案ヲ出スコトハ、今將ニ負債ヲ

整理シテ、一方ニ負債ニ苦シム人間ヲ作ル

結果ニ陥ルト云フコトヲ吾々ハ憂慮致シマ

スルガ故ニ、敢テ此點ニ向ッテハ反対セザ

ルヲ得ナイノデアリマス(拍手)是ガ吾々ガ

政友會ノ此中央金庫法ニ反対スル所以デアリマスルガ、吾々ハ今日……

〔發言スル者多シ〕

○議長(秋田清君) 靜肅ニ

○松本忠雄君(續) 此負債整理ノ問題ニ付テ最後ニ一言シナケレバナラナイノデアリマス、世ノ中ノ一部ニハ、負債整理ニ付テハ借金棒引、若クハ借金棒引ニ近イヤウナ方法ニ依テ、之ヲ爲サナケレバナラナイト云フコトヲ主張セラル、所ノ人々ガアリマス、是等ノ論者ハ、債權者ノ利益ハ如何ニ躊躇シテモ構ハナイ、唯債務者ノ利益サハ圖レバ宜イト、斯様ニ主張セラル、ヤウ

ニ見エルノデアリマス、吾々ハ此借金棒引得ナインデアリマス、政友會ノ諸君ハ郵便貯金ノ利子ヲ引下ゲ、我ガ日本ノ經濟界ニ付テヘ贊成致ス者デアリマスルガ、一方ニ低金利政策ニ導クト云フコトニ付テ、頗

ル御熱心ナル方々デアリマス、吾々ハ此點ニ付テヘ贊成致ス者デアリマスルガ、一方ニ郵便貯金ノ利息ヲ引下ゲタ、而シテ一方ニハ高イ利息ヲ以テ富籤ヲ發行シタト云

ニヤウナコトニナラバ……

〔發言スル者多シ〕

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——大石君注意シマス

○松本忠雄君(續) 諸君ノ主張スル低利金利政策ト逆行シ、日本ノ經濟界ニ一大悪影

ノ濱口内閣ガ、競馬法ノ改正ヲシタコトヲ

記憶シテ居リマス、其競馬法ノ改正ガ、射

撃心ヲ挑發シ、世道人心ニ惡影響ヲ與ヘル

憂ナシヤトシテ、此壇上ニ立テ論ゼラレ

タ其人ハ、政友會諸君其人達デハナカッタ

カ(ノー／＼)拍手)彼ノ五十九議會ニ於テ

競馬法ノ改正ニ賛成フシ、政友會ヲ代表シ

ヤウナ法律案ヲ出スコトハ、今將ニ負債ヲ

整理シテ、一方ニ負債ニ苦シム人間ヲ作ル

結果ニ陥ルト云フコトヲ吾々ハ憂慮致シマ

スルガ故ニ、敢テ此點ニ向ッテハ反対セザ

ルヲ得ナイノデアリマス(拍手)是ガ吾々ガ

政友會ノ此中央金庫法ニ反対スル所以デアリマスルガ、吾々ハ今日……

〔發言スル者多シ〕

○議長(秋田清君) 靜肅ニ

○松本忠雄君(續) 此負債整理ノ問題ニ付テ最後ニ一言シナケレバナラナイノデアリマス、世ノ中ノ一部ニハ、負債整理ニ付テハ借金棒引、若クハ借金棒引ニ近イヤウナ方法ニ依テ、之ヲ爲サナケレバナラナイト云フコトヲ主張セラル、所ノ人々ガアリマス、是等ノ論者ハ、債權者ノ利益ハ如何ニ躊躇シテモ構ハナイ、唯債務者ノ利益サハ圖レバ宜イト、斯様ニ主張セラル、ヤウ

ニ見エルノデアリマス、吾々ハ此借金棒引得ナインデアリマス、政友會ノ諸君ハ郵便貯金ノ利子ヲ引下ゲ、我ガ日本ノ經濟界ニ付テヘ贊成致ス者デアリマスルガ、一方ニ低金利政策ニ導クト云フコトニ付テ、頗

ル御熱心ナル方々デアリマス、吾々ハ此點ニ付テヘ贊成致ス者デアリマスルガ、一方ニ郵便貯金ノ利息ヲ引下ゲタ、而シテ一方ニハ高イ利息ヲ以テ富籤ヲ發行シタト云

ニヤウナコトニナラバ……

〔發言スル者多シ〕

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——大石君注意シマス

○松本忠雄君(續) 諸君ノ主張スル低利金利政策ト逆行シ、日本ノ經濟界ニ一大悪影

ノ濱口内閣ガ、競馬法ノ改正ヲシタコトヲ

記憶シテ居リマス、其競馬法ノ改正ガ、射

撃心ヲ挑發シ、世道人心ニ惡影響ヲ與ヘル

憂ナシヤトシテ、此壇上ニ立テ論ゼラレ

タ其人ハ、政友會諸君其人達デハナカッタ

カ(ノー／＼)拍手)彼ノ五十九議會ニ於テ

競馬法ノ改正ニ賛成フシ、政友會ヲ代表シ

ヤウナ法律案ヲ出スコトハ、今將ニ負債ヲ

整理シテ、一方ニ負債ニ苦シム人間ヲ作ル

結果ニ陥ルト云フコトヲ吾々ハ憂慮致シマ

スルガ故ニ、敢テ此點ニ向ッテハ反対セザ

ルヲ得ナイノデアリマス(拍手)是ガ吾々ガ

政友會ノ此中央金庫法ニ反対スル所以デアリマスルガ、吾々ハ今日……

〔發言スル者多シ〕

○議長(秋田清君) 靜肅ニ

○松本忠雄君(續) 此負債整理ノ問題ニ付テ最後ニ一言シナケレバナラナイノデアリマス、世ノ中ノ一部ニハ、負債整理ニ付テハ借金棒引、若クハ借金棒引ニ近イヤウナ方法ニ依テ、之ヲ爲サナケレバナラナイト云フコトヲ主張セラル、所ノ人々ガアリマス、是等ノ論者ハ、債權者ノ利益ハ如何ニ躊躇シテモ構ハナイ、唯債務者ノ利益サハ圖レバ宜イト、斯様ニ主張セラル、ヤウ

ニ見エルノデアリマス、吾々ハ此借金棒引得ナインデアリマス、政友會ノ諸君ハ郵便貯金ノ利子ヲ引下ゲ、我ガ日本ノ經濟界ニ付テヘ贊成致ス者デアリマスルガ、一方ニ低金利政策ニ導クト云フコトニ付テ、頗

ル御熱心ナル方々デアリマス、吾々ハ此點ニ付テヘ贊成致ス者デアリマスルガ、一方ニ郵便貯金ノ利息ヲ引下ゲタ、而シテ一方ニハ高イ利息ヲ以テ富籤ヲ發行シタト云

ニヤウナコトニナラバ……

〔發言スル者多シ〕

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——大石君注意シマス

○松本忠雄君(續) 諸君ノ主張スル低利金利政策ト逆行シ、日本ノ經濟界ニ一大悪影

ノ濱口内閣ガ、競馬法ノ改正ヲシタコトヲ

記憶シテ居リマス、其競馬法ノ改正ガ、射

撃心ヲ挑發シ、世道人心ニ惡影響ヲ與ヘル

憂ナシヤトシテ、此壇上ニ立テ論ゼラレ

タ其人ハ、政友會諸君其人達デハナカッタ

カ(ノー／＼)拍手)彼ノ五十九議會ニ於テ

競馬法ノ改正ニ賛成フシ、政友會ヲ代表シ

ヤウナ法律案ヲ出スコトハ、今將ニ負債ヲ

整理シテ、一方ニ負債ニ苦シム人間ヲ作ル

結果ニ陥ルト云フコトヲ吾々ハ憂慮致シマ

スルガ故ニ、敢テ此點ニ向ッテハ反対セザ

ルヲ得ナイノデアリマス(拍手)是ガ吾々ガ

政友會ノ此中央金庫法ニ反対スル所以デアリマスルガ、吾々ハ今日……

〔發言スル者多シ〕

○議長(秋田清君) 靜肅ニ

○松本忠雄君(續) 此負債整理ノ問題ニ付テ最後ニ一言シナケレバナラナイノデアリマス、世ノ中ノ一部ニハ、負債整理ニ付テハ借金棒引、若クハ借金棒引ニ近イヤウナ方法ニ依テ、之ヲ爲サナケレバナラナイト云フコトヲ主張セラル、所ノ人々ガアリマス、是等ノ論者ハ、債權者ノ利益ハ如何ニ躊躇シテモ構ハナイ、唯債務者ノ利益サハ圖レバ宜イト、斯様ニ主張セラル、ヤウ

ニ見エルノデアリマス、吾々ハ此借金棒引得ナインデアリマス、政友會ノ諸君ハ郵便貯金ノ利子ヲ引下ゲ、我ガ日本ノ經濟界ニ付テヘ贊成致ス者デアリマスルガ、一方ニ低金利政策ニ導クト云フコトニ付テ、頗

ル御熱心ナル方々デアリマス、吾々ハ此點ニ付テヘ贊成致ス者デアリマスルガ、一方ニ郵便貯金ノ利息ヲ引下ゲタ、而シテ一方ニハ高イ利息ヲ以テ富籤ヲ發行シタト云

ニヤウナコトニナラバ……

〔發言スル者多シ〕

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——大石君注意シマス

○松本忠雄君(續) 諸君ノ主張スル低利金利政策ト逆行シ、日本ノ經濟界ニ一大悪影

ノ濱口内閣ガ、競馬法ノ改正ヲシタコトヲ

心ヲ買ウテ、而モ其實質ニ於テハ何等ノ結果ヲ齎ラスコトノ出來ナイヤウナ此委員長

報告第二對シテノ全然之ニ反對シ進ニ
デ政府ノ提案ヲ或ル修正ノ下ニ維持セント
スル、是レ吾々ノ主張デアリマス（拍手）

卷之三

〔此川啓四良君登壇〕

○助川啓四郎君 財界ノ不況ハ洵ニ甚シキモノガアリマシテ、農村其他ニ於テハ負債ノ重壓ニ苦シミ、中小農商工業者ハ、是ガ爲ニ言フニ忍ビザル難澁ヲ致シテ居ルノデアリマス、思フニ負債ノ整理ヲ致シマスルコトハ、精神的ニモ經濟的ニモ、自力ヲ更生ノ力ヲ作ラシムルモノデアラウト思フノデアリマス、負債ノ桎梏ニ身動キナラズ者ニ對シマシテ、自力更生ヲ説キ、生活ノ改善、產業ノ合理化ヲ説キマスルコトハ、恰レト説クト同ジヤウナモノデアリマシテ、餘リニ無理ナコトダツ申サナケレバナリマセヌ、或ハ高物價政策ニ依リマシテ、又景氣ガ恢復致シマスレバ、自カラ負債ノ重壓タモノモ取ルコトガ出來ナイ、借りタモノハ解消セラレルノデアルト申サル、方々モアルノデアリマスガ、思フニ今日ハ、貸シタモノモ取ルコトガ出來ナイ、借りタモノナケレバナラナイト云フヤウナコトモアリルノデアリマシテ、負債ノアリマスル者モ、此負債ノ爲ニ父祖傳來ノ田畠ヲ人手ニ渡サナ氣遣モナイノデアリマス、即チ今日ハ危ドウニモ斯ウニモ動キノ付カナイ狀態ニアリマセズ、又佳ミ慣レタ家屋敷ヲ振り捨テヽ、他郷ニ流浪シナケレバナラナイト云フヤウナケレバナラナイト云フヤウナコトモアリルヲ孕ンダ安靜状態トモ申シマセウカ、農

村ノ機構ガ破壊セラレントスルガ如キ状態ニナッテ居ルノデアリマス、然ルニ債権者ハ景氣ノ恢復ヲ鶴首シテ待ツテ居ルノデアリマシテ、購買力ノ恢復ヲ待ツテ抵當物權ノ處分ヲショウト、其日ヲ待テ居ルノデアリマス、負債ヲ持ツテ居リマス者ハ、一昨年ノ期日ノ來タモノモ之ヲ借替ヘルコトガ出来ナイデ居ルノデアリマス、又去年ノ期日ノモノモ之ヲ借替ヘルコトガ出来ナイデ居ルノデアリマス、又去年ノ期日ノモノモ之ヲ借替ヘルコトガ出来ナイデ居ルノデアリマシテ、澤山ノ負債ヘ悉ク返済期日ヲ過ギテ、猶豫相成リ兼ネル状態ニアルノデアリマス、一朝景氣ガ恢復シテ参リマシテ、其際直チニ債権者ガ債権ノ整理ヲスルト云フコトニナリマシタナラバ、我國ノ農村ノ中小農業者ハ、全ク此債権整理ノ爲ニ將棋倒シニナルデアラウコトヲ吾々ハ心配致スノデアリマシテ、即チ此時コソガ眞ノ農村ノ危機ト呼バル、時デアリマシテ、私ハ此場合負債整理ノ爲ニ、大ナル決心ヲ以テ、徹底のノ計畫ヲ樹ツルコトガ必要デアルト思フノデアリマス、即チ吾々ハ好景氣策ヲ樹テマルト相茲ンデ、是ト同一ノ重要サヲ以テ、負債整理ノ計畫ガ樹テラレナケレバナラナイト考ヘテ居ルノデアリマス、然ルニ負債整理ニ對スル政府ノ爲サントスル所ヲ見マスルニ、僅カニ負債整理組合法ヲ制定致シマシテ、僅カニ豫算ヲ計上シテ、負債整理委員會ニ補助シヨウト云フノガ、現政府ノ爲サントスル施設ノ總體アルノデアリマス、負債整理法ノ制定ニ對シマシテハ、低利資金ノ準備モアリマセズ、又利子補給、損失補償ニ對シテハ、何等ノ用意ヲ持ツテ居ナイノデアリマス、

モノデアルト申サナケレバナラナイノデアリマス(拍手)農林大臣ハ、追々様子ヲ見テ、資金ノ都合ヲ付ケヤウト申サレテ居ルノデアリマス、總理大臣ハ、負債整理組合ハ隣邦ノ問題デアルト、斯様ニ申サレテ居ルノデアリマス、又大藏大臣ハ、負債整理組合ヲ設ケルコトハ、負債整理ノ指導ヲ爲サントルモノデアル、斯様ニ申サレテ居ルノデアリマス、政府ノ意ノ在ル所ハ、吾々ノ志トハ天地審壤ノ隔リガアリ、國民ノ期待ヲ裏切ルコト甚ダシキモノガアルコトヲ知リマシテハ洵ニ驚キ入フタノデアリマス、茲ニ於テ吾々ハ、修正案ヲ提出スルノ已ムヲ得ザルニ立至タノデアリマス、六十二議會ニ於キマシテ、本院ハ全會一致ヲ以テ、政府ガ大ナル決意ヲ以テ負債整理ヲ爲ベシトノ決議ヲ致シタノデアリマス、サウシテ政府ハ之ヲ諒承サレタノデアリマスガ、吾々ノ修正ハ、政府ノ諒承シタル此院議ヲ、政府ヲシテ實行セシメントスルノ外、他意ガ無イノデアリマス、斯ノ如クシテ又灼熱セル國民ノ要望ニ副ヒ得ル所以ノモノデアルト信ズルノデアリマス、修正ノ事項ニ付キマシテハ、委員長カラ詳細御報告ガアツタノデアリマスガ、其最モ大ナルモノハ、負債整理組合ノ中権機關トシテ、中央金庫ヲ設ケヨウト云フノガ、其最モ主張トスル點デアルノデアリマス、此中央金庫ヲ設ケント致シマスノハ、第一ニ政府ハ只今申上ゲタヤウニ、負債整理ニ關シテ何等ノ資金ノ準備ガ無イノデアリマス、ソレデハ負債整理組合ノ活動ハ出來ズ、負債整理ノ出來

得ル筈ハナノニアリマシテ、中央金庫ヲ設ケテ、負債資金ノ調達融通ヲシヨウト云フノガ、第一デアルノニアリマシテ、第二ハ、負債整理組合ニ對シテ利子ノ補給、損失補償ノ途ヲ講ジタイト考ヘテ居ルノアリマス、負債整理ノ資金ニ對シマシテ、何等ノ準備ノ無イ政府ニ於キマシテハ、利子補給、損失補償等ニ付テハ、勿論何等ノ心掛モナイノニアリマス、私ハ此利子補給、損失補償ガナクシテ、農村其他ノ負債ノ整理ヲスルト云フコトハ、到底是ハ望ンデ出来得ナイ所デアル、斯様ニ思フノニアリマシテ、吾々ハ茲ニ中央金庫ヲ設ケマシテ、負債整理ニ對スル資金ヲ調達スル、更ニ利子補給、損失補償ノ途ヲ講ズル、即チ負債整理ニ關スル機關ノ整備ヲ圖リ、而シテ徹底的ナ負債整理ノ計畫、負債整理ノ施設ヲ致シタイト考ヘテ居ルノニアリマス、此吾吾ノ計畫ニ對シマシテ、吾々ノ修正案ニ對シマシテ、只今松本君カラ反駁ノ御意見ガアツタノニアリマスガ、吾々ハ松本君ノ反對意見ニ對シテ同意ヲスル譯ニハ行カナイノデアリマス、松本君ハ、本案ハ隣保團結ノ精神ヲ以テ編成サレタ法律デアルガ、之ニ對シテ農村ノミニ限ラズニ、市町村モ之ヲ含メヤウトスルノハ、立法ノ精神ニ伴テ居ナイカノヤウニ申サレテ居タノニアリマスガ、私共ハ都市ノ商工業者ニ、隣保共助ノ精神ガアツテナラナイトヘ考ヘラレリマスガ、私共ハ都市ノ商工業者ニ、隣保共助ノ精神ガアツテナラナイトヘ考ヘラレクシ、中小商工業者ニ對スル負債ノ整理モ必要デアルト致シマシテ、六十二議會ニ之

ヲ政府ニ要望致シタノデアリマスガ、此度ノ議會ニ、中小商工業者ニ對スル負債整理ニ付テハ、何等ノ途ガ政府デハ計畫サレテ居ナイノデアリマス、斯カル場合ニ於テ、此法律ノ上ニ中小商工業者モ認メ、等シク此恩典ニ浴セシメタイト考ヘルコトハ、蓋シ當然ノコト、思フノデアリマス(拍手)

更ニ此農村ノミト限定致ス時ハ、地方小都市ノ商工業者モ、此恩典ニ與カルコトガ出來得ナイノデアリマスガ、私共ハ地方小都市ニ於テ、神社ヲ中心トシ、或ハ佛閣ヲ中心トシテ、報徳社其他ノ名前ニ於テ、現在負債整理ニ極メテ良好ナル成績ヲ擧ゲテ居ルモノヲ聞イテ居ルノデアリマス、政府ノ提案ノ如クニ致シマスレバ是等ノ地方小都市ニ於テ、現在良好ナル成績ヲ收メテ居ルモノモ、此法律ノ上カラ認メ得ラレナイト云フヤウナ結果ニナルノデアリマス、吾吾ハ此意味ヨリ致シマシテ、故ラニ「農村」ノ二字ヲ付ケテ置クト云フコトノ不合理ヲ考ヘテ、之ヲ削除致シタノデアリマス(拍手)又松本君ハ、産業組合中央金庫ガ後カラ生レタヤウニ、負債整理組合中央金庫ノ御意見デア、タノデアリマスガ、現在ノ如ク資金ハ一文ノ準備モ出來テ居ナイ、又利子補給、損失補償ノ計畫モナイヤウナ狀態デ、果シテ負債整理組合ガ澤山ニ出來ルデ

アリマセウカ、吾々ハ負債整理組合ヲ作ルガ爲ニ、茲ニ資金ノ準備ガ必要デアル、利子補給、損失補償ノ計畫ガ必要デアル、利ダケノ金ヲ準備シテ、斯クノ如ク利子ヲ補給シ、損失ヲ補償スル、サウシテ全國民ニ呼ビ掛ケテ、サウシテ徹底ニ負債整理ノ計畫ヲ樹テヤウト云フノガ吾々ノ考デアルノデアリマス、資金ノ準備モシナイ、利子補給、損失補償ノ準備モシナイ、サウシテ居テ負債整理組合ガ出來タナラバ、ソレカラ後ニ中央金庫ヲ持ヘテ、サウシテ松本君ノ言ハレル所ニ依レバ、其中央金庫ハ資金ノ調達、利子補給、損失補償ノ仕事ヲヤルンダ、斯ンナ馬鹿氣タ、アベコベノ考ハナルモノモ、此法律ノ上カラ認メ得ラレナイト云フヤウナノデアリマス(拍手)又松本君ハ、此法律ハ政府デ作タモノダ、サウシテ中央金庫ハ政友會デ編シダモノデアリダヤウタノデアリマスガ、私ハ左様ニ考ヘテ、之ヲ削除致シタノデアリマス、即チ國家ノ意思機關デアル此立法府ニ於テ、法律ハ決定サレルノデアリマシテ、此方ノ分ハ政府ノ分、此方ノ分ハ政友會ト云フヤウハ、一つノ法律ニ木ト竹ヲ接ガルト云フヤウナコトハ、蓋シ當然ナコトデアルト私ハ思フノデアリマス(拍手)

富籤ノコトニ付テ色々御話ガアッタノデアリマスガ、大部分ハ私ノ私案ニ對スル御批評デア、タノデアリマス、先達テ私ガ自分ノ私案デモ話セト言ハレタノデ、最高限度ノ場合ノ私案ヲ申上げタノデアリマスガ、私ノ私案デアリマシテ、政友會ノ當局ニ於キモナク、又此法案ノ實施ノ上ニ何等約束スルノ必要ガナカラウト思フノデアリマス、尙吾々ハ此富籤ノ案ヲ取ルニ付キマシテ、松本君ノ言ハル、ヤウナ、ソンナ輕卒ナ考カラ起キタノデハナイノデアリマスガ、併シ負債整理組合中央金庫ハ、吾々ノ考ト致シマシテハ、保證責任ノ組合デアルノデアリマス、隨テ有限責任ノ、他ノ法人ト同一ニ律スルコトハ誤テ居ル、殊ニ負債整理組合中央金庫ノ資金ノ融通ヲ致シマスノハ、此負債整理組合ニ限ルノデアリマシテ、此負債整理組合モ、無限責任又ハ保證責任ノ法人デアルノデアリマスカ、既ニソレ自身ガ保證責任デアル、貸付スル相手方ガ保證責任若クハ無限責任デアル、斯様ニ於キマシテ勸業銀行或ハ興業銀行等ノ倍ノ、二十倍ノ債券ヲ發行セシムルト云フコトハ、蓋シ當然ナコトデアルト私ハ思フノデアリマス(拍手)

富籤ノコトニ付テ色々御話ガアッタノデアリマスガ、大部分ハ私ノ私案ニ對スル御批評デア、タノデアリマス、先達テ私ガ自分ノ私案デモ話セト言ハレタノデ、最高限度ノ場合ノ私案ヲ申上げタノデアリマスガ、私ノ私案デアリマシテ、政友會ノ當局ニ於キモナク、又此法案ノ實施ノ上ニ何等約束スルノ必要ガナカラウト思フノデアリマス、尙吾々ハ此富籤ノ案ヲ取ルニ付キマシテ、松本君ノ言ハル、ヤウナ、ソンナ輕卒ナ考カラ起キタノデハナイノデアリマスガ、私ノ私案デアリマシテ、政友會ノ當局ニ付キマシテ、松本君ノ言ハル、ヤウナ、ソンナ輕卒ナ考カラ起キタノデハナイノデアリマスガ、私ノ私案デアリマシテ、此度ノ修正案ヲ提出シタノデアル次第デアリマス、吾々其事ニ對シテハ故ラニ此席上ニ於テ論議ヲ

ハ今日ヲ以テ非常ノ場合デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、更ニ農村其他ノ負債ノ整理ノ爲ニハ、尋常一樣ノ月並ノ考デハ、到底其目的ヲ達成スルコトガ出來ナイ、此際非常手段ニ訴フルモ已ムヲ得ナイト私共ハ信ジテ居ルノデアリマス（拍手）農村其他ニ於ケル負債ノ整理ハ利子ノ補給、損失ノ補償ガナクテハ徹底的ニ之ヲ整理スルコトガ出來得ナイノデアリマス、而シテ是ノ財源ヲ何處ニモ求ムルコトガ出來得ナイト致ニ向ッテ反対サル、方々ハ、要スルニ尋常平時ノ心事ヲ以テ今日ヲ眺メ、農村ヲ律セントスルモノデアリマシテ、吾々トハ甚シク認識ヲ異ニ致シテ居ルモノト申サナケレバナルノ整理ガ喫緊重大ナル性質ヲ有スルモノデアルト云フコトヲ申述べマシテ、賛成ノ意ヲ表スル次第デアリマス（拍手）

ニシタイト考ヘマス(拍手)長イノデアリマスルカラ、修正案ハ讀ミマセヌ、唯、要點ノ二三點ヲ申シマスレバ、農村負債整理組合法トアリマスル點モ、政友會案ト同ジク農村ノ二字ヲ取リマシテ、負債整理組合法致シタノデアリマス(拍手)唯、其表題ニ於テ、負債整理組合竝ニ負債整理組合中央金庫法ト致シタノデゴザイマス、此點ハ政友會ニ於キマシテハ、唯、負債整理組合法トアリマスノデ、是デモ明カデアリマスルガ、此點ハヘキリト負債整理組合竝ニ負債整理組合中央金庫法ト致シタ方ガ、ヘキリスルモノデアルトス様ニ信ジテ居ルノデアリマス(拍手)

ト及其場合ガ、今日ノ如キ非常時デアルト
云フコトヽ、其方法等宜シキヲ得タナラバ
必ズシモ吾々ハ反対スペキモノデナイト云
フ主張ヲ有ツテ居リマス(拍手)ケレドモ
此場合、吾々ハ尙ホソコニ一黠ノ疑義ヲ持
チマシテ、單ナル富籤ヲ發行スル程度デア
ルカドウカト云フ黠ニ對シテ、寧ロ富籤附
債券トノミ致シタ方ガ妥當デナイカト云フ
見地ヨリ、富籤附債券ヲノミ採用致シタノ
デアリマス、是等ノ黠ガ大體ニ於テ政友會
ト異ツテ居ル黠デアリマシテ、其他ハ大同
小異デアルノデアリマス、唯吾々ガ此修正
案ヲ提出シ、吾々ノ茲ニ至ル迄ノ主張ノ經
過ヲ極ク簡單ニ申述べテ見タイト思ヒマス

ニシテヤルト云フコトガ、此議會ノ使命デアルトマデ、私申シテ差支ナイカト考ヘラレマス(拍手)然ルニ若シモ此重大ナル所ノ目的ガ達セラレナイト云フコトデアリマシタナラバ、ソレハ甚シキ國民ノ不幸デアルノミナラズ、更ニ國民ガ一層ノ失望落胆ヲスルモノナリト確信スル者デアリマス(拍手)然ルニ政府ノ提出致シマシタル所ノ農村負債整理組合法ヲ檢討シテ見マスレバ、吾々ノ期待ハ盡ク裏切ラレテ居ルノデアリマス(拍手)平當時ニ於キマシテハ、或ハ事務的ニ唯頭デノミ總テノ對策ガ作ラレバ、ベ宜イノカモ分リマセヌ、併ナガラ今日ノ如き非常時ノ匡救ヲ目的トシテ居ル場合ノ政府

次ニ修正ノ箇所へ第八條デアリマス、第
八條ノ責任ノ點デアリマスルガ、政友會案
モ民政黨案モ共ニ無限責任ノ外ニ保證責任
ヲ併セ用ヒテ居ラレルノデアリマスルガ、
吾々ハ現在ノ產業組合法ガ用ヒテ居リマス
ル如ク、各其好イ所ニ從テ之ヲ採用ス
レバ宜イト云フ見地カラ、無限責任、有限
責任、保證責任ノ三ツヲ併セ採用シタノデ
アリマス(拍手)
其次ニ富籤ノ點ニ付テ一言致シマス、吾
ノ案ニ於キマシテハ、單ニ富籤附債券ト
云フコトニ致シタノデアリマスルガ、政友
會ノ單ナル富籤發行ト云フコトニ對シテ
モ、必デシモ吾々ハ反對スル者デハナイノ
デアリマス、ソレハ之ヲ使用スル所ノ目的

(拍手) 今日ノ議會ハ申ス迄モナク、農村及中小商工業者ノ窮迫セル此窮狀ヲ、拙速ニ救濟スルト云フコトガ、此議會ノ大ナル使命アルコト申迄モナイノデアリマス(拍手)而シテ此議會ノ目標ト致シマスル所ハ、前議會ニ於キマシテ、大體本院ガ決議致シテ民ルノデ明カデアリマス、然ルニ今回政府ノ提案致シマシタ所ノ諸案件ヲ檢討シテ見ズルニ、殆ド吾々ガ前議會ニ於テ議決致シマシタル所ノ其目的ヲ、多少トモ満足サセテ呉レテル所ノモノガ殆ドナカッタ申シテモ過言デハナカラウト存ジマス、或ル意性ニ於キマシテハ、本議會ハ國民ノ窮迫セル状態ニアル此負債整理ヲバ、最モ有效適切

ノ政策ハ、頭デノミ單ニ事務的ニ作ルト云
フコトデハ、逆モ碌ナ對策ガ出來ルモノト
ハ考ヘラレナイノデアリマス(拍手)飽クマ
デ腹デ大膽ニ作ルニアラズンバ、或ハ多少
ノ後ニ於ケル非難ヲ顧慮スルガ如キニ於テ
ハ、到底此非常時對策ヲ作ルコトハ困難デ
アルト、私ハ考ヘテ居ルノデアリマス(拍
手)瀕死ノ病人ニ會ヒマシテハ、思ヒ切ツ
劇藥ノ注射ヲシナケレバ、蘇生ヲ致サナイ
ノデアリマス、甚ダ僭越ナ言葉デアルカ知
リマセヌガ、現内閣ハ此非常時ノ對策ヲ遂
行スベキ使命ヲ負フタノデ、變態ナガラ姑
ニ成立ヲ致シタノデアリマス、然ルニ若シ
モ此非常時ノ對策、殊ニ一番中心トナフテ
居リマス所ノ、國民負債ノ整理ヲスルコト

シク意義ヲ減殺スルモノト考ヘルノデアリ
マス、政府提案ノ負債整理組合ヲ一言ニシ
テ批評致シマスレバ、形體ハ備ヘテ居ルケ
レドモ、更ニ生命ノ通フテ居ラナイ案デア
ルト申シテモ、必シモ獨斷デナイト考ヘマ
ス（拍手）第一ニ政府ガ自力更生ノ見地力
ラ隣保共助ノ趣旨ヲ中心トシテ此組合ノ組
織ニ成功セント致シテ居ルノデアリマスル
ガ、隣保共助ト云フ精神ハ吾々モ同感デア
リマス、併ナガラ單ナル隣保共助ハ、其言
フ事ヤ善シ、其行フ事ヤ難シト云フコトヲ
考ヘナケレバナラヌノデアリマス（拍手）極
ク少數ナル特殊ノ人ヲ除キマシテハ、昔カ
ラサウ申シテ居リマス、恆產無キ者恆心無
シ、衣食足フテ禮節ヲ知ルト云フ事ヲ申シ
テ居リマスルガ、是ハ實ニ千載ヲ一貫セル
眞理デアルト云フコトヲ忘レテハナラヌノ
デアリマス、然ルニ衣食ナキ者ニ禮節ヲ強
イテ見マシテモ、ソレハ瀕死ノ重病患者ニ
對シテ西式健康法ヲ強イルヤウナモノデア
リマシテ、到底相談ニナラヌノデアリマス
(拍手)吾々ハ政府ノ謂フ所ノ自力更生モ、
隣保共助モ、洵ニ結構デアリマスルガ、先
づ與ヘテ後ニ自力更生ヲ説キ、與ヘテ後ニ
隣保共助ヲ説クニ於テ初メテ是等ノ意義方
ハヤキリト致スノデアリマス（拍手）

サレテ居リマスル通り、殆ド組合法ヲ作ッテ
モ、其資金ノ當テト云フモノガ一ツモナイ、
ドウシテ組合法ニ對シテ資金ヲ融通シテヤ
ルト云フ所ノ確信ガ更ニナイノデアリマ
ス、又先程委員長ノ御言葉ニモアリマシタ
如ク、之ヲ貸出スニ付テドウシテ貸出ス考
デアルカト聞キマスルト、ソレハ先ヅ低利
資金ヲ各府縣へ貸シテヤル、各府縣ハ責任
ヲ以テ之ヲ組合ニ貸スノダ、若シ損失ノア
ル場合ニハ縣ガ其損失補償ノ任ニ當ルノダ
ト、斯ウ云フ御説明デアリマス、今ヤ各府
縣共地方ト同ジク非常ニ疲弊ヲ致シテ居ル
ノデアリマス、然ルニ國庫ハ懷手ヲシテ居
テ、サウシテ各府縣ニノミ其責任ヲ轉嫁サ
シテ、此負債整理ヲ爲ササウトスルガ如キ
ハ、是ハ單ナル書餅ニ過ギズシテ、實行ノ
出來ナイコトハ明ナ事實デアリマス(拍手)
又預金部ノ資金ノミニ於テ、大體ニ之ヲ處
理シヨウトスル考デアリマスガ、併ナガラ
預金部ノ資金モ限リガアル、若シモ成績好
ク堅實ナル此負債整理組合ガ各地ニ澤山出
來テ、其要求ガ相當ニアリマシタ場合ニ、
堅實ナル所ノ整理組合デアッタナラバ、當然
之ヲ認メテ其要求ニ應ジナケレバナラヌノ
ダガ、其場合ニ預金部ノ資金ガ若シ足リナ
カッタラドウスルカト言ウテモ、之ニ答フ
ル所ナイノデアリマス、斯ノ如キ殆ド其資
金ト云フコトニ付テハ、何等ノ茲ニ確信ヲ
持タナインミナラズ、私ガ非常ニ奇怪ニ感

ジマシタコトハ、最後ノ委員會ニ於キマシテ大藏大臣ガ御出席ニナリマシタ其場合ニ、他ノ委員ノ諸君カラ此農林省ヨリ提案サレテ居ル負債整理組合法ニ對シテ、大臣ハ其資金ノ融通ヲ將來シテヤルコトニ對シテ、諒解ヲシテ居ラレルノカドウカト云フ質問ガアフタ、其時ニ大藏大臣答ヘテ曰ク、實ハワシハ能ク知ランノデ、大方終ヒ頃ニ慌テ、出タヤウナコトデ一向ワシハ話ヲ聞イテ居ラヌ、政友會ノ誰ヤラカラ、ソンナ話モ聞イタガ、ト言フテ居ラレル、甚ダ吾々ハ失望スルノデアリマス、今ヤ國民ノ大ナル期待ヲ受ケテ、而モ此内閣ノ大ナル使命ノ一つデアルベキ此負債整理案ナルモノガ、唯主務大臣或ハ主務省ノミニ於テ、一夜作リト申シテハ甚ダ失禮デアリマスケレドモ、殆ド急速ノ間ニ出タ爲ニ、其資金ノ當テスラモナカツタノデナカラウカト云フコトノ疑ヲ、吾々ニ持タスルニ至ラト云フコトハ、甚ダ吾々ノ遺憾ニ感ズル所デアリマス(拍手)

イマスルシ、又今回建議案トシテモ此議會ニ出シテ居リマスルカラ、茲ニ私ハ是等ノコトヲ省キマス
唯最後ニ一言申上ゲタイコトハ、政府ハ此農村及中小商工業者ノ負債ヲ整理スルト云フコトハ、何ダカ個人々々ノ借金ヲ整理シテヤルコトデアフテ、ゾンナニマデ多ク國家ガ力ヲ直接ニ入レナケレバナラヌト云フ管ハナイト云フ意味合ノ、吾々ハ説明ヲ聽イテ居ルノデアリマス、所ガ是ハ思ハザルノ甚シキモノデアリマシテ、今ヤ農村ノ窮乏ヲ救ヒ、農村ノ箇々ノ借金ノ重壓ヲ除イテヤリ、中小商工業者ノ是等ノ窮迫ヲ除ク所ノモノハ、是レ農村ヲ救濟シ、中小商工業者ヲ救濟スルノミデナイ、聽テ我ガ國家ヲ救フ所以デアルト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ（拍手）斯ル主張ニ於キマシテ、吾吾ハ決シテ尙ホ吾々ノ修正案ニ於テモ満足デアルトハ思テ思リマセヌケレドモ、今回此修正案ヲ提出致シタ所以デアリマス、ドウカ滿場ノ御賛成ヲ御願致シマス（拍手）○議長（秋田清君）討論ハ終局致シマンタ、採決ニ付キ一言致シマス、委員長報告ト、松本君提出ノ修正案及後藤君提出ノ修正案トノ間ニハ、共通ノ點モアリマスガ、便宜上各案ヲ各々不可分ノモノトシテ、各別ニ採決致シマス、採決ニ入リマス——後藤完一君提出ノ修正案ニ賛成ノ諸君ノ起立

ヲ求メマス

〔賛成者起立〕

○議長(秋田清君) 起立少數、後藤君提出ノ修正案ハ否決セラレマシタ、次ニ松本君提出ノ修正案ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔賛成者起立〕

○議長(秋田清君) 起立少數、松本君提出ノ修正案ハ否決セラレマシタ、次ニ委員長報告中、修正ノ部分ニ賛成の方ノ起立ヲ求メマス

〔賛成者起立〕

○議長(秋田清君) 起立多數、委員長報告中ノ修正ノ點ハ可決サレマシタ、其他ノ部分ハ原案ノ通り御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、其他ノ部分ハ原案ノ通り決シマシタ、是ニテ本案ノ第二讀會ハ終了致シマシタ

○上田孝吉君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 上田孝吉君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、直ニ本案ノ第三讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

農村負債整理組合法案 第三讀會

○議長(秋田清君) 別ニ御發議モアリマセ

ヌ、本案ハ第二讀會議決ノ通り、可決確定致シマシタ

〔拍手起ル〕

○上田孝吉君 國務大臣ニ對スル質疑ハ次回ノ議事日程終了後繼續スルコト、シ、殘餘ノ日程ハ之ヲ延期シ、直チニ散會セラレントヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 上田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、次回ノ日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後九時三分散會

衆議院議事速記録第八號中正誤

一三六	三	一八	一簡村僅ニ 當リ僅ニ一戸	正
貢	段	行	誤	

官報號外 昭和七年九月二日 案議院議事速記錄第九號

一九八